

「社会参加に関する調査」の結果について

区のひきこもりの実態を把握するために実施した、「社会参加に関する調査」について、調査結果の集計及び分析が終了したため報告します。

1 調査概要

項目	内容
調査対象	令和5年6月16日現在で港区内に登録されている住民基本台帳から無作為に抽出した60,000世帯
配布数(有効配布数)	60,000世帯(57,975世帯)
回収数	14,070件 (郵送7,977件(56.7%)、インターネット6,093件(43.3%))
回収率(有効回収率)	23.5%(24.3%)
調査方法	調査票を郵送配布し、無記名による郵送またはインターネット(日本語、英語、中国語、韓国語での回答が可能。)により回収。調査期間中に、お礼状兼回答協力依頼の手紙を1回送付。
調査期間	令和5年7月14日(金)～令和5年8月4日(金)

2 ひきこもりの定義

内閣府「こども・若者の意識と生活に関する調査(令和4年度)」における「ひきこもり」の定義を参考とし、以下の(1)から(3)の全てに該当する人をひきこもり該当者としました。

- (1) 自宅から外出をほとんどしない、または近所のコンビニやスーパー等の販売店、通院・趣味の用事の時のみ外出をする。
- (2) 家族以外の人と直接の会話をしない、または家族以外の人との交流を避けている。
- (3) (1)から(2)の状態が6か月以上続いている。

3 主な調査結果

(小数点第2位以下、四捨五入)

質問項目	回答者種別	回答	回答人数	回答率
ひきこもり 該当者数	当事者	該当者がいる	68人	0.5%
	同居人		90人	0.6%
	合計		158人	1.1%

質問項目	回答者種別	回答	回答人数	回答率
ひきこもりの きっかけ(※)	当事者	退職したこと	14人	20.6%
		新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと	12人	17.6%
		病気	各8人	各11.8%
	なんとなく			
	同居人	学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと	14人	15.6%
		新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと	13人	14.4%
退職したこと		12人	13.3%	
ひきこもり 該当者の年齢	—	75歳以上	59人	37.3%
		70歳～74歳	15人	9.5%
		50歳～54歳	14人	8.9%
		65歳～69歳	10人	6.3%
		60歳～64歳	9人	5.7%
		55歳～59歳	各8人	各5.1%
		45歳～49歳		
		40歳～44歳	各7人	各4.4%
		25歳～29歳		
		15歳未満	5人	3.2%
		30歳～34歳	各4人	各2.5%
		20歳～24歳		
		15歳～19歳		
		35歳～39歳	3人	1.9%
無回答	1人	0.6%		
相談経験の 有無	当事者	相談した	26人	38.2%
		相談していない	41人	60.3%
	同居人	相談した	48人	53.3%
		相談していない	39人	43.3%
相談して いない理由 (※)	当事者	相談する必要性を感じられなかったため	21人	51.2%
		相談できる相手がいなかったため	各5人	各12.2%
		今の状態から変わりたくないと思ったため		

質問項目	回答者種別	回答	回答人数	回答率
相談していない理由 (※)	同居人	相談する必要性を感じられなかったため	19人	48.7%
		相談して助言をもらっても、当事者が変わらないと思ったため	12人	30.8%
		相談相手や相談先がわからなかったため	8人	20.5%

(※)上位3位までの回答を記載

4 今後の支援策

(1) 相談できる場の創出

ひきこもり当事者は半数以上、同居人は4割弱の方が相談していない点、相談の意思があるにも関わらず相談に至っていない当事者や同居人が一定数いること等を踏まえ、気軽に相談をし、専門的な助言を受けられる場を設置します。

(2) 多様な行政サービスの提供

ひきこもりに至ったきっかけは多くあり、経緯や個人の特性によって支援も多種多様に広がります。多様な機関と連携し、一人でも多くの当事者等の支援体制を整備します。

5 今後のスケジュール（予定）

令和6年4月 ひきこもり支援専用相談窓口開設

令和7年度以降 居場所づくり、当事者会・家族会の開催

港区 社会参加に関する調査 調査報告書（概要版）

令和6（2024）年3月



目次

1. 調査概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査対象・方法・期間・回収率等.....	1
(3) 調査の精度.....	1
(4) 「ひきこもり」の定義.....	2
2. 調査結果の概要.....	3
3. 調査の主な結果.....	5
(1) 回答設問全体.....	5
(2) 回答者本人がひきこもりの該当者.....	6
(3) 同居人がひきこもりの該当者.....	8
4. 類似設問の比較（上位4回答）.....	10
(1) ひきこもりの状態になった年齢、きっかけについて.....	10
(2) ひきこもりの状態に関する相談状況について.....	11
(3) 相談をした結果や、相談するにあたっての要望等について.....	12
(4) 現在の状況や将来への不安について.....	13
(5) 自宅でよくしていること、交流状況について.....	14
5. 分析を終えて.....	15
(1) 相談できる場の創出.....	15
(2) 多様な行政サービスの提供.....	15

港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちが真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つ子どもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和60年8月15日

港 区

1. 調査概要

(1) 調査の目的

港区におけるひきこもりの状態にある区民の実態及びニーズを明らかにし、その支援策に関する基礎資料として活用することを目的として港区内の 60,000 世帯を対象に実施した。

(2) 調査対象・方法・期間・回収率等

項目	内容
調査対象	令和5年6月16日現在で港区内に登録されている住民基本台帳から無作為に抽出した 60,000 世帯
配布数（有効配布数）	60,000 世帯（57,975）
回収数	14,070 件 <回収数内訳> 【郵送】 7,977 件（56.7%） 【インターネット】 日本語 5,728 件（40.7%） 英語 240 件（1.7%） 中国語 94 件（0.7%） 韓国語 31 件（0.2%）
回収率（有効回収率）	23.5%（24.3%）
調査方法	調査票を郵送配布し、無記名による郵送回答またはインターネット回答により回収。インターネット回答は、英語、中国語、韓国語での回答が可能。 調査期間中に、対象者全員にお礼状兼回答協力依頼の手紙を1回送付。
調査期間	令和5年7月14日（金）～令和5年8月4日（金）
調査実施機関	株式会社 創建

(3) 調査の精度

標本誤差は、以下の式で得られ、比率算出の基数（n=回答者数）、回答の比率（p）によって誤差幅が異なる（下表は p=0.5 の場合）。

$$\text{標本誤差} = \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}} \times 1.96$$

N : 母集団（港区の全世帯数）
n : サンプル数（有効回答数）
p : 回答比率（1つの選択肢に対して得られた回答者の割合）
1.96 : 信頼率 95%と設定した場合の定数（調査の母集団に同じ設問をしても、統計学的には 95%の確率で同じ回答が得られるというもの）

回答比率 (p) / 回答者数 (n)	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
20,000	±0.34%	±0.45%	±0.52%	±0.55%	±0.57%
15,000	±0.42%	±0.55%	±0.64%	±0.68%	±0.69%
14,070	±0.43%	±0.58%	±0.66%	±0.71%	±0.72%
10,000	±0.54%	±0.72%	±0.82%	±0.88%	±0.89%
5,000	±0.80%	±1.06%	±1.22%	±1.30%	±1.33%

(4) 「ひきこもり」の定義

本報告書では、内閣府「子ども・若者の意識と生活に関する調査（令和4年度）」における「ひきこもり」の定義を参考にしながら対象者を抽出したところ、158世帯でひきこもりの該当者が存在するという結果となった。

内閣府の調査項目	港区調査の設問と選択肢
外出頻度が次のいずれかを選択 1 趣味の用事のときだけ外出する 2 近所のコンビニなどには出かける 3 自室からは出るが、家からは出ない 4 自室からほとんど出ない	(問 27・問 47) 現在の外出頻度はどのくらいですか？ 6 普段は自宅にいますが、自分の趣味に関する用事の時に週1回程度外出する } 準ひきこもり 7 普段は自宅にいますが、近所のコンビニやスーパー等には出かける } 8 同居人以外の方が自宅に居ても居なくても自室からは出るが、自宅からは出ない } 狭義のひきこもり 9 同居人以外の方が自宅にいない時は自室から出るが、自宅からは出ない } 10 自室からほとんど出ない }

かつ

現在の状態が「6か月以上」と回答	(問 11) 問 8（ひきこもり）の状態の期間はどのくらいですか？ 1 6か月～1年未満 2 1年～2年未満 3 2年～3年未満 4 3年～5年未満 5 5年～7年未満 6 7年～10年未満 7 10年～15年未満 8 15年～20年未満 9 20年～25年未満 10 25年～30年未満 11 30年以上
------------------	---

かつ

次の類型 1～3のいずれにも該当しない者	【類型1】 現在の状態になった主な理由が、「統合失調症」又は身体的病気の病名を記入	(問 18・問 41) 問 8の状態になったきっかけは何ですか？ 以下を選択し、かつ「統合失調症」又は身体的病気の病名を記入 9 病気 15 その他	
	【類型2】 最近6か月間に、家族以外の人と「よく会話をした」又は「ときどき会話をした」を選択	(問 35・問 50) 交流状況について教えてください。 2 趣味や遊びのために人と会うことはある 4 民間を含む相談窓口・支援機関との交流がある 7 通院で医師等と会話をする	
	①～③のいずれかに該当	【類型2-①】 「妊娠したこと」「介護・看護を担うことになったこと」「その他」のうち、出産・育児をしている旨を記入	(問 18・問 41) 問 8の状態になったきっかけは何ですか？ 10 妊娠したこと 13 介護・看護を担うことになったこと 12 育児に専念することになったこと 15 その他を選択し、出産・育児をしている旨を記入
		【類型2-②】 普段ご自宅にいるときは、どんなことに時間を使っているかの問いの回答が「家事をする」「育児をする」「介護・看護をする」のいずれか	(問 33・問 49) 自宅でよくしていることをご回答ください。 9 家事をする 10 育児をする 11 介護・看護をする
		【類型2-③】 現在の仕事が「会社などの役員」、「自営業・自由業」、「家族従業者・内職」を選択	(問 6・問 39) 現在の就学・就労状況をお答えください。 「3 勤めている（自営業・フリーランス）」を選択
【類型3】 現在の仕事が「会社などの役員」、「自営業・自由業」、「家族従業者・内職」を選択	(問 18・問 41) 問 8の状態になったきっかけは何ですか？ 「15 その他（ ）」を選択し、自宅で仕事をしている旨を回答		

2. 調査結果の概要

【全体】

- ひきこもりの該当者を抱えている世帯は 158 世帯（回答全体の 1.1%）である（問 8）。ひきこもりの該当者のうち、男性が 36.7%、女性が 62.0%となっている（問 10）。年齢別では 65 歳以上が該当者全体の 53.1%を占めており、特に 70 歳以上が 46.8%となっている（問 9）など、ひきこもりの該当者は高齢者が多かった。一方、39 歳以下は 27 世帯（同 17.0%、回答全体の 0.19%）と少なかった。
- ひきこもりの状態になってからの期間は 5 年未満が全体の 6 割程度を占め、特に 3～5 年が 22.2%となっている（問 11）。ひきこもりの該当者の年齢を区分した場合、15～64 歳は 5 年未満の割合が全体の約 6 割、3 年～5 年未満が 23.5%となっている。65 歳以上は 5 年未満が全体の約 6 割、3 年～5 年未満が 21.4%となっている。70 歳以上は、5 年未満が全体の 5 割台半ば、3 年～5 年未満が 21.6%となっている。75 歳以上は、5 年未満が全体の約 5 割、3 年～5 年未満が 18.6%となっている。
- ひきこもりの該当者のうち、6 割超の人が医療機関を受診している（問 12）。さらに受診した人のうち 6 割超が現在も通院している（問 14）。ひきこもりの該当者の年齢を区分した場合、15～64 歳は、48.5%が受診し、63.6%が現在も通院している。65 歳以上は、71.4%が受診し、61.7%が現在も通院している。70 歳以上は、71.6%が受診し、56.6%が現在も通院している。75 歳以上は、76.3%が受診し、55.6%が現在も通院している。
- ひきこもりの該当者が本人の回答は 68 人（43.0%）、ひきこもりの該当者が同居人の回答は 90 人（57.0%）である（問 16）。ひきこもりの該当者の年齢を区分した場合、15～64 歳は、ひきこもりの該当者が本人の割合は 32.4%、ひきこもりの該当者が同居人の割合は 67.6%である。65 歳以上は、ひきこもりの該当者が本人の割合は 54.8%、ひきこもりの該当者が同居人の割合は 45.2%である。70 歳以上は、ひきこもりの該当者が本人の割合は 52.7%、ひきこもりの該当者が同居人の割合は 47.3%である。75 歳以上は、ひきこもりの該当者が本人の割合は 47.5%、ひきこもりの該当者が同居人の割合は 52.5%である。

【回答者本人がひきこもりの該当者】

- ひきこもりの状態になった年齢は、65 歳以上が半数以上を占め、特に 75 歳以上が 35.3%で一番を占めている（問 17）。
- ひきこもりの状態になったきっかけは、「その他」（29.4%）を除くと、退職したことが最も多く、新型コロナウイルス蔓延の影響が続いている（問 18）。ひきこもりの該当者の年齢を区分した場合、15～64 歳は、退職したことによる影響が最も多い。65 歳以上・70 歳以上・75 歳以上は、いずれにおいても新型コロナウイルス蔓延の影響が最も多い。
- 現状について誰かに話や相談をした人は 38.2%であり、過半数が話や相談をしていない（問 19）。話や相談をした人の内、42.3%が「気持ちが楽になった」と回答している（問 22）。一方、話や相談をしていない理由として、「相談する必要性を感じられなかった」と回答した割合が突出して多く（問 23）、今後の相談意向についても、6 割台半ばが望んでいない（問 24）。ひきこもりの該当者の年齢を区分した場合、15～64 歳は、54.5%が相談しておらず、「相談できる相手がいなかったため」の割合が最も多い。今後の相談意向は、6 割台半ばが相談したいと考えている傾向にある。65 歳以上は、63.0%が相談しておらず、「相談する必要性を感じられなかった」と回答した割合が最も多い。今後の相談意向は「全く相談しようと思わない」が 60.9%となっている。

70歳以上は、56.4%が相談しておらず、「相談する必要性を感じられなかった」と回答した割合が最も多い。今後の相談意向は「全く相談しようと思わない」が59.0%となっている。75歳以上は、話や相談をした人としていない人が同じ割合であった。また、話や相談をしていない理由として、「相談する必要性を感じられなかった」と回答した割合が最も多い。今後の相談意向は「全く相談しようと思わない」が60.7%となっている。

相談した結果は、回答者の年齢によらず「気持ちが楽になった」が最も多い。

- ひきこもりの該当者が本人の場合は、約4割が不安を感じたことはないと考えている。その一方、生活費等の金銭的な不安や、このままの状態が良いのかといった不安も抱えている（問32）。回答者の年齢を区分した場合、15～64歳は、「生活費等の金銭が底を尽くかもしれない不安」が最も多い。65歳以上・70歳以上・75歳以上は、いずれにおいても「不安を感じたことがない」が最も多い。

【同居人がひきこもりの該当者】

- ひきこもりの該当者が配偶者である割合は35.6%と最も多く、配偶者・母・子で全体の約8割を占めている（問38）。ひきこもりの該当者の年齢を区分した場合、15～64歳は、配偶者（41.3%）と子（32.6%）が突出している。65歳以上・70歳以上・75歳以上は、いずれにおいても母・配偶者の順で多い。
- ひきこもりの状態になった年齢は、「75歳以上」が24.4%と突出しているが、30代までが4割台半ばを占めており、比較的若い頃からひきこもりの状態になっている人が多い（問40）。
- ひきこもりの状態になったきっかけは、「その他」を除くと、学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと、不登校、学生時代のいじめなど、人間関係が契機となっている場合が比較的多い（問41）。ひきこもりの該当者の年齢を区分した場合、15～64歳は「学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと」が多い。65歳以上・70歳以上・75歳以上は、いずれにおいても「新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと」が最も多い。
- 同居人の現状について誰かに話や相談をした人は53.3%であり（問42）、そのきっかけは同居人の現状や将来を案じてのことである（問43）。相談した結果、「気持ちが楽になった」「同居人の状態を変えたい気持ちが強くなった」と、相談したことで一定の前向きな心境変化が読み取れる（問45）。一方、相談していない理由は、「相談する必要性を感じられなかったため」、「相談して助言をもらっても、同居人が変わらないと思った」が多い（問46）。ひきこもりの該当者の年齢を区分した場合、15～64歳は、話や相談をした人が47.8%であり、そのきっかけは「同居人の今の状態を変えたいと思ったため」が86.4%、「同居人の今後の将来に不安を感じたため」72.7%と突出して多い。65歳以上と70歳以上は、話や相談をした人がそれぞれ55.3%、57.1%であり、そのきっかけは「同居人の今の状態を変えたいと思ったため」「同居人の今後の将来に不安を感じたため」が多い。
75歳以上は、話や相談をした人が61.3%であり、そのきっかけは「同居人の今の状態を変えたいと思ったため」が57.9%、「同居人の今後の将来に不安を感じたため」が42.1%と多い。
- 同居人の将来に対しては、「このままの状態が良いのかという不安」が最も多い（問48）。そして、60.0%が同居人の状態を変えたいと思っている（問51）。15～64歳、65歳以上、70歳以上、75歳以上の全ての年齢層で「このままの状態が良いのかという不安」が最も多く、15～64歳の年齢層では、69.6%が「同居人の状態を変えたいと思う」と回答している。一方、65歳以上、70歳以上、75歳以上ではそれぞれ50.0%、51.4%、48.4%が「同居人の状態を変えたいとは思わない」と回答をしており、高齢者層では、ひきこもりの該当者を変えることに前向きではない傾向がある。

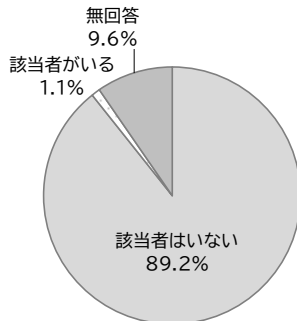
3. 調査の主な結果（抜粋）

(1) 回答者全体

問8 ひきこもりの該当者数

「該当者がいる」が1.1%（158人）

(N=14,070)

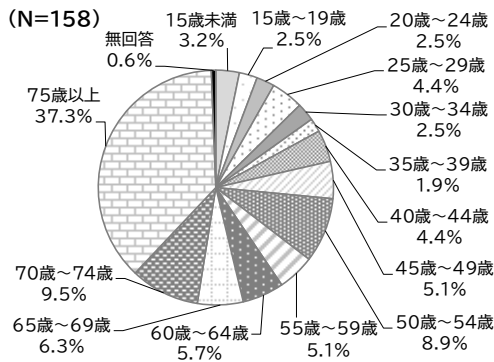


【ひきこもりの該当者の条件】

- ①自宅から外出をほとんどしない、または近所のコンビニやスーパー等の販売店、通院・趣味の用事の時のみ外出をする
- ②家族以外の人と直接の会話をしない、または家族以外の人との交流を避けている（①のコンビニやスーパー等の店員、医師・看護師等の医療機関受診時の会話等を除く）
- ③①から②の状態が6か月以上続いている

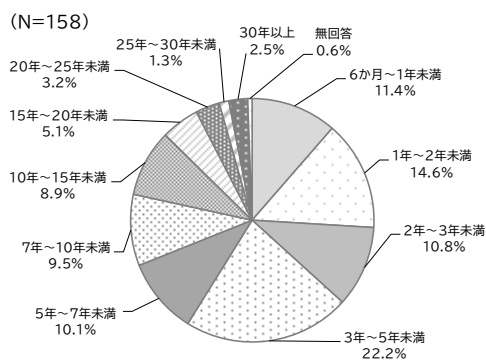
問9 ひきこもりの該当者の年齢

「75歳以上」が37.3%で最も多い。65歳以上の合計では53.1%、70歳以上の合計では46.8%、39歳以下の合計では17.0%



問11 ひきこもりの状態の期間

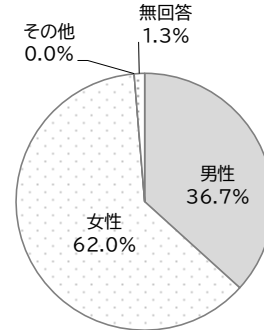
「3～5年」が22.2%で最も多い。5年未満の合計では59.0%



問10 ひきこもりの該当者の性別

「男性」が36.7%、「女性」が62.0%

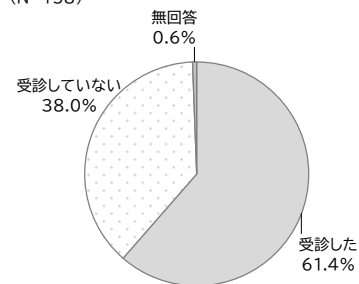
(N=158)



問12 ひきこもりの状態になってから医療機関を受診したか

「受診した」が61.4%、「受診していない」が38.0%

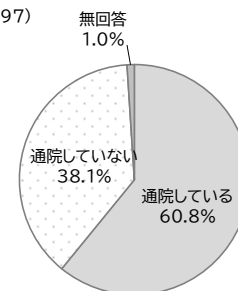
(N=158)



問14 現在も通院しているか

「通院している」が60.8%、「通院していない」が38.1%

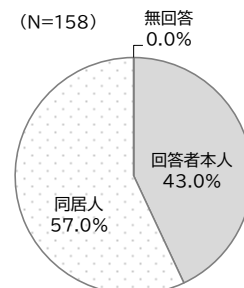
(N=97)



問16 ひきこもりの該当者が本人か同居人が

「回答者本人」が43.0%、「同居人」が57.0%

(N=158)

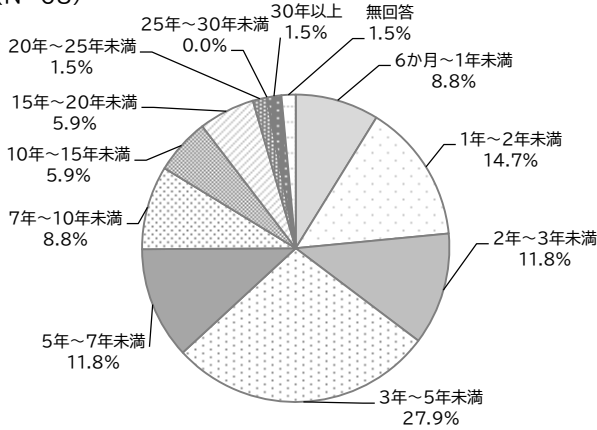


(2) 回答者本人がひきこもりの該当者

問 11 ひきこもりの状態の期間 (問 11 のうち、回答者本人に限定)

「3年～5年未満」が27.9%で最も多い。5年未満の合計では63.2%

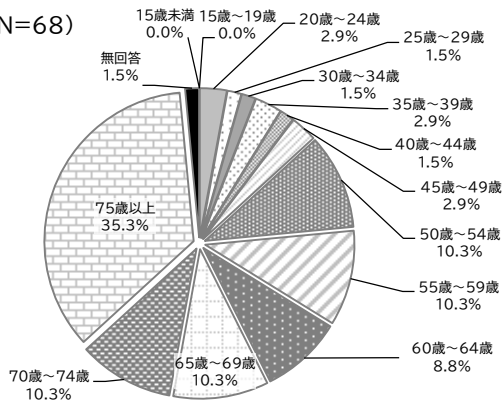
(N=68)



問 17 ひきこもりの状態になった頃の年齢

「75歳以上」が35.3%で最も多い。65歳以上の合計では55.9%

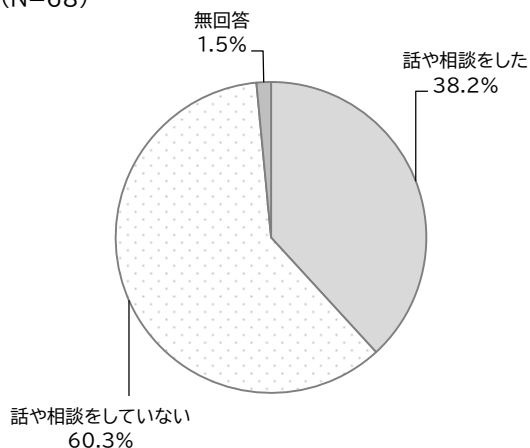
(N=68)



問 19 ひきこもりの状態について 誰かに話や相談をしたか

「話や相談をしていない」が60.3%、「話や相談をした」が38.2%

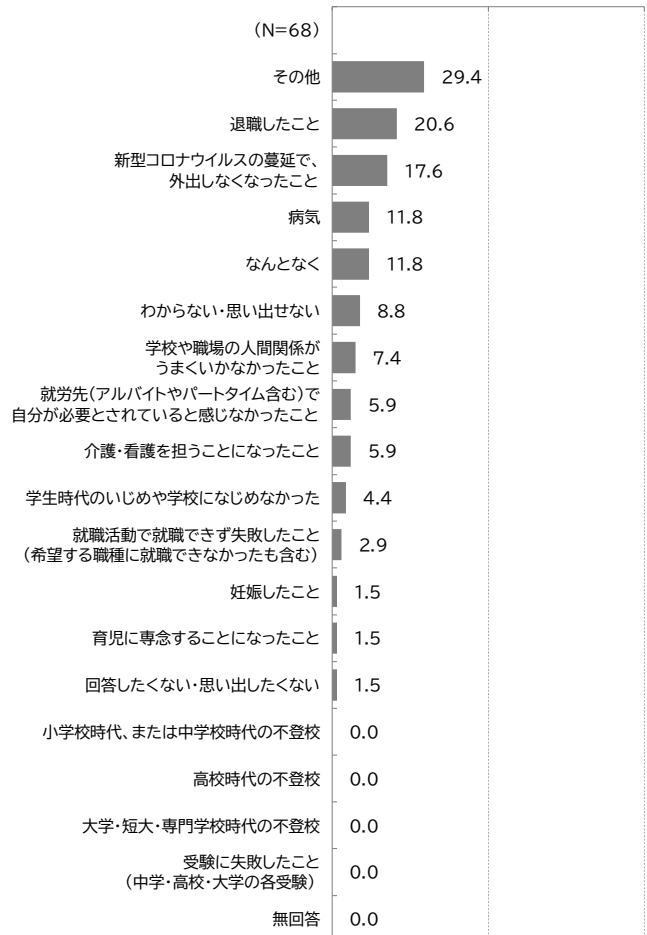
(N=68)



問 18 ひきこもりの状態になったきっかけ

「その他」が29.4%で最も多く、次いで「退職したこと」が20.6%、「新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと」が17.6%

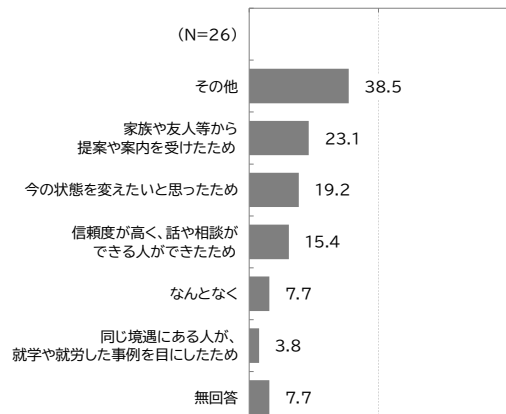
0% 50% 100%



問 20 ひきこもりの状態について 話や相談をしたきっかけ

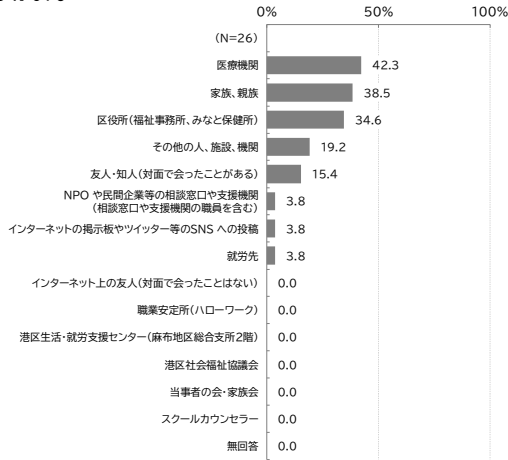
「その他」が38.5%で最も多く、次いで「家族や友人等から提案や案内を受けたため」が23.1%、「今の状態を変えたいと思ったため」が19.2%

0% 50% 100%



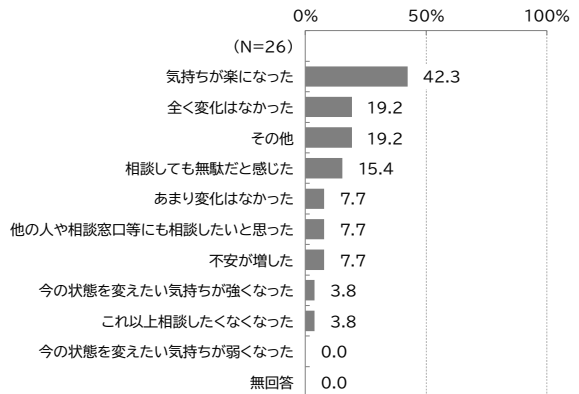
問 21 どこ（誰）に話や相談をしたか

「医療機関」が 42.3%で最も多く、次いで「家族、親族」が 38.5%、「区役所（福祉事務所、みなと保健所）」が 34.6%



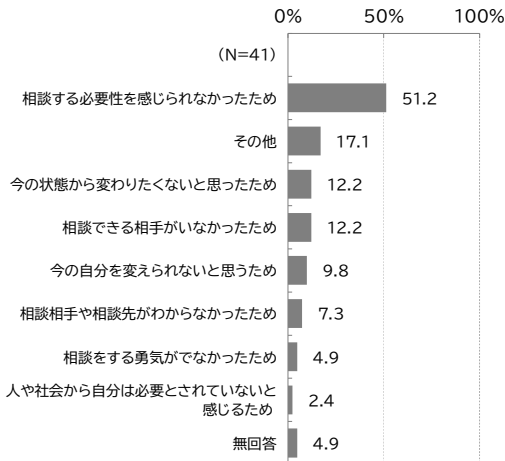
問 22 話や相談をした結果の心境変化

「気持ちが楽になった」が 42.3%で最も多く、次いで「全く変化はなかった」、「その他」がそれぞれ 19.2%



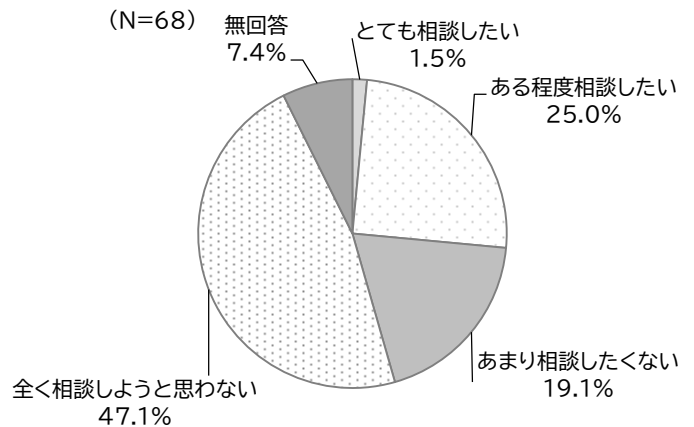
問 23 話や相談をしていない理由

「相談する必要性を感じられなかったため」が 51.2%で最も多く、次いで「その他」が 17.1%、「今の状態から変わりたくないと思ったため」、「相談できる相手がいなかったため」がそれぞれ 12.2%



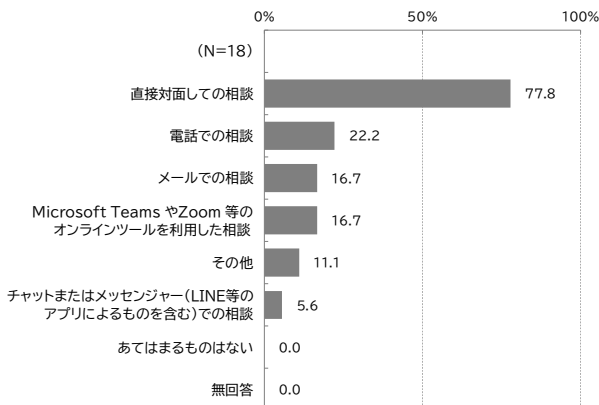
問 24 現在の状況を話や相談をしたいか

「全く相談しようと思わない」が 47.1%で最も多く、「あまり相談したくない」の 19.1%と合わせると 66.2%が相談を望んでいない



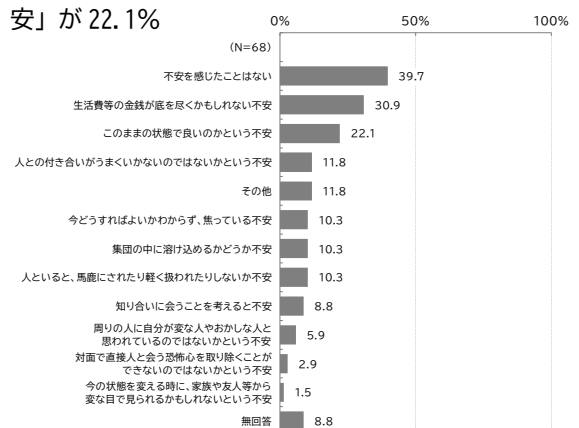
問 26 希望する相談方法

「直接対面しての相談」が 77.8%で最も多く、次いで「電話での相談」が 22.2%、「メールでの相談」が 16.7%



問 32 不安を感じること

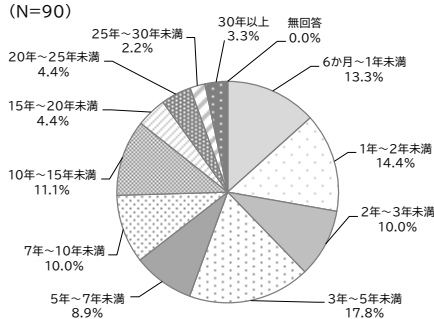
「不安を感じたことはない」が 39.7%で最も多く、次いで「生活費等の金銭が底を尽くかもしれない不安」が 30.9%、「このままの状態が良いのかという不安」が 22.1%



(3) 同居人がひきこもりの該当者

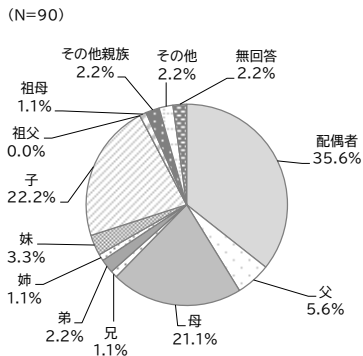
問 11 ひきこもりの状態の期間 (問 11 のうち、同居人に限定)

「3年～5年未満」が17.8%で最も多い。5年未満の合計では55.5%



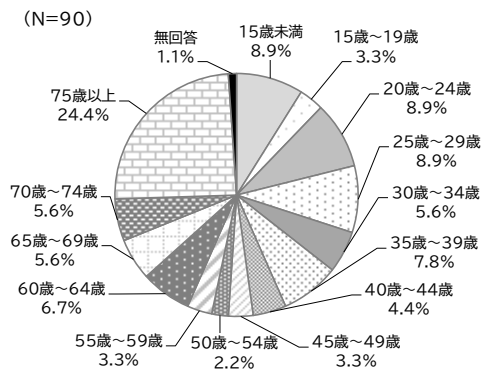
問 38 同居人との関係

「配偶者」が35.6%で最も多く、次いで「子」が22.2%、「母」が21.1%



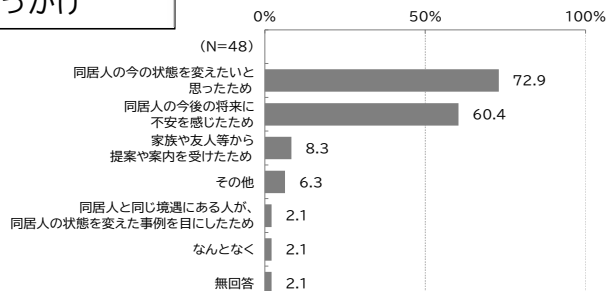
問 40 ひきこもりの状態になった頃の年齢

「75歳以上」が24.4%で最も多い。39歳以下の合計では43.4%



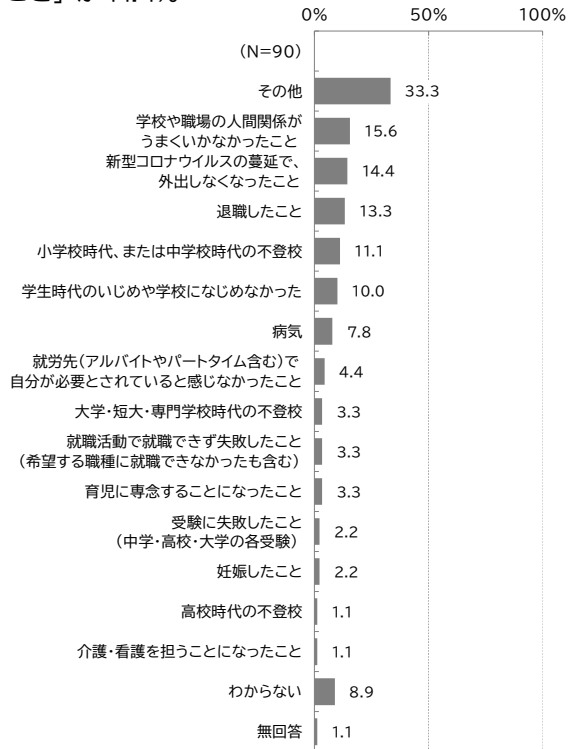
問 43 話や相談をしたきっかけ

「同居人の今の状態を変えたいと思ったため」が72.9%で最も多く、次いで「同居人の今後の将来に不安を感じたため」が60.4%



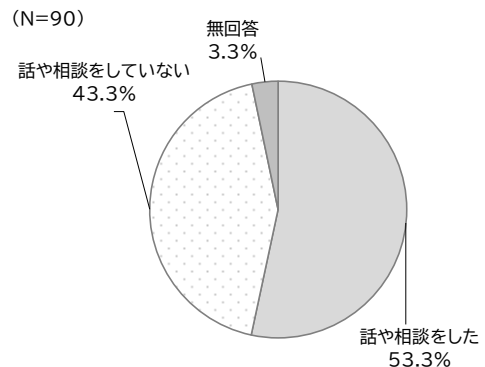
問 41 ひきこもりの状態になったきっかけ

「その他」が33.3%で最も多く、次いで「学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと」が15.6%、「新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと」が14.4%



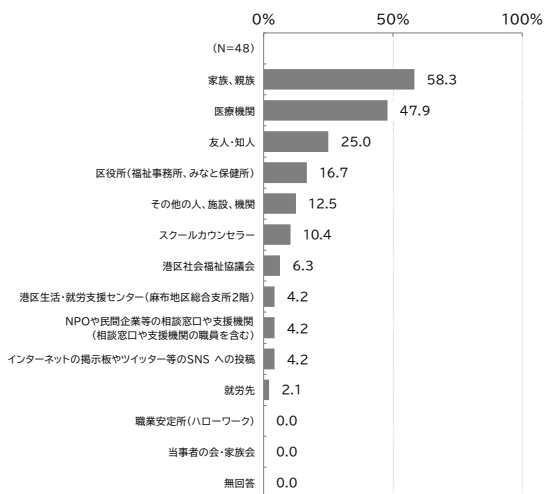
問 42 ひきこもりの状態について誰かに話や相談をしたか

「話や相談をした」が53.3%、「話や相談をしていない」が43.3%



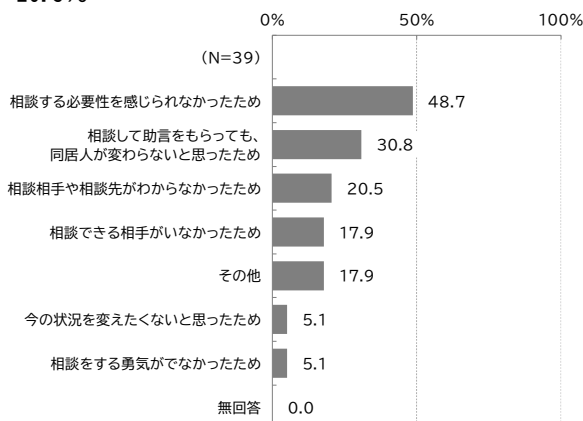
問 44 どこ（誰）に話や相談をしたか

「家族、親族」が 58.3%で最も多く、次いで「医療機関」が 47.9%、「友人・知人」が 25.0%



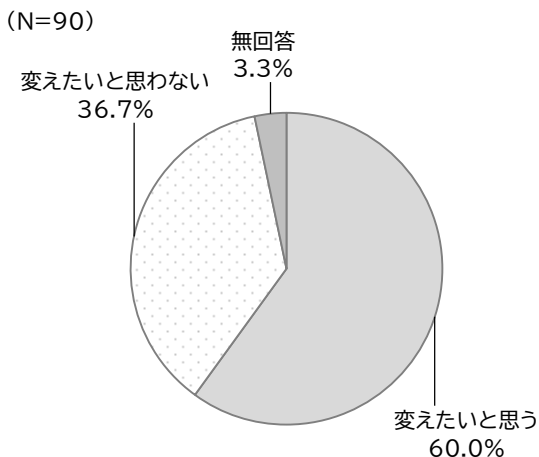
問 46 話や相談をしていない理由

「相談する必要性を感じられなかったため」が 48.7%で最も多く、次いで「相談して助言をもらっても、同居人が変わらないと思ったため」が 30.8%、「相談相手や相談先がわからなかったため」が 20.5%



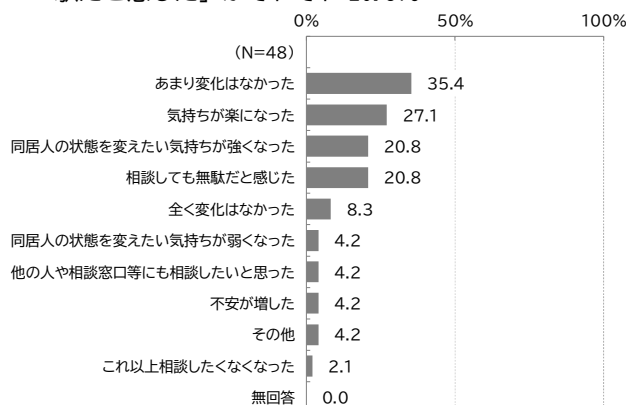
問 51 ひきこもりの状態にある同居人を変えたいと思うか

「変えたいと思う」が 60.0%、「変えたいと思わない」が 36.7%



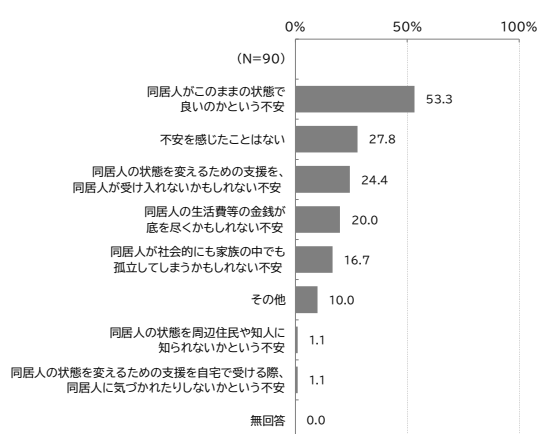
問 45 話や相談をした結果の心境変化

「あまり変化はなかった」が 35.4%で最も多く、次いで「気持ちが楽になった」が 27.1%、「同居人の状態を変えたい気持ちが強くなった」、「相談しても無駄だと感じた」がそれぞれ 20.8%



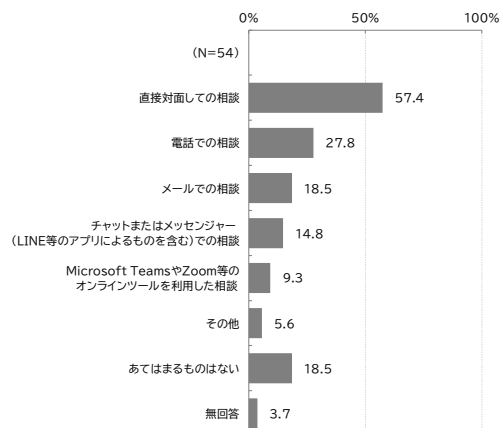
問 48 不安を感じること

「同居人がこのままの状態が良いのかという不安」が 53.3%で最も多く、次いで「不安を感じたことはない」が 27.8%、「同居人の状態を変えるための支援を、同居人が受け入れないかもしれない不安」が 24.4%



問 53 希望する相談方法

「直接対面しての相談」が 57.4%で最も多く、次いで「電話での相談」が 27.8%、「メールでの相談」、「あてはまるものはない」がそれぞれ 18.5%



4. 類似設問の比較（上位4回答）

本調査では、ひきこもりの該当者が回答者本人の場合と、同居人の場合で類似した設問を設定しており、それぞれの立場による状況や心境などに関する回答結果を比較するため、「その他」「無回答」を除く上位4回答を整理した。

（1）ひきこもりの状態になった年齢、きっかけについて

設問の概要	回答者本人		同居人	
現在の就学・就労状況 本人…問6（問16で1を回答した人のみ） （回答数…68人） 同居人…問39 （回答数…90人）	1位	無職（現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない） （回答件数：67件・98.5%）	1位	無職（現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない） （回答件数：81件・90.0%）
	2位以下の回答なし		2位	学生（予備校生含む） （回答件数：8件・8.9%）
			3位以下の回答なし	
ひきこもりの状態になった年齢 本人…問17 （回答数…68人） 同居人…問40 （回答数…90人）	1位	75歳以上 （回答件数：24件・35.3%）	1位	75歳以上 （回答件数：22件・24.4%）
	2位	50歳～54歳 （回答件数：7件・10.3%）	2位	15歳未満 （回答件数：8件・8.9%）
		55歳～59歳 （回答件数：7件・10.3%）		20歳～24歳 （回答件数：8件・8.9%）
		65歳～69歳 （回答件数：7件・10.3%）		25歳～29歳 （回答件数：8件・8.9%）
	70歳～74歳 （回答件数：7件・10.3%）			
ひきこもりの状態になったきっかけ 本人…問18 （回答数…68人） 同居人…問41 （回答数…90人）	1位	退職したこと （回答件数：14件・20.6%）	1位	学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと （回答件数：14件・15.6%）
	2位	新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと （回答件数：12件・17.6%）	2位	新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと （回答件数：13件・14.4%）
	3位	病気 （回答件数：8件・11.8%）	3位	退職したこと （回答件数：12件・13.3%）
		なんとなく （回答件数：8件・11.8%）	4位	小学校時代、または中学校時代の不登校 （回答件数：10件・11.1%）

ひきこもりの該当者としては高齢者が一定数含まれており、特に回答者本人に多い。ひきこもりの該当者が同居人の場合では30歳未満が多く、年齢層の幅がある。ひきこもりの状態になったきっかけとしても、ひきこもりの該当者が回答者本人の場合は退職や病気など、加齢と関わりがあるものが挙げられている一方、ひきこもりの該当者が同居人の場合では学校や職場の人間関係、不登校やいじめが挙げられているため、教育機関や職場等、多様な主体との連携が重要であることがわかる。

(2) ひきこもりの状態に関する相談状況について

設問の概要	回答者本人		同居人	
ひきこもりの状態について、 誰かに話や相談をしたか ※本設問の選択肢は2つのみ 本人…問 19 (回答数…68人) 同居人…問 42 (回答数…90人)	1位	話や相談をしていない (回答件数：41件・60.3%)	1位	話や相談をした (回答件数：48件・53.3%)
	2位	話や相談をした (回答件数：26件・38.2%)	2位	話や相談をしていない (回答件数：39件・43.3%)
ひきこもりの状態について、 話や相談をしたきっかけ 本人…問 20 (回答数…26人) 同居人…問 43 (回答数…48人)	1位	家族や友人等から提案や 案内を受けたため (回答件数：6件・23.1%)	1位	同居人の今の状態を 変えたいと思ったため (回答件数：35件・72.9%)
	2位	今の状態を変えたいと 思ったため (回答件数：5件・19.2%)	2位	同居人の今後の将来に不安 を感じたため (回答件数：29件・60.4%)
	3位	信頼度が高く、話や相談が できる人ができたため (回答件数：4件・15.4%)	3位	家族や友人等から提案や 案内を受けたため (回答件数：4件・8.3%)
	4位	なんとなく (回答件数：2件・7.7%)	4位	同居人と同じ境遇にある人 が、同居人の状態を変えた 事例を目にしたため (回答件数：1件・2.1%) なんとなく (回答件数：1件・2.1%)
ひきこもりの状態について、 どこ(または誰)に話や相談 をしたか 本人…問 21 (回答数…26人) 同居人…問 44 (回答数…48人)	1位	医療機関 (回答件数：11件・42.3%)	1位	家族、親族 (回答件数：28件・58.3%)
	2位	家族、親族 (回答件数：10件・38.5%)	2位	医療機関 (回答件数：23件・47.9%)
	3位	区役所 (福祉事務所、みなと保健所) (回答件数：9件・34.6%)	3位	友人・知人 (回答件数：12件・25.0%)
	4位	友人・知人 (対面で会ったことがある) (回答件数：4件・15.4%)	4位	区役所 (福祉事務所、みなと保健所) (回答件数：8件・16.7%)

ひきこもりの状態についての相談状況は、ひきこもりの該当者が回答者本人と同居人で異なっている。相談した人の動機は、回答者本人・同居人ともに今の状態を変えたいと思っている傾向にあり、双方とも現状を良しとしていない様子がうかがえる。主な相談先は医療機関や家族、親族が多く、続いて区役所や友人・知人となっている。

(3) 相談をした結果や、相談するにあたっての要望等について

設問の概要	回答者本人		同居人	
話や相談をした結果、どのような心境変化があったか 本人…問 22 (回答数…26 人) 同居人…問 45 (回答数…48 人)	1 位	気持ちが楽になった (回答件数：11 件・42.3%)	1 位	あまり変化はなかった (回答件数：17 件・35.4%)
	2 位	全く変化はなかった (回答件数：5 件・19.2%)	2 位	気持ちが楽になった (回答件数：13 件・27.1%)
	3 位	相談しても無駄だと感じた (回答件数：4 件・15.4%)	3 位	同居人の状態を変えたい 気持ちが強くなった (回答件数：10 件・20.8%)
	4 位	あまり変化はなかった (回答件数：2 件・7.7%)		
相談をしていない(またはしなかった)理由 本人…問 23 (回答数…41 人) 同居人…問 46 (回答数…39 人)	1 位	相談する必要性を感じられなかったため (回答件数：21 件・51.2%)	1 位	相談する必要性を感じられなかったため (回答件数：19 件・48.7%)
	2 位	今の状態から変わりたくないと考えたため (回答件数：5 件・12.2%)	2 位	相談して助言をもらっても、同居人が変わらないと思ったため (回答件数：12 件・30.8%)
		相談できる相手がいなかったため (回答件数：5 件・12.2%)	3 位	相談相手や相談先がわからなかったため (回答件数：8 件・20.5%)
	4 位	今の自分を変えられないと思うため (回答件数：4 件・9.8%)	4 位	相談できる相手がいなかったため (回答件数：7 件・17.9%)
相談相手や相談機関への要望 本人…問 25 (回答数…18 人) 同居人…問 52 (回答数…54 人)	1 位	無料で相談できる (回答件数：12 件・66.7%)	1 位	医学的な助言をくれる (回答件数：25 件・46.3%)
	2 位	親身に聴いてくれる (回答件数：7 件・38.9%)	2 位	無料で相談できる (回答件数：24 件・44.4%)
	3 位	医学的な助言をくれる (回答件数：6 件・33.3%)	3 位	親身に聴いてくれる (回答件数：19 件・35.2%)
		精神科医がいる (回答件数：4 件・22.2%)		
自分の名前を知られずに相談できる (回答件数：4 件・22.2%)				
4 位	公的機関である (回答件数：4 件・22.2%)	3 位	精神科医がいる (回答件数：19 件・35.2%)	
	自宅から近い (回答件数：4 件・22.2%)			
相談相手や相談機関への希望する相談方法 本人…問 26 (回答数…18 人) 同居人…問 53 (回答数…54 人)	1 位	直接対面しての相談 (回答件数：14 件・77.8%)	1 位	直接対面しての相談 (回答件数：31 件・57.4%)
	2 位	電話での相談 (回答件数：4 件・22.2%)	2 位	電話での相談 (回答件数：15 件・27.8%)
	3 位	メールでの相談 (回答件数：3 件・16.7%)	3 位	メールでの相談 (回答件数：10 件・18.5%)
		Microsoft Teams や Zoom 等のオンラインツールを利用した相談 (回答件数：3 件・16.7%)		

相談しない理由として、ひきこもりの該当者が回答者本人・同居人ともに「相談する必要性を感じられなかったため」が最も多い。相談先に対しては、回答者本人・同居人ともに「無料で相談できる」、「親身に聴いてくれる」、「医学的な助言をくれる」、「精神科医がいる」といった要望を持っており、相談方法は直接対面しての相談や電話での相談希望が多い。

(4) 現在の状況や将来への不安について

設問の概要	回答者本人		同居人	
本人（または同居人）の外出頻度 本人…問 27 （回答数…68 人） 同居人…問 47 （回答数…90 人）	1 位	普段は自宅にいるが、近所のコンビニやスーパー等には出かける （回答件数：44 件・64.7%）	1 位	普段は自宅にいるが、近所のコンビニやスーパー等には出かける （回答件数：47 件・52.2%）
	2 位	自室からほとんど出ない （回答件数：10 件・14.7%）	2 位	同居人以外の方が自宅に居ても居なくても自室からは出るが、自宅からは出ない （回答件数：17 件・18.9%）
	3 位	普段は自宅にいるが、自分の趣味に関する用事の時に週 1 回程度外出する （回答件数：8 件・11.8%）	3 位	自室からほとんど出ない （回答件数：12 件・13.3%）
	4 位	同居人以外の方が自宅に居ても居なくても自室からは出るが、自宅からは出ない （回答件数：5 件・7.4%）	4 位	普段は自宅にいるが、自分の趣味に関する用事の時に週 1 回程度外出する （回答件数：11 件・12.2%）
不安を感じる時があるか 本人…問 32 （回答数…68 人） 同居人…問 48 （回答数…90 人）	1 位	不安を感じたことはない （回答件数：27 件・39.7%）	1 位	同居人がこのままの状態が良いのかという不安 （回答件数：48 件・53.3%）
	2 位	生活費等の金銭が底を尽くかもしれない不安 （回答件数：21 件・30.9%）	2 位	不安を感じたことはない （回答件数：25 件・27.8%）
	3 位	このままの状態が良いのかという不安 （回答件数：15 件・22.1%）	3 位	同居人の状態を変えるための支援を、同居人が受け入れないかもしれない不安 （回答件数：22 件・24.4%）
	4 位	人との付き合いがうまくいかないのではないかと不安 （回答件数：8 件・11.8%）	4 位	同居人の生活費等の金銭が底を尽くかもしれない不安 （回答件数：18 件・20.0%）

現在の状況として、ひきこもりの該当者が回答者本人・同居人ともに「普段は自宅にいるが、近所のコンビニやスーパー等には出かける」が最も多い。また、回答者本人は将来に対する不安を感じていないものの、同居人はこのままの状態が良いのかという不安を抱えているという結果から、回答者本人と同居人の間で現状に対する認識に大きな乖離があることが読み取れる。

(5) 自宅でよくしていること、交流状況について

設問の概要	回答者本人		同居人	
本人（または同居人）が自宅でよくしていること 本人…問 33 （回答数…68人） 同居人…問 49 （回答数…90人）	1位	テレビを見る （回答件数：49件・72.1%）	1位	テレビを見る （回答件数：59件・65.6%）
	2位	携帯電話・スマートフォンを使う （回答件数：30件・44.1%）	2位	携帯電話・スマートフォンを使う （回答件数：44件・48.9%）
	3位	パソコンを使う （回答件数：22件・32.4%）	3位	家事をする （回答件数：25件・27.8%）
		本を読む（雑誌や漫画を含む） （回答件数：22件・32.4%）	4位	ゲームをする （回答件数：24件・26.7%）
交流状況 本人…問 35 （回答数…68人） 同居人…問 50 （回答数…90人）	1位	近隣住民と挨拶を交わす （回答件数：23件・33.8%）	1位	家族と会話はするが、 家族以外の人と交流がない （回答件数：35件・38.9%）
		家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない （回答件数：23件・33.8%）	2位	近隣住民と挨拶を交わす （回答件数：12件・13.3%）
		通院で医師等と会話をする （回答件数：23件・33.8%）		家族以外の人と会うことはないが、インターネットやSNS等を通じて人と交流している （回答件数：12件・13.3%）
	4位	趣味や遊びのために人と会うことはある （回答件数：11件・16.2%）	4位	家族ともほとんど会話が ない （回答件数：8件・8.9%）
家族ともほとんど会話が ない （回答件数：11件・16.2%）				

ひきこもりの該当者が回答者本人・同居人ともに、自宅ではテレビを見たり、携帯電話・スマートフォンを使ったりしている回答が多い。他者との交流として、回答者本人は「近隣住民と挨拶を交わす」が最も多い。同居人は「家族と会話はするが家族以外の人と交流がない」に次いで「近隣住民と挨拶を交わす」が多いことから、地域との交流促進が重要といえる。

5. 分析を終えて

本調査は、区内6万世帯を対象とし、多くの方のご協力のもと、14,070世帯の方から回答を得ることができた。調査の結果を集計し、分析した結果、158世帯がひきこもりの該当者を抱えており、その実態及びニーズとして以下の傾向が見受けられた。今後、この結果について、区のひきこもり支援の施策に反映していく。

(1) 相談できる場の創出

本調査の結果、ひきこもりの該当者が本人である場合は半数以上、同居人である場合でも4割弱が相談していないという現状が明らかになった。

相談していない理由として、「相談する必要性を感じられなかった」と思っていることなどが挙げられる。また、相談した結果として、「気持ち楽になった」との回答が多いなど、一定の効果が認められるものの、「今の状態を変えたい」、「将来が不安」といった能動的な動機は同居人によるものであり、回答者本人は、「家族や友人等から提案や案内を受けたため」といった受動的な動機によるものであった。

相談相手や相談機関への要望については、「無料で相談できる」、「専門的な見地から助言をする」、「親身になって話を聞いてくれる」など、それぞれの人が置かれた状況や心境に合った行政サービスを適切に提供することが求められている。また、直接会って話をするだけでなく、電話やメール、SNS等を介した相談方法など、多様な相談窓口を用意しておく必要性もうかがえた。

以上の分析から、当事者のみならず、家族の方々も含めて気軽に訪れることができ、専門的な助言を受けられる相談の場を創出することが、「ひきこもり」の支援策として重要であると考えられる。それと同時に、自らの意思で現状を変えたいと思えるための環境づくりも必要であると考えられる。

(2) 多様な行政サービスの提供

本調査によって、ひきこもりの該当者と定義された人の属性は一様ではなく、高齢者は退職や病気によって現在の状態になっている一方で、若年層においては、学校や職場での人間関係などによってひきこもりの状態に至っていることが一定数あると確認された。このような「きっかけ」による人に対しては、教育機関や事業所等、多様な主体との連携により状況の改善を図れる可能性があるといえる。

ひきこもりの該当者は、自分の趣味に関するイベントや体を動かすイベントなどの社会活動への参加に対して一定の関心を持っていることが把握されており、このような活動や交流を通じて、ひきこもりの状態から脱することができる可能性もあると考えられる。

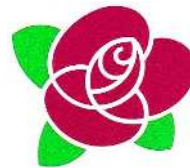
以上の分析から、ひきこもりの該当者がいる世帯の生活状況や求めているニーズは多様であり、それに応えるためには、様々な専門機関が連携し、適切な行政サービスを提供していくことが必要であると考えられる。



区の木 ハナミズキ



区の花 アジサイ



区の花 バラ



港区のマークは、昭和24年7月30日に制定しました。

旧芝・麻布・赤坂の3区を一丸とし、その象徴として港区の頭文字である「み」を力強く、図案化したものです。

刊行物発行番号 2023173-3761

社会参加に関する調査
調査報告書（概要版）

令和6年（2024年）3月発行

編集・発行 港区保健福祉支援部生活福祉調整課

東京都港区芝公園1-5-25

電話03-3578-2111（代表）

港区 社会参加に関する調査 調査報告書

令和6年（2024年）3月



港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちも真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つ子どもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和60年8月15日

港 区

目 次

1. 調査概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象・方法・期間・回収率等	1
(3) 調査の精度	1
(4) 本報告書に関する留意点	2
2. 「ひきこもり」の定義	3
3. 調査結果の概要	4
4. 類似設問の比較（上位4回答）	7
(1) ひきこもりの状態になった年齢、きっかけについて	7
(2) ひきこもりの状態に関する相談状況について	8
(3) 相談をした結果や、相談するにあたっての要望等について	9
(4) 現在の状況や将来への不安について	10
(5) 自宅をよくしていること、交流状況について	11
5. 調査結果	12
6-1. クロス集計の結果（回答対象者：回答者本人がひきこもりの状態の場合）	52
6-2. クロス集計の結果（回答対象者：同居人がひきこもりの状態の場合）	67
7. 分析を終えて	79
(1) 相談できる場の創出	79
(2) 多様な行政サービスの提供	79
参考（1）ひきこもりの該当者を15歳から64歳以下に限定した場合の集計	80
参考（2）ひきこもりの該当者を65歳以上に限定した場合の集計	110
参考（3）ひきこもりの該当者を70歳以上に限定した場合の集計	140
参考（4）ひきこもりの該当者を75歳以上に限定した場合の集計	170
調査票	200

1. 調査概要

(1) 調査の目的

港区におけるひきこもりの状態にある区民の実態及びニーズを明らかにし、その支援策に関する基礎資料として活用することを目的として港区内の 60,000 世帯を対象に実施した。

(2) 調査対象・方法・期間・回収率等

項目	内容
調査対象	令和5年6月16日現在で港区内に登録されている住民基本台帳から無作為に抽出した60,000世帯
配布数（有効配布数）	60,000世帯（57,975）
回収数	14,070件 <回収数内訳> 【郵送】 7,977件（56.7%） 【インターネット】 日本語 5,728件（40.7%） 英語 240件（1.7%） 中国語 94件（0.7%） 韓国語 31件（0.2%）
回収率（有効回収率）	23.5%（24.3%）
調査方法	調査票を郵送配布し、無記名による郵送回答またはインターネット回答により回収。インターネット回答は、英語、中国語、韓国語での回答が可能。 調査期間中に、対象者全員にお礼状兼回答協力依頼の手紙を1回送付。
調査期間	令和5年7月14日（金）～令和5年8月4日（金）
調査実施機関	株式会社 創建

(3) 調査の精度

標本誤差は、以下の式で得られ、比率算出の基数（n=回答者数）、回答の比率（p）によって誤差幅が異なる（下表は p=0.5 の場合）。

$$\text{標本誤差} = \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}} \times 1.96$$

N : 母集団（港区の全世帯数）
n : サンプル数（有効回答数）
p : 回答比率（1つの選択肢に対して得られた回答者の割合）
1.96 : 信頼率95%と設定した場合の定数（調査の母集団に同じ設問をしても、統計学的には95%の確率で同じ回答が得られるというもの）

回答比率 (p) 回答者数 (n)	90%または10%程度	80%または20%程度	70%または30%程度	60%または40%程度	50%程度
20,000	±0.34%	±0.45%	±0.52%	±0.55%	±0.57%
15,000	±0.42%	±0.55%	±0.64%	±0.68%	±0.69%
14,070	±0.43%	±0.58%	±0.66%	±0.71%	±0.72%
10,000	±0.54%	±0.72%	±0.82%	±0.88%	±0.89%
5,000	±0.80%	±1.06%	±1.22%	±1.30%	±1.33%

【表の見方】

全体（母集団）の中から一部を抽出する標本調査では、全体を対象に行った調査（全数調査）と比べて調査結果に差が生じることがあり、標本誤差とは、そのような誤差のことを指す。標本誤差は標本の抽出方法や標本数によって異なるが、計算することが可能であり、その計算式を今回の調査にあてはめて整理した。

今回の調査は、回答件数が14,070件であり、ある設問の回答比率が50%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±0.72%以内（49.28%～50.72%）であるとみることができる。

（4）本報告書に関する留意点

- ・無記名方式による調査のため、回答者の特定はできない（但し、問56で個人情報を入力した回答を除く）。
- ・比率は全て百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して表示している。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがある。
- ・基数となる実数は「N」として掲載し、各グラフの比率はNを母数とした割合を示している。
- ・単数回答は「○は1つだけ」、複数回答は「○はいくつでも」と表示している。複数回答の場合は、合計が100.0%を上回ることがある。
- ・「その他」等の記述式を含む設問の回答は、上位3位までの回答内容を件数とともに記載している。また、一人が複数の内容を回答している場合は、各内容を1件として算出している。なお、回答件数が少数の場合はすべて掲載している。
- ・クロス集計は縦軸を「表側」、横軸を「表頭」と表示している。
また回答件数（「度数」と表示）を上段、割合（「%」と表示）を下段に示している。
- ・クロス集計は、表側、表頭の両方の設問に回答した人のみで集計している。そのため、回答者数の合計は、それぞれの設問の回答者数とは一致しない集計がある。
- ・クロス集計票では、表側に対する割合を算出して記載している。上位3位までの回答を着色している（1位：■、2位：■、3位：■）が、全体の回答数が10人未満の場合は、いずれも着色していない。
- ・分析軸の回答者が50人未満の場合は、回答者些少のため参考値とする。
- ・郵送回答とインターネット回答の重複回答がある場合は、郵送回答を有効回答とした。

2. 「ひきこもり」の定義

本報告書では、内閣府「こども・若者の意識と生活に関する調査（令和4年度）」における「ひきこもり」の定義を参考にしながら対象者を抽出したところ、158世帯でひきこもりの該当者が存在するという結果となった。

内閣府の調査項目	港区調査の設問と選択肢
外出頻度が次のいずれかを選択 1 趣味の用事のときだけ外出する 2 近所のコンビニなどには出かける 3 自室からは出るが、家からは出ない 4 自室からほとんど出ない	(問 27・問 47) 現在の外出頻度はどのくらいですか？ 6 普段は自宅にいるが、自分の趣味に関する用事の時に週1回程度外出する } 準ひきこもり 7 普段は自宅にいるが、近所のコンビニやスーパー等には出かける } 8 同居人以外の方が自宅に居ても居なくても自室からは出るが、自宅からは出ない } 狭義のひきこもり 9 同居人以外の方が自宅にいない時は自室から出るが、自宅からは出ない } 10 自室からほとんど出ない }

かつ

現在の状態が「6か月以上」と回答	(問 11) 問 8（ひきこもり）の状態の期間はどのくらいですか？ 1 6か月～1年未満 2 1年～2年未満 3 2年～3年未満 4 3年～5年未満 5 5年～7年未満 6 7年～10年未満 7 10年～15年未満 8 15年～20年未満 9 20年～25年未満 10 25年～30年未満 11 30年以上
------------------	---

かつ

次の類型 1～3のいずれにも該当しない者	【類型1】 現在の状態になった主な理由が、「統合失調症」又は身体的病気の病名を記入	(問 18・問 41) 問 8の状態になったきっかけは何ですか？ 以下を選択し、かつ「統合失調症」又は身体的病気の病名を記入 9 病気 15 その他	
	【類型2】 最近6か月間に、家族以外の人と「よく会話をした」又は「ときどき会話をした」を選択	(問 35・問 50) 交流状況について教えてください。 2 趣味や遊びのために人と会うことはある 4 民間を含む相談窓口・支援機関との交流がある 7 通院で医師等と会話をする	
	①～③のいずれかに該当	【類型2-①】 「妊娠したこと」「介護・看護を担うことになったこと」「その他」のうち、出産・育児をしている旨を記入	(問 18・問 41) 問 8の状態になったきっかけは何ですか？ 10 妊娠したこと 13 介護・看護を担うことになったこと 12 育児に専念することになったこと 15 その他を選択し、出産・育児をしている旨を記入
		【類型2-②】 普段ご自宅にいるときは、どんなことに時間を使っているかの問いの回答が「家事をする」「育児をする」「介護・看護をする」のいずれか	(問 33・問 49) 自宅でよくしていることをご回答ください。 9 家事をする 10 育児をする 11 介護・看護をする
		【類型2-③】 現在の仕事が「会社などの役員」、「自営業・自由業」、「家族従業者・内職」を選択	(問 6・問 39) 現在の就学・就労状況をお答えください。 「3 勤めている（自営業・フリーランス）」を選択
【類型3】 現在の仕事が「会社などの役員」、「自営業・自由業」、「家族従業者・内職」を選択	(問 18・問 41) 問 8の状態になったきっかけは何ですか？ 「15 その他（）」を選択し、自宅で仕事をしている旨を回答		

3. 調査結果の概要

【全体】

- ひきこもりの該当者を抱えている世帯は 158 世帯（回答全体の 1.1%）である（問 8）。ひきこもりの該当者のうち、男性が 36.7%、女性が 62.0%となっている（問 10）。年齢別では 65 歳以上が該当者全体の 53.1%を占めており、特に 70 歳以上が 46.8%となっている（問 9）など、ひきこもりの該当者は高齢者が多かった。一方、39 歳以下は 27 世帯（同 17.0%、回答全体の 0.19%）と少なかった。
- ひきこもりの状態になってからの期間は 5 年未満が全体の 6 割程度を占め、特に 3～5 年が 22.2%となっている（問 11）。ひきこもりの該当者の年齢を区分した場合、15～64 歳は 5 年未満の割合が全体の約 6 割、3 年～5 年未満が 23.5%となっている。65 歳以上は 5 年未満が全体の約 6 割、3 年～5 年未満が 21.4%となっている。70 歳以上は、5 年未満が全体の 5 割台半ば、3 年～5 年未満が 21.6%となっている。75 歳以上は、5 年未満が全体の約 5 割、3 年～5 年未満が 18.6%となっている。
- ひきこもりの該当者のうち、6 割超の人が医療機関を受診している（問 12）。さらに受診した人のうち 6 割超が現在も通院している（問 14）。ひきこもりの該当者の年齢を区分した場合、15～64 歳は、48.5%が受診し、63.6%が現在も通院している。65 歳以上は、71.4%が受診し、61.7%が現在も通院している。70 歳以上は、71.6%が受診し、56.6%が現在も通院している。75 歳以上は、76.3%が受診し、55.6%が現在も通院している。
- ひきこもりの該当者が本人の回答は 68 人（43.0%）、ひきこもりの該当者が同居人の回答は 90 人（57.0%）である（問 16）。ひきこもりの該当者の年齢を区分した場合、15～64 歳は、ひきこもりの該当者が本人の割合は 32.4%、ひきこもりの該当者が同居人の割合は 67.6%である。65 歳以上は、ひきこもりの該当者が本人の割合は 54.8%、ひきこもりの該当者が同居人の割合は 45.2%である。70 歳以上は、ひきこもりの該当者が本人の割合は 52.7%、ひきこもりの該当者が同居人の割合は 47.3%である。75 歳以上は、ひきこもりの該当者が本人の割合は 47.5%、ひきこもりの該当者が同居人の割合は 52.5%である。

【回答者本人がひきこもりの該当者】

- ひきこもりの状態になった年齢は、65歳以上が半数以上を占め、特に75歳以上が35.3%で一番を占めている（問17）。
- ひきこもりの状態になったきっかけは、「その他」（29.4%）を除くと、退職したことが最も多く、新型コロナウイルス蔓延の影響が続いている（問18）。ひきこもりの該当者の年齢を区分した場合、15～64歳は、退職したことによる影響が最も多い。65歳以上・70歳以上・75歳以上は、いずれにおいても新型コロナウイルス蔓延の影響が最も多い。
- 現状について誰かに話や相談をした人は38.2%であり、過半数が話や相談をしていない（問19）。話や相談をした人の内、42.3%が「気持ちが楽になった」と回答している（問22）。一方、話や相談をしていない理由として、「相談する必要性を感じられなかった」と回答した割合が突出して多く（問23）、今後の相談意向についても、6割台半ばが望んでいない（問24）。ひきこもりの該当者の年齢を区分した場合、15～64歳は、54.5%が相談しておらず、「相談できる相手がいなかったため」の割合が最も多い。今後の相談意向は、6割台半ばが相談したいと考えている傾向にある。65歳以上は、63.0%が相談しておらず、「相談する必要性を感じられなかった」と回答した割合が最も多い。今後の相談意向は「全く相談しようと思わない」が60.9%となっている。70歳以上は、56.4%が相談しておらず、「相談する必要性を感じられなかった」と回答した割合が最も多い。今後の相談意向は「全く相談しようと思わない」が59.0%となっている。75歳以上は、話や相談をした人としていない人が同じ割合であった。また、話や相談をしていない理由として、「相談する必要性を感じられなかった」と回答した割合が最も多い。今後の相談意向は「全く相談しようと思わない」が60.7%となっている。
相談した結果は、回答者の年齢によらず「気持ちが楽になった」が最も多い。
- ひきこもりの該当者が本人の場合は、約4割が不安を感じたことはないと考えている。その一方、生活費等の金銭的な不安や、このままの状態が良いのかといった不安も抱えている（問32）。回答者の年齢を区分した場合、15～64歳は、「生活費等の金銭が底を尽くかもしれない不安」が最も多い。65歳以上・70歳以上・75歳以上は、いずれにおいても「不安を感じたことがない」が最も多い。

【同居人がひきこもりの該当者】

- ひきこもりの該当者が配偶者である割合は 35.6%と最も多く、配偶者・母・子で全体の約8割を占めている（問 38）。ひきこもりの該当者の年齢を区分した場合、15～64 歳は、配偶者(41.3%)と子 (32.6%) が突出している。65 歳以上・70 歳以上・75 歳以上は、いずれにおいても母・配偶者の順が多い。
- ひきこもりの状態になった年齢は、「75 歳以上」が 24.4%と突出しているが、30 代までが4割台半ばを占めており、比較的若い頃からひきこもりの状態になっている人が多い（問 40）。
- ひきこもりの状態になったきっかけは、「その他」を除くと、学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと、不登校、学生時代のいじめなど、人間関係が契機となっている場合が比較的多い（問 41）。ひきこもりの該当者の年齢を区分した場合、15～64 歳は「学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと」が多い。65 歳以上・70 歳以上・75 歳以上は、いずれにおいても「新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと」が最も多い。
- 同居人の現状について誰かに話や相談をした人は 53.3%であり（問 42）、そのきっかけは同居人の現状や将来を案じてのことである（問 43）。相談した結果、「気持ちが楽になった」「同居人の状態を変えたい気持ちが強くなった」と、相談したことで一定の前向きな心境変化が読み取れる（問 45）。一方、相談していない理由は、「相談する必要性を感じられなかったため」、「相談して助言をもらっても、同居人が変わらないと思った」が多い（問 46）。ひきこもりの該当者の年齢を区分した場合、15～64 歳は、話や相談をした人が 47.8%であり、そのきっかけは「同居人の今の状態を変えたいと思ったため」が 86.4%、「同居人の今後の将来に不安を感じたため」72.7%と突出して多い。65 歳以上と 70 歳以上は、話や相談をした人がそれぞれ 55.3%、57.1%であり、そのきっかけは「同居人の今の状態を変えたいと思ったため」「同居人の今後の将来に不安を感じたため」が多い。
75 歳以上は、話や相談をした人が 61.3%であり、そのきっかけは「同居人の今の状態を変えたいと思ったため」が 57.9%、「同居人の今後の将来に不安を感じたため」が 42.1%と多い。
- 同居人の将来に対しては、「このままの状態が良いのかという不安」が最も多い（問 48）。そして、60.0%が同居人の状態を変えたいと思っている（問 51）。15～64 歳、65 歳以上、70 歳以上、75 歳以上の全ての年齢層で「このままの状態が良いのかという不安」が最も多く、15～64 歳の年齢層では、69.6%が「同居人の状態を変えたいと思う」と回答している。一方、65 歳以上、70 歳以上、75 歳以上ではそれぞれ 50.0%、51.4%、48.4%が「同居人の状態を変えたいとは思わない」と回答をしており、高齢者層では、ひきこもりの該当者を変えることに前向きではない傾向がある。

4. 類似設問の比較（上位4回答）

本調査では、ひきこもりの該当者が回答者本人の場合と、同居人の場合で類似した設問を設定しており、それぞれの立場による状況や心境などに関する回答結果を比較するため、「その他」「無回答」を除く上位4回答を整理した。

(1) ひきこもりの状態になった年齢、きっかけについて

設問の概要	回答者本人		同居人	
現在の就学・就労状況 本人…問6（問16で1を回答した人のみ） （回答数…68人） 同居人…問39 （回答数…90人）	1位	無職（現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない） （回答件数：67件・98.5%）	1位	無職（現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない） （回答件数：81件・90.0%）
	2位以下の回答なし		2位	学生（予備校生含む） （回答件数：8件・8.9%）
			3位以下の回答なし	
ひきこもりの状態になった年齢 本人…問17 （回答数…68人） 同居人…問40 （回答数…90人）	1位	75歳以上 （回答件数：24件・35.3%）	1位	75歳以上 （回答件数：22件・24.4%）
	2位	50歳～54歳 （回答件数：7件・10.3%）	2位	15歳未満 （回答件数：8件・8.9%）
		55歳～59歳 （回答件数：7件・10.3%）		20歳～24歳 （回答件数：8件・8.9%）
		65歳～69歳 （回答件数：7件・10.3%）		25歳～29歳 （回答件数：8件・8.9%）
	70歳～74歳 （回答件数：7件・10.3%）			
ひきこもりの状態になったきっかけ 本人…問18 （回答数…68人） 同居人…問41 （回答数…90人）	1位	退職したこと （回答件数：14件・20.6%）	1位	学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと （回答件数：14件・15.6%）
	2位	新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと （回答件数：12件・17.6%）	2位	新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと （回答件数：13件・14.4%）
	3位	病気 （回答件数：8件・11.8%）	3位	退職したこと （回答件数：12件・13.3%）
		なんとなく （回答件数：8件・11.8%）	4位	小学校時代、または中学校時代の不登校 （回答件数：10件・11.1%）

ひきこもりの該当者としては高齢者が一定数含まれており、特に回答者本人に多い。ひきこもりの該当者が同居人の場合では30歳未満が多く、年齢層の幅がある。ひきこもりの状態になったきっかけとしても、ひきこもりの該当者が回答者本人の場合は退職や病気など、加齢と関わりがあるものが挙げられている一方、ひきこもりの該当者が同居人の場合では学校や職場の人間関係・不登校やいじめが挙げられているため、教育機関や職場等、多様な主体との連携が重要であることがわかる。

(2) ひきこもりの状態に関する相談状況について

設問の概要	回答者本人		同居人	
ひきこもりの状態について、 誰かに話や相談をしたか ※本設問の選択肢は2つのみ 本人…問 19 (回答数…68人) 同居人…問 42 (回答数…90人)	1位	話や相談をしていない (回答件数：41件・60.3%)	1位	話や相談をした (回答件数：48件・53.3%)
	2位	話や相談をした (回答件数：26件・38.2%)	2位	話や相談をしていない (回答件数：39件・43.3%)
ひきこもりの状態について、 話や相談をしたきっかけ 本人…問 20 (回答数…26人) 同居人…問 43 (回答数…48人)	1位	家族や友人等から提案や 案内を受けたため (回答件数：6件・23.1%)	1位	同居人の今の状態を 変えたいと思ったため (回答件数：35件・72.9%)
	2位	今の状態を変えたいと 思ったため (回答件数：5件・19.2%)	2位	同居人の今後の将来に不安 を感じたため (回答件数：29件・60.4%)
	3位	信頼度が高く、話や相談が できる人ができたため (回答件数：4件・15.4%)	3位	家族や友人等から提案や 案内を受けたため (回答件数：4件・8.3%)
	4位	なんとなく (回答件数：2件・7.7%)	4位	同居人と同じ境遇にある人 が、同居人の状態を変えた 事例を目にしたため (回答件数：1件・2.1%) なんとなく (回答件数：1件・2.1%)
ひきこもりの状態について、 どこ(または誰)に話や相談 をしたか 本人…問 21 (回答数…26人) 同居人…問 44 (回答数…48人)	1位	医療機関 (回答件数：11件・42.3%)	1位	家族、親族 (回答件数：28件・58.3%)
	2位	家族、親族 (回答件数：10件・38.5%)	2位	医療機関 (回答件数：23件・47.9%)
	3位	区役所 (福祉事務所、みなと保健所) (回答件数：9件・34.6%)	3位	友人・知人 (回答件数：12件・25.0%)
	4位	友人・知人 (対面で会ったことがある) (回答件数：4件・15.4%)	4位	区役所 (福祉事務所、みなと保健所) (回答件数：8件・16.7%)

ひきこもりの状態についての相談状況は、ひきこもりの該当者が回答者本人と同居人で異なっている。相談した人の動機は、回答者本人・同居人ともに今の状態を変えたいと思っている傾向にあり、双方とも現状を良しとしていない様子がうかがえる。主な相談先は医療機関や家族、親族が多く、続いて区役所や友人・知人となっている。

(3) 相談をした結果や、相談するにあたっての要望等について

設問の概要	回答者本人		同居人	
話や相談をした結果、どのような心境変化があったか 本人…問 22 (回答数…26人) 同居人…問 45 (回答数…48人)	1位	気持ちが楽になった (回答件数：11件・42.3%)	1位	あまり変化はなかった (回答件数：17件・35.4%)
	2位	全く変化はなかった (回答件数：5件・19.2%)	2位	気持ちが楽になった (回答件数：13件・27.1%)
	3位	相談しても無駄だと感じた (回答件数：4件・15.4%)	3位	同居人の状態を変えたい 気持ちが強くなった (回答件数：10件・20.8%)
	4位	あまり変化はなかった (回答件数：2件・7.7%)		相談しても無駄だと感じた (回答件数：10件・20.8%)
他の人や相談窓口等にも相談したいと思った (回答件数：2件・7.7%) 不安が増した (回答件数：2件・7.7%)				
相談をしていない(またはしなかった)理由 本人…問 23 (回答数…41人) 同居人…問 46 (回答数…39人)	1位	相談する必要性を感じられなかったため (回答件数：21件・51.2%)	1位	相談する必要性を感じられなかったため (回答件数：19件・48.7%)
	2位	今の状態から変わりたくないと思ったため (回答件数：5件・12.2%)	2位	相談して助言をもらっても、同居人が変わらないと思ったため (回答件数：12件・30.8%)
		相談できる相手がいなかったため (回答件数：5件・12.2%)	3位	相談相手や相談先がわからなかったため (回答件数：8件・20.5%)
	4位	今の自分を変えられないと思うため (回答件数：4件・9.8%)	4位	相談できる相手がいなかったため (回答件数：7件・17.9%)
相談相手や相談機関への要望 本人…問 25 (回答数…18人) 同居人…問 52 (回答数…54人)	1位	無料で相談できる (回答件数：12件・66.7%)	1位	医学的な助言をくれる (回答件数：25件・46.3%)
	2位	親身に聴いてくれる (回答件数：7件・38.9%)	2位	無料で相談できる (回答件数：24件・44.4%)
	3位	医学的な助言をくれる (回答件数：6件・33.3%)	3位	親身に聴いてくれる (回答件数：19件・35.2%)
	4位	精神科医がいる (回答件数：4件・22.2%)		精神科医がいる (回答件数：19件・35.2%)
		自分の名前を知られずに相談できる (回答件数：4件・22.2%) 公的機関である (回答件数：4件・22.2%) 自宅から近い (回答件数：4件・22.2%)		
相談相手や相談機関への希望する相談方法 本人…問 26 (回答数…18人) 同居人…問 53 (回答数…54人)	1位	直接対面しての相談 (回答件数：14件・77.8%)	1位	直接対面しての相談 (回答件数：31件・57.4%)
	2位	電話での相談 (回答件数：4件・22.2%)	2位	電話での相談 (回答件数：15件・27.8%)
	3位	メールでの相談 (回答件数：3件・16.7%)	3位	メールでの相談 (回答件数：10件・18.5%)
Microsoft TeamsやZoom等のオンラインツールを利用した相談 (回答件数：3件・16.7%)		あてはまるものはない (回答件数：10件・18.5%)		

相談しない理由として、ひきこもりの該当者が回答者本人・同居人ともに「相談する必要性を感じられなかったため」が最も多い。相談先に対しては、回答者本人・同居人ともに「無料で相談できる」、「親身に聴いてくれる」、「医学的な助言をくれる」、「精神科医がいる」といった要望を持っており、相談方法は直接対面しての相談や電話での相談希望が多い。

(4) 現在の状況や将来への不安について

設問の概要	回答者本人		同居人	
本人（または同居人）の外出頻度 本人…問 27 （回答数…68 人） 同居人…問 47 （回答数…90 人）	1 位	普段は自宅にいるが、近所のコンビニやスーパー等には出かける （回答件数：44 件・64.7%）	1 位	普段は自宅にいるが、近所のコンビニやスーパー等には出かける （回答件数：47 件・52.2%）
	2 位	自室からほとんど出ない （回答件数：10 件・14.7%）	2 位	同居人以外の方が自宅に居ても居なくても自室からは出るが、自宅からは出ない （回答件数：17 件・18.9%）
	3 位	普段は自宅にいるが、自分の趣味に関する用事の時に週 1 回程度外出する （回答件数：8 件・11.8%）	3 位	自室からほとんど出ない （回答件数：12 件・13.3%）
	4 位	同居人以外の方が自宅に居ても居なくても自室からは出るが、自宅からは出ない （回答件数：5 件・7.4%）	4 位	普段は自宅にいるが、自分の趣味に関する用事の時に週 1 回程度外出する （回答件数：11 件・12.2%）
不安を感じる時があるか 本人…問 32 （回答数…68 人） 同居人…問 48 （回答数…90 人）	1 位	不安を感じたことはない （回答件数：27 件・39.7%）	1 位	同居人がこのままの状態が良いのかという不安 （回答件数：48 件・53.3%）
	2 位	生活費等の金銭が底を尽くかもしれない不安 （回答件数：21 件・30.9%）	2 位	不安を感じたことはない （回答件数：25 件・27.8%）
	3 位	このままの状態が良いのかという不安 （回答件数：15 件・22.1%）	3 位	同居人の状態を変えるための支援を、同居人が受け入れないかもしれない不安 （回答件数：22 件・24.4%）
	4 位	人との付き合いがうまくいかないのではないかと不安 （回答件数：8 件・11.8%）	4 位	同居人の生活費等の金銭が底を尽くかもしれない不安 （回答件数：18 件・20.0%）

現在の状況として、ひきこもりの該当者が回答者本人・同居人ともに「普段は自宅にいるが、近所のコンビニやスーパー等には出かける」が最も多い。また、回答者本人は将来に対する不安を感じていないものの、同居人はこのままの状態が良いのかという不安を抱えているという結果から、回答者本人と同居人の間で現状に対する認識に大きな乖離があることが読み取れる。

(5) 自宅でよくしていること、交流状況について

設問の概要	回答者本人		同居人	
本人（または同居人）が自宅でよくしていること 本人…問 33 （回答数…68人） 同居人…問 49 （回答数…90人）	1位	テレビを見る （回答件数：49件・72.1%）	1位	テレビを見る （回答件数：59件・65.6%）
	2位	携帯電話・スマートフォンを使う （回答件数：30件・44.1%）	2位	携帯電話・スマートフォンを使う （回答件数：44件・48.9%）
	3位	パソコンを使う （回答件数：22件・32.4%）	3位	家事をする （回答件数：25件・27.8%）
		本を読む（雑誌や漫画を含む） （回答件数：22件・32.4%）	4位	ゲームをする （回答件数：24件・26.7%）
交流状況 本人…問 35 （回答数…68人） 同居人…問 50 （回答数…90人）	1位	近隣住民と挨拶を交わす （回答件数：23件・33.8%）	1位	家族と会話はするが、 家族以外の人と交流がない （回答件数：35件・38.9%）
		家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない （回答件数：23件・33.8%）	2位	近隣住民と挨拶を交わす （回答件数：12件・13.3%）
		通院で医師等と会話を する （回答件数：23件・33.8%）		家族以外の人と会うことは ないが、インターネットや SNS等を通じて人と交流して いる （回答件数：12件・13.3%）
	4位	趣味や遊びのために人と 会うことはある （回答件数：11件・16.2%）	4位	家族ともほとんど会話が ない （回答件数：8件・8.9%）
家族ともほとんど会話が ない （回答件数：11件・16.2%）				

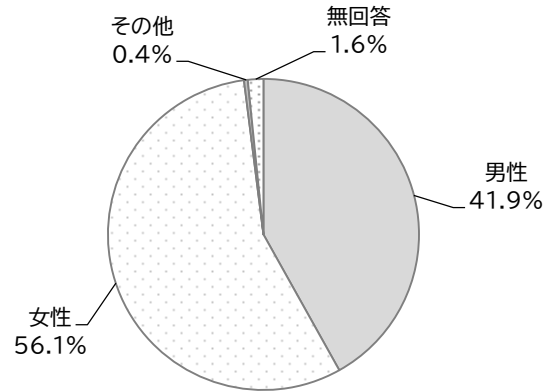
ひきこもりの該当者が回答者本人・同居人ともに、自宅ではテレビを見たり、携帯電話・スマートフォンを使ったりしている回答が多い。他者との交流として、回答者本人は「近隣住民と挨拶を交わす」が最も多い。同居人は「家族と会話はするが家族以外の人と交流がない」に次いで「近隣住民と挨拶を交わす」が多いことから、地域との交流促進が重要といえる。

5. 調査結果

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

「男性」が41.9%、「女性」が56.1%「その他」が0.4%となっている。

(N=14,070)

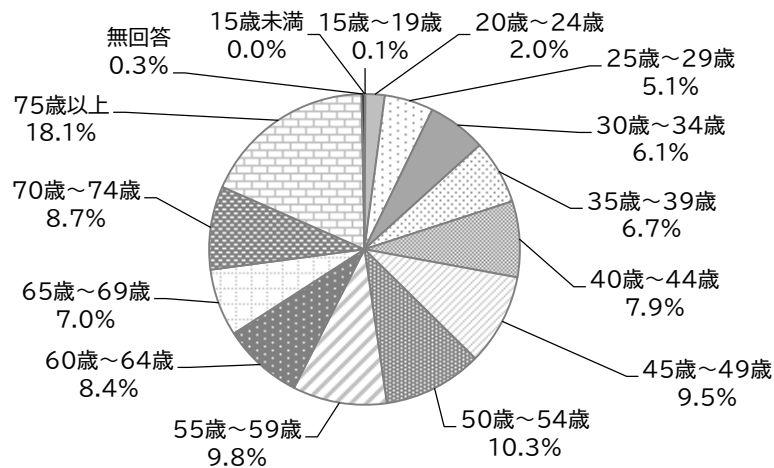


問2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つだけ)

(※令和5年6月16日現在の年齢をお答えください)

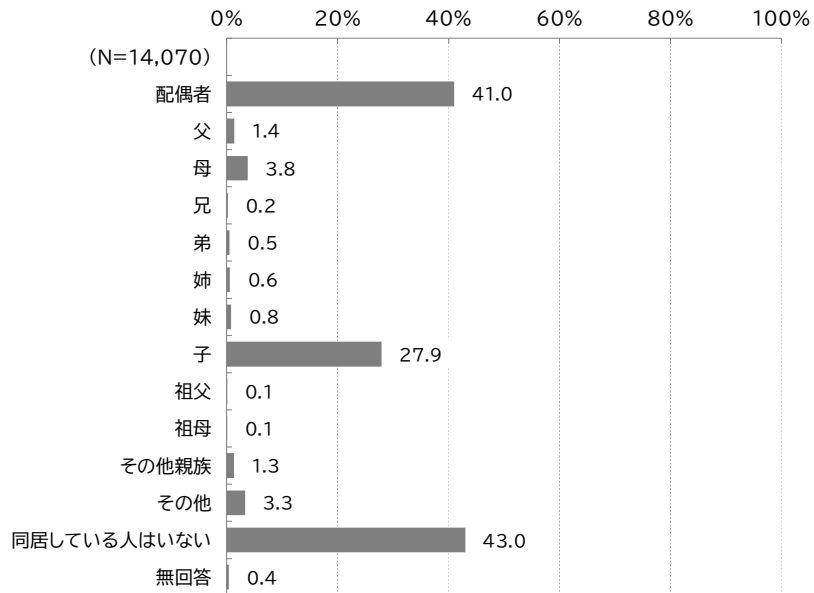
「75歳以上」が18.1%と最も多く、次いで「50歳～54歳」が10.3%、「55歳～59歳」が9.8%となっている。

(N=14,070)



問3 現在、あなたと同居している方をお答えください。(〇はいくつでも)
 なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を
 含めます。

「同居している人はいない」が43.0%と最も多く、次いで「配偶者」が41.0%、「子」が
 27.9%となっている。

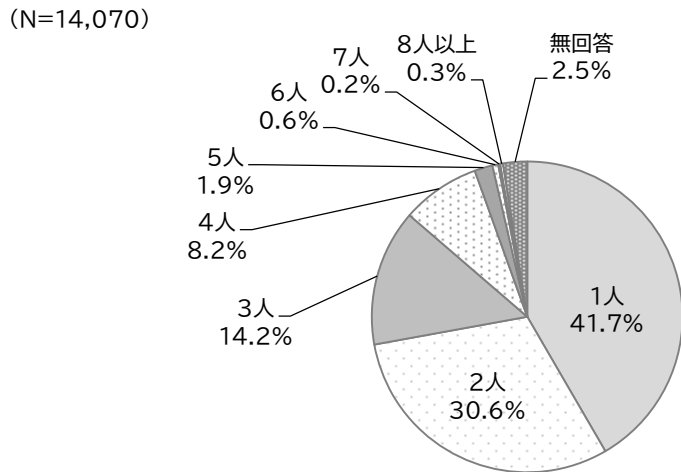


その他の主な内容 (430 件)

- パートナー、内縁関係の相手 (66 件)
- 孫 (66 件)
- 友人・知人 (64 件)

問4 現在、あなたを含めて何人で同居しているかをお答えください (〇は1つだけ)

「1人」が41.7%と最も多く、次いで「2人」が30.6%、「3人」が14.2%となっている。



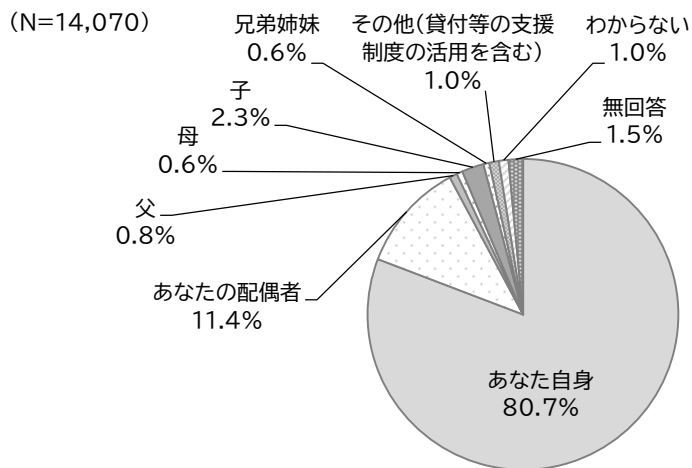
問5 同居者全員の中で、主たる生計維持者はどなたですか？（○は1つだけ）

※生計維持者が複数人いる場合は、一番収入の高い人をご回答ください。

※同世帯か、別世帯かは問いません。

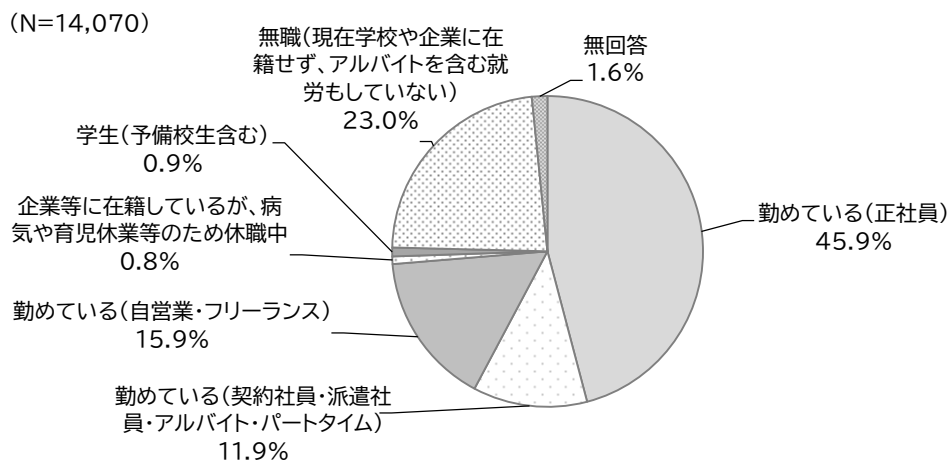
※仕送りで生計を立てている方は、その仕送り主をお答えください。

「あなた自身」が80.7%と最も多く、次いで「あなたの配偶者」が11.4%、「子」が2.3%となっている。



問6 あなたの現在の就学・就労状況をお答えください。（○は1つだけ）

「勤めている（正社員）」が45.9%と最も多く、次いで「無職（現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない）」が23.0%、「勤めている（自営業・フリーランス）」が15.9%となっている。

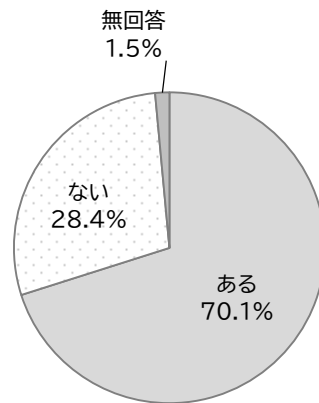


問7は、問6で「6. 無職（現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない）」を選択した人が回答。

問7 これまでにアルバイトやパートを含む就労をしたことがありますか。（○は1つだけ）

「ある」が70.1%、「ない」が28.4%となっている。

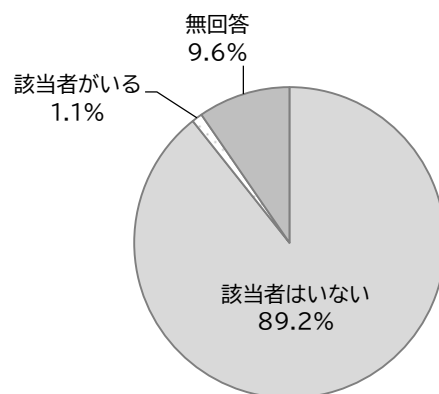
(N=3,243)



問8 あなたを含む同居者の中で、次の①～③の全ての状況に該当する方がいるかお答えください。（○は1つだけ）

「該当者がいる」が1.1%（158人）、「該当者はいない」が89.2%となっている。

(N=14,070)



【ひきこもりの該当者の条件】

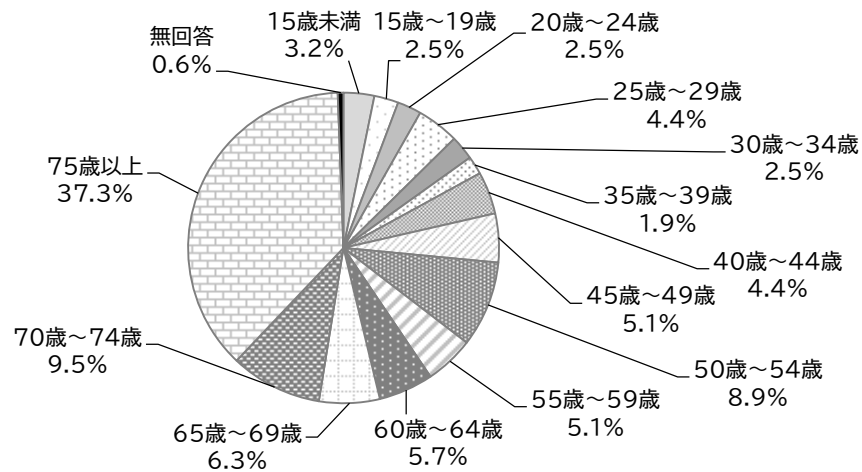
- ① 自宅から外出をほとんどしない、または近所のコンビニやスーパー等の販売店、通院・趣味の用事の時のみ外出をする
- ② 家族以外の人と直接の会話をしない、または家族以外の人との交流を避けている
(①のコンビニやスーパー等の店員、医師・看護師等の医療機関受診時の会話等を除く)
- ③ ①から②の状態が6か月以上続いている

問9から問12は、問8で「2. 該当者がいる」を選択した人が回答。

問9 問8に該当する方の年齢を選択してください。(○は1つだけ)
(複数人該当する場合は、その状態が一番長い方についてお答えください)

「75歳以上」が37.3%で最も多い。39歳以下の合計では17.0%、15歳から64歳以下では43.0%、65歳以上では53.1%となっている。

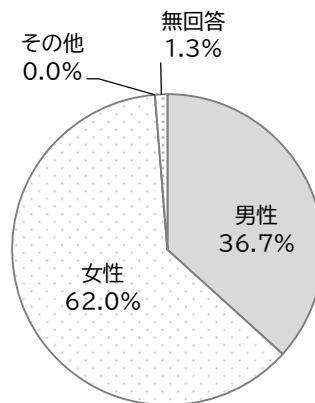
(N=158)



問10 問8に該当する方の性別をお答えください。(○は1つだけ)

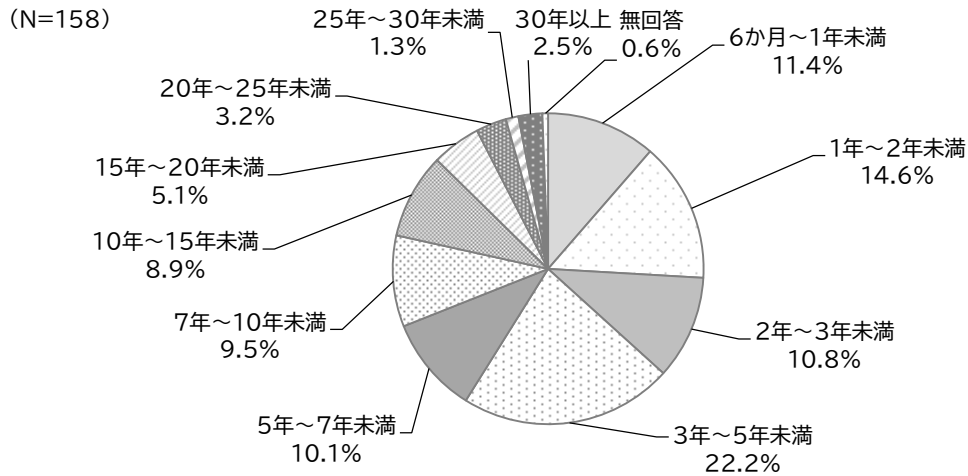
「男性」が36.7%、「女性」が62.0%となっている。

(N=158)



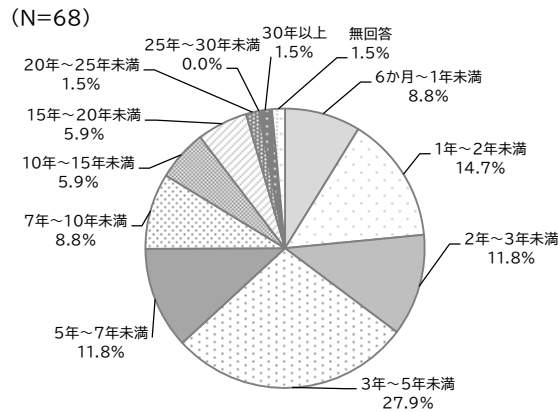
問11 問8の状態の期間はどのくらいですか？（○は1つだけ）

「3～5年」が22.2%で最も多い。5年未満の合計では59.0%となっている。

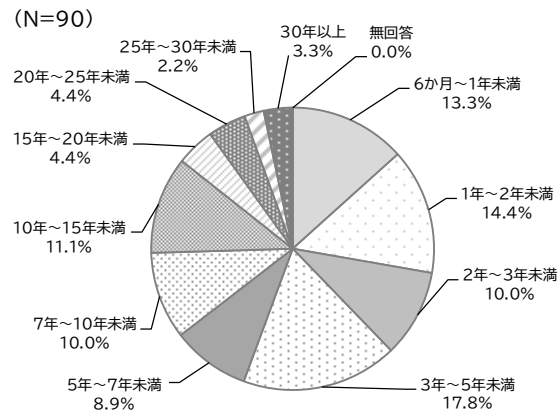


(参考)

ひきこもりの該当者のうち、問16で「1. 回答者本人」を選択した人



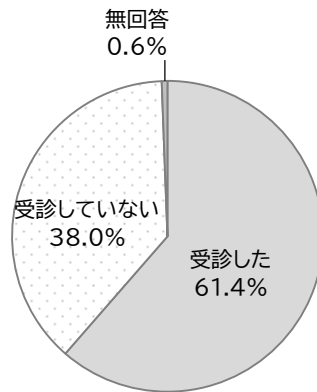
ひきこもりの該当者のうち、問16で「2. 同居人」を選択した人



問 12 問8の状態になってから医療機関を受診しましたか？（○は1つだけ）

「受診した」が61.4%、「受診していない」が38.0%となっている。

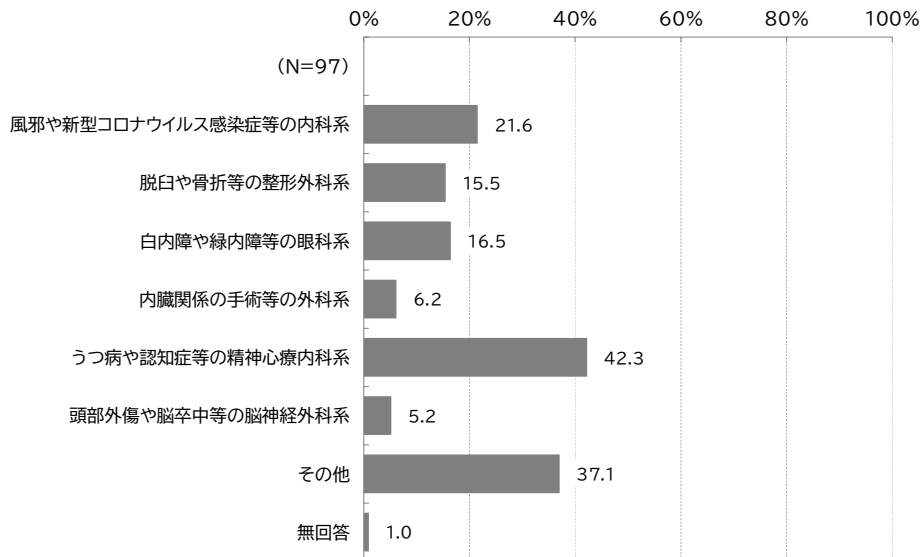
(N=158)



問 13と問 14 は、問 12 で「1. 受診した」を選択した人が回答。

問 13 どのような理由で受診しましたか？（○はいくつでも）

「うつ病や認知症等の精神心療内科系」が42.3%と最も多く、次いで「その他」が37.1%、「風邪や新型コロナウイルス感染症等の内科系」が21.6%となっている。



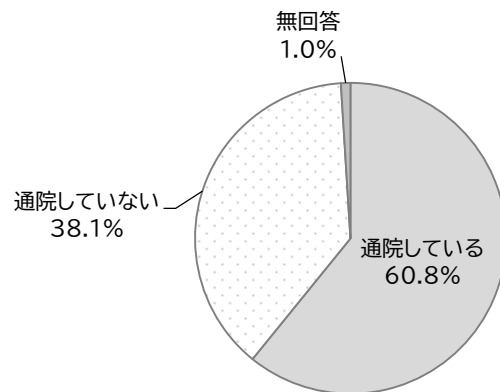
その他の主な内容 (41 件)

- 風邪や新型コロナウイルス感染症等の内科系以外の内科呼吸器、循環器、消化器 (13 件)
- 歯科 (7 件)
- 肺炎 (3 件)

問 14 現在も通院していますか？（○は1つだけ）

「通院している」が60.8%、「通院していない」が38.1%となっている。

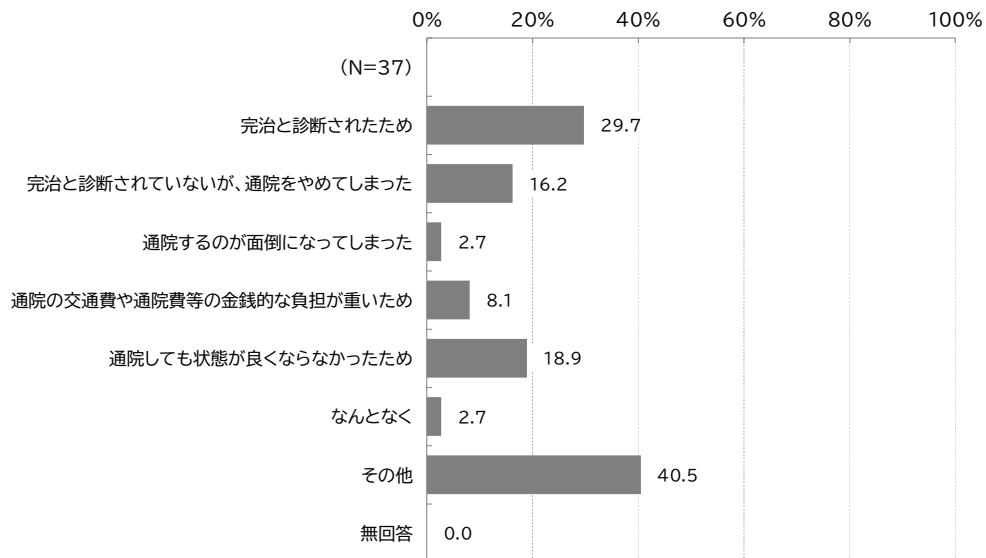
(N=97)



問 15 は、問 14 で「2. 通院していない」を選択した人が回答。

問 15 通院していない理由は何ですか？（○はいくつでも）

「その他」40.5%を除くと、「完治と診断されたため」が29.7%と最も多く、次いで「通院しても状態が良くならなかったため」が18.9%となっている。



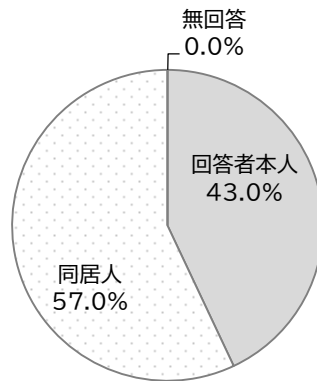
その他の内容（13件）

- 訪問診療のため（6件）
- 必要性がないため/健康なため（5件）
- 本人が通院を希望しないため（1件）
- 高齢で通院が困難なため（1件）

問 16 問8の状態の人は、どなたですか？（○は1つだけ）

「回答者本人」が43.0%、「同居人」が57.0%となっている。

(N=158)

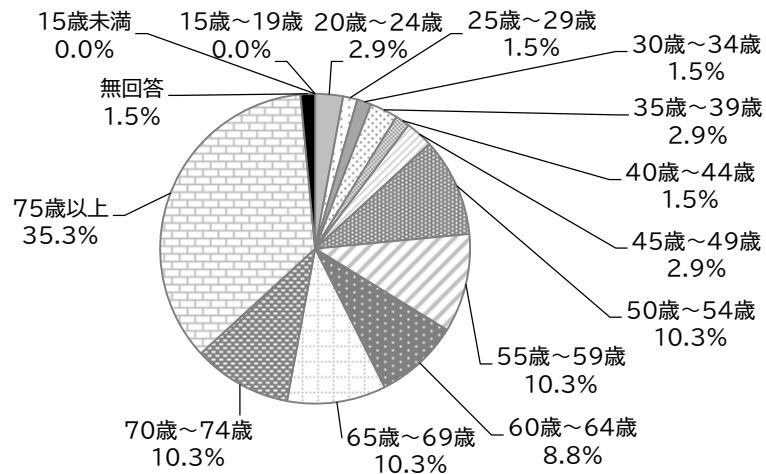


問 17 から問 37 は、問 16 で「1. 回答者本人」を選択した人が回答。

問 17 問8の状態になったのは何歳の頃ですか。

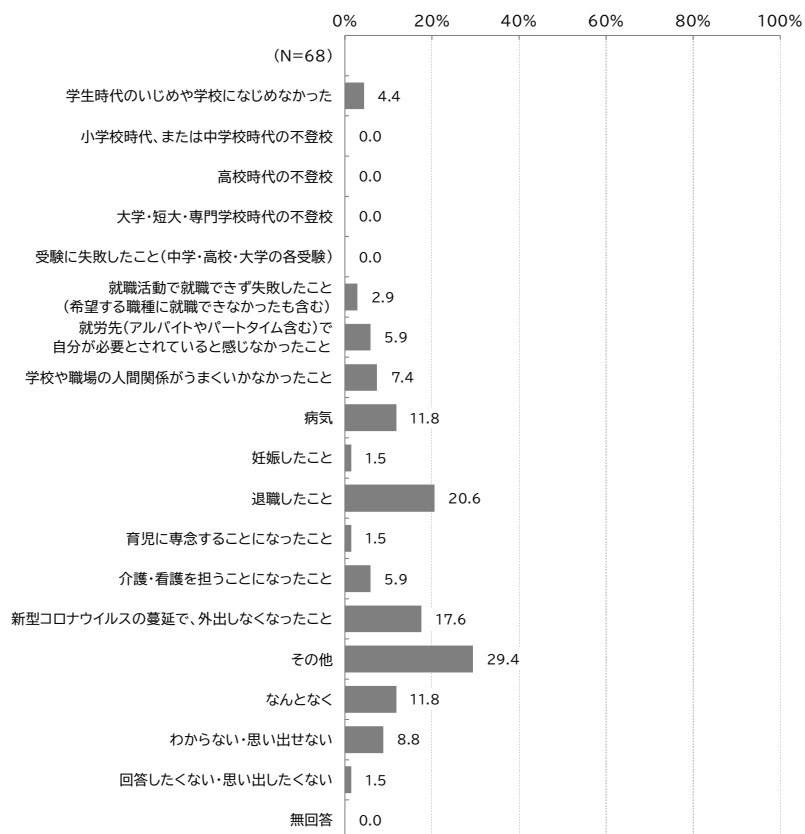
「75 歳以上」が 35.3%で最も多い。39 歳以下の合計では 8.8%、15 歳から 64 歳以下の合計では 42.6%、65 歳以上の合計では 55.9%、70 歳以上の合計では 45.6%となっている。

(N=68)



問18 問8の状態になったきっかけは何ですか？（〇はいくつでも）

「その他」（29.4%）を除くと、「退職したこと」が20.6%で最も多く、次いで「新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと」が17.6%となっている。



病名の内容 (5 件)

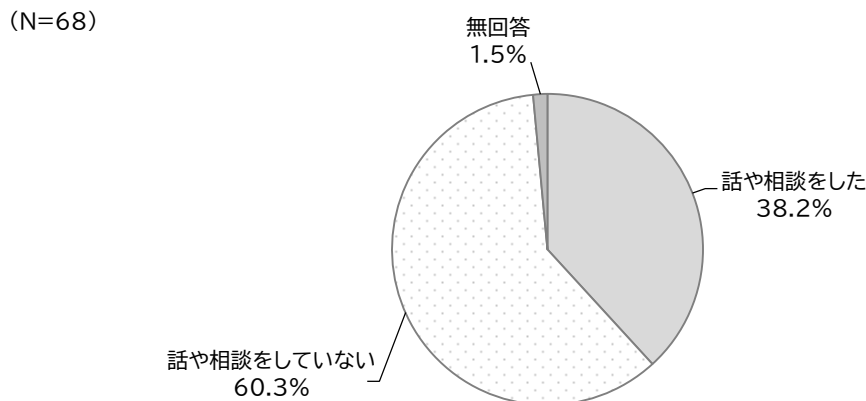
● うつ病 (2 件)
● 双極性感情障害 (1 件)
● 解離性障害 (1 件)
● 認知症 (1 件)

その他の主な内容 (21 件)

● 家族の死 (6 件)
● 高齢のため (6 件)
● 転居したため (2 件)

問19 問8の状態を誰かに話や相談をしましたか？（○は1つだけ）

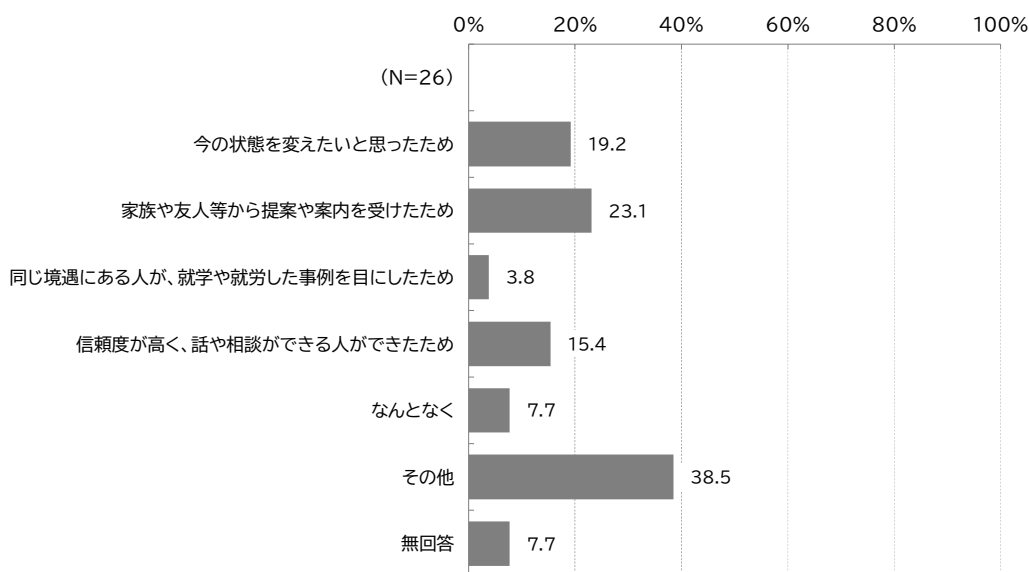
「話や相談をしていない」が60.3%、「話や相談をした」が38.2%となっている。



問20から問22は、問19で「1. 話や相談をした」を選択した人が回答。

問20 話や相談をしたきっかけは何ですか？（○はいくつでも）

「その他」（38.5%）を除くと、「家族や友人等から提案や案内を受けたため」が23.1%で最も多く、次いで「今の状態を変えたいと思ったため」が19.2%となっている。

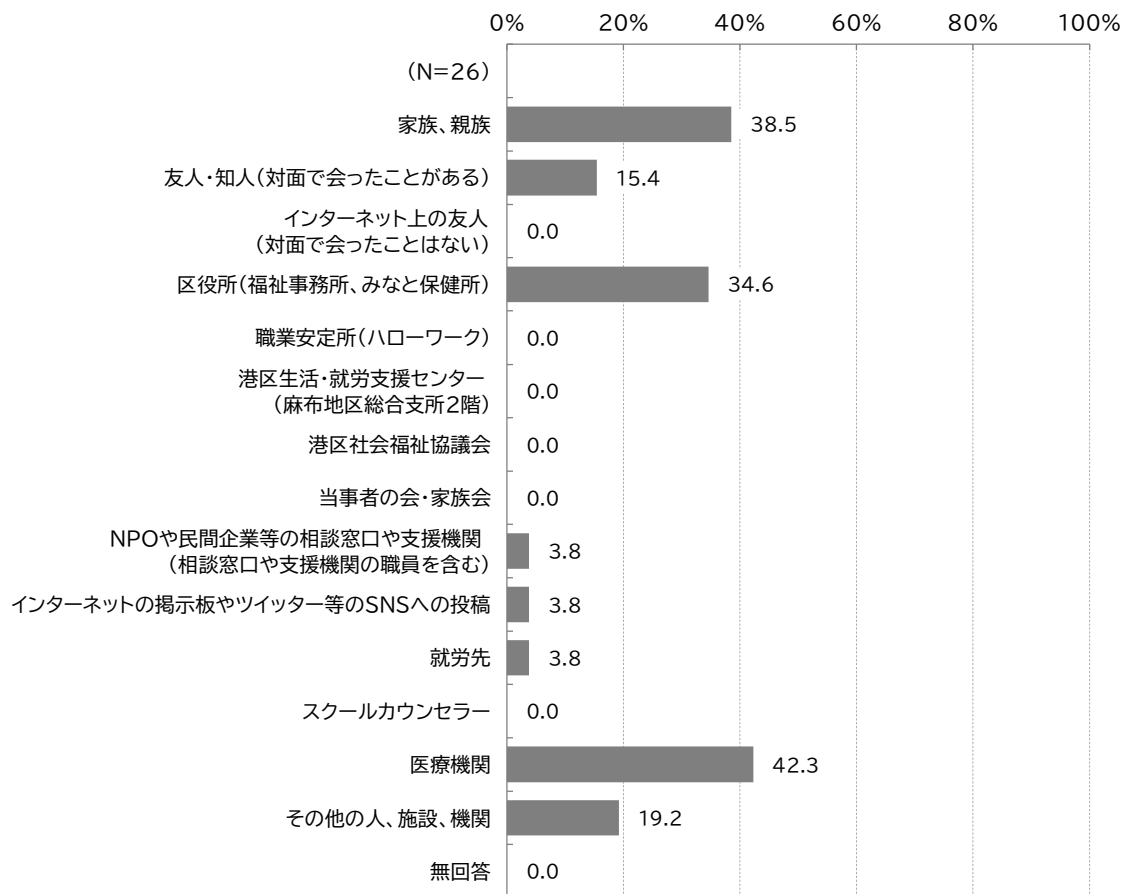


その他の内容（10件）

● 報告義務があったため/強制されたため（2件）
● 高齢になったため（2件）
● 施設に入りたかったため（1件）
● 医師に相談するため（1件）
● 苦しかったため（1件）
● 現状維持のため（1件）
● 解決するしかなかったため（1件）
● からだが動かなくなってきたため（1件）

問 21 どこ（または誰）に話や相談をしましたか？（〇はいくつでも）

「医療機関」が42.3%と最も多く、次いで「家族、親族」が38.5%、「区役所（福祉事務所、みなと保健所）」が34.6%となっている。

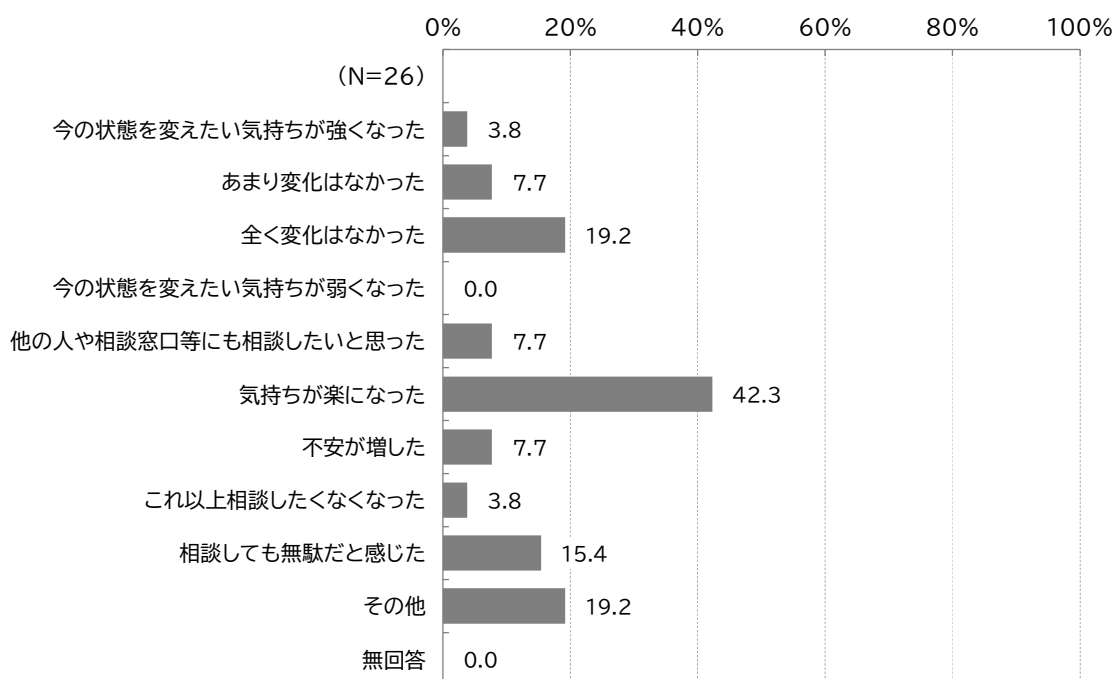


その他の人、施設、機関の内容（7件）

● ケアマネジャー（2件）
● 子ども家庭支援センター（1件）
● 弁護士（1件）
● 警察（1件）
● 自殺センター（1件）
● 社会福祉士（1件）

問 22 話や相談をした結果、どのような心境変化がありましたか？（〇はいくつでも）

「気持ちが楽になった」が42.3%と最も多く、次いで「まったく変化はなかった」と「その他」がそれぞれ19.2%となっている。



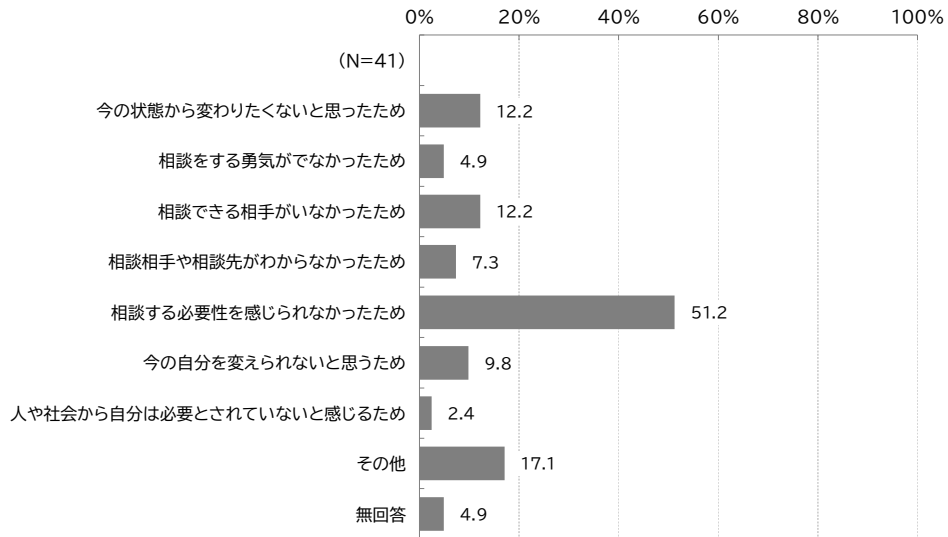
その他の内容（4件）

- 生活しやすくなった（2件）
- 相談してよかった（1件）
- 本人はわかっていない状態（1件）

問 23 は、問 19 で「2. 話や相談をしていない」を選択した人が回答。

問 23 相談をしていない（またはしなかった）理由はなんですか？（〇はいくつでも）

「相談する必要性を感じられなかったため」が 51.2% と最も多く、次いで「その他」が 17.1%、「今の状態から変わりたくないと思ったため」と「相談できる相手がいなかったため」がそれぞれ 12.2% となっている。

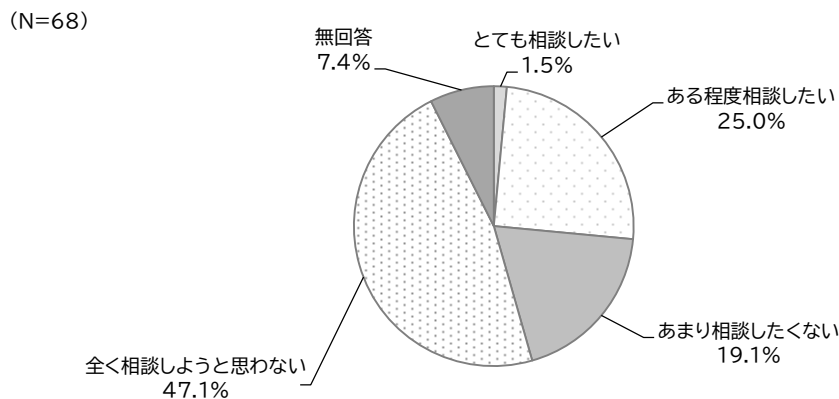


その他の主な内容（5 件）

- 高齢が原因なので仕方がないと思っているため（2 件）
- 病気については医師に相談しているため（1 件）
- 他の人も同じような状況だと思っているため（1 件）

問 24 現在の状態について、話や相談をしたいと思いませんか。（〇は 1 つだけ）

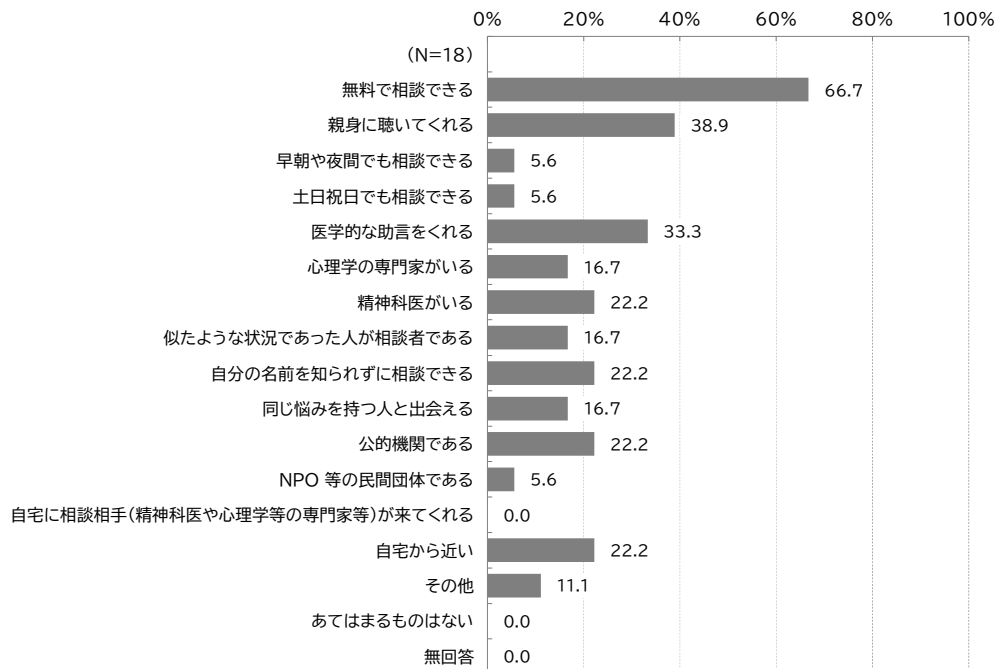
「まったく相談しようと思わない」が 47.1% と最も多い。「とても相談したい」と「ある程度相談したい」の合計 26.5% に対して、「全く相談しようと思わない」と「あまり相談したくない」の合計は 66.2% であり、話や相談を望まない割合が多い。



問 25 と問 26 は、問 24 で「1. とても相談したい」または「2. ある程度相談したい」を選択した人が回答。

問 25 相談相手や相談機関への要望内容を教えてください。(〇はいくつでも)

「無料で相談できる」が 66.7% と最も多く、次いで「親身に聴いてくれる」が 38.9%、「医学的な助言をくれる」が 33.3% となっている。

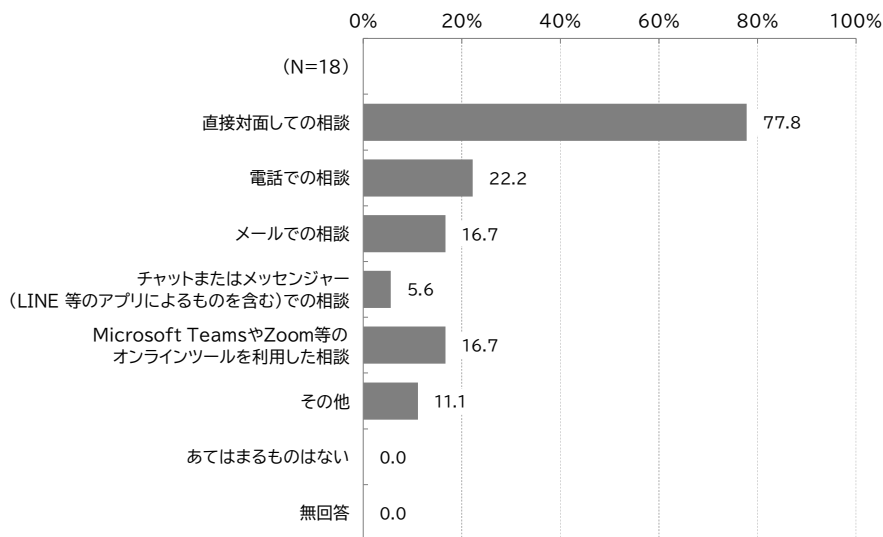


その他の主な内容 (2 件)

- 施設の人 (1 件)

問 26 相談相手や相談機関への希望する相談方法を教えてください。(〇はいくつでも)

「直接対面しての相談」が77.8%と最も多く、次いで「電話での相談」が22.2%、「メールでの相談」と「Microsoft Teams や Zoom 等のオンラインツールを利用した相談」がそれぞれ16.7%となっている。

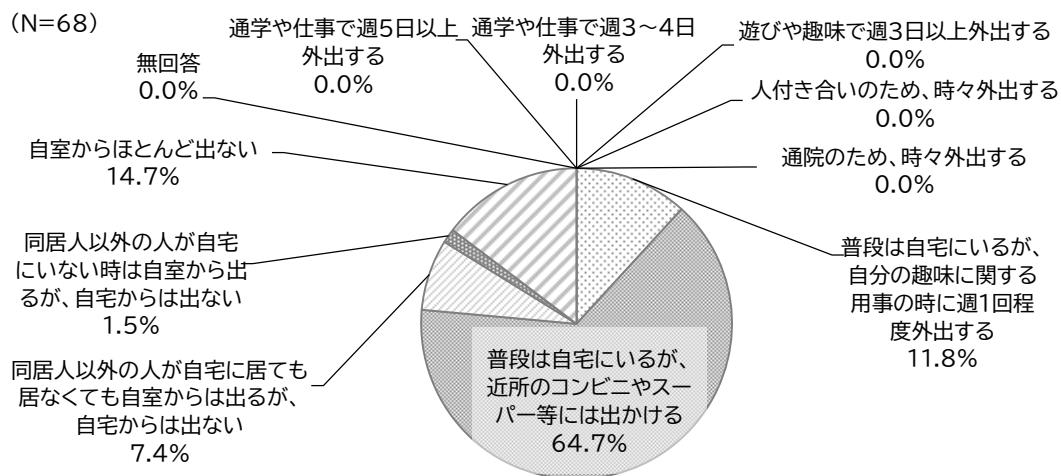


その他の主な内容 (2 件)

- よくわからない (1 件)

問 27 あなたの現在の外出頻度はどのくらいですか？ (〇は1つだけ)

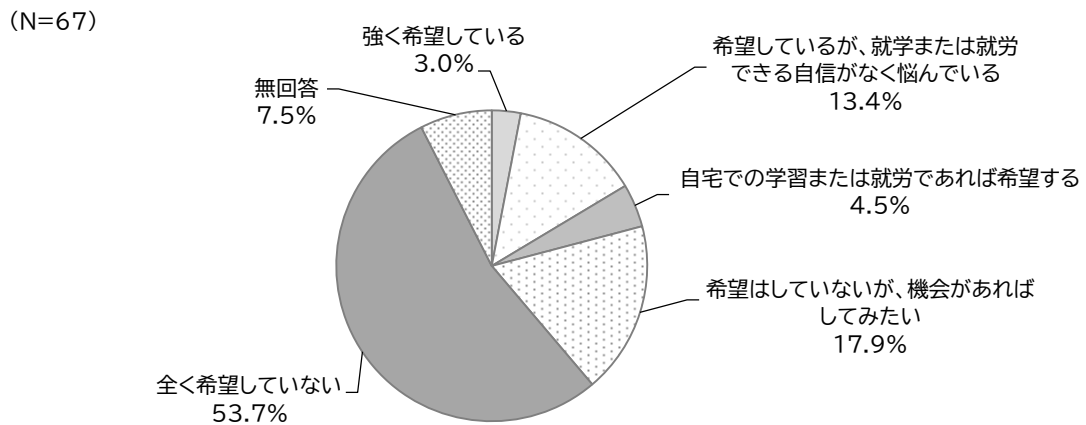
「普段は自宅にいるが、近所のコンビニやスーパー等には出かける」が64.7%と最も多く、次いで「自室からほとんど出ない」が14.7%、「普段は自宅にいるが、自分の趣味に関する用事の時に週1回程度外出する」が11.8%となっている。



問 28 は、問 6 で「6 無職（現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない）」を選択した人が回答。

問 28 就学または就労を現在希望していますか？（○は1つだけ）

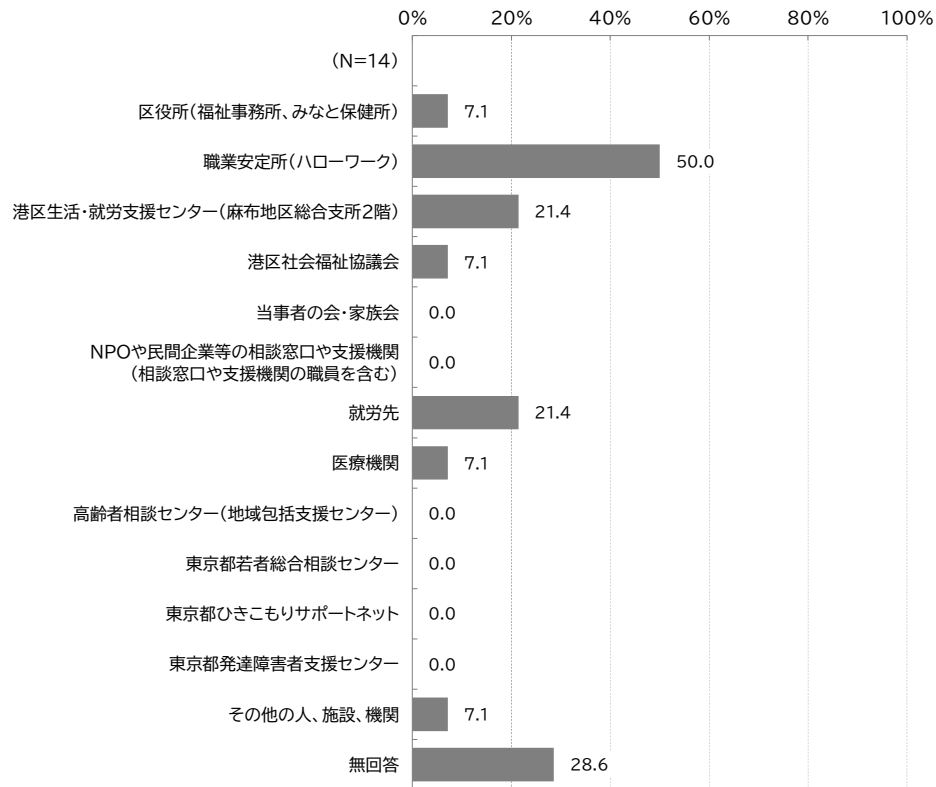
「全く希望していない」が 53.7% と最も多く、次いで「希望はしていないが、機会があればしてみたい」が 17.9%、「希望しているが、就学または就労できる自信がなく悩んでいる」が 13.4% となっている。



問 29 は、問 28 で「1. 強く希望している」「2. 希望しているが、就学または就労できる自信がなく悩んでいる」「3. 自宅での学習または就労であれば希望する」のいずれかを選択した人が回答。

問 29 就学または就労を目指すために、どこに相談をしたいですか？（〇はいくつでも）

「職業安定所（ハローワーク）」が 50.0%と最も多く、次いで「港区生活・就労支援センター（麻布地区総合支所 2 階）」と「就労先」がそれぞれ 21.4%となっている。



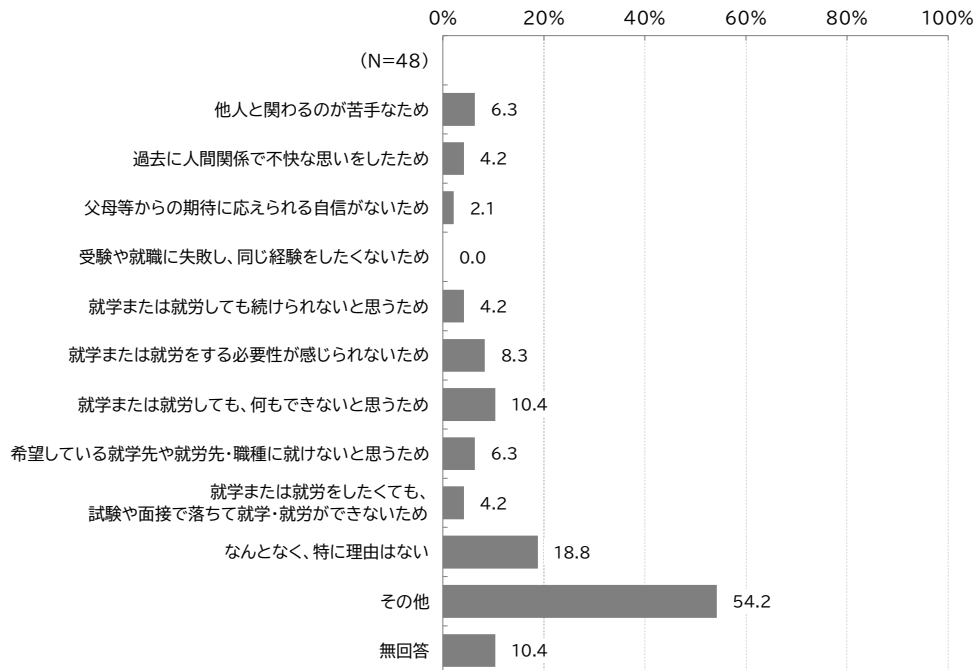
その他の人、施設、機関の内容 (1 件)

- 紹介 (1 件)

問30と問31は、問28で「4. 希望はしていないが、機会があればしてみたい」または、「5. 全く希望していない」を選択した人が回答。

問30 就学または就労したくない理由はなんですか？（○はいくつでも）

「その他」（54.2%）を除くと、「なんとなく、特に理由はない」が18.8%で最も多く、次いで「就学または就労しても、何もできないと思うため」が10.4%となっている。内容としては身体的な理由が多かった。



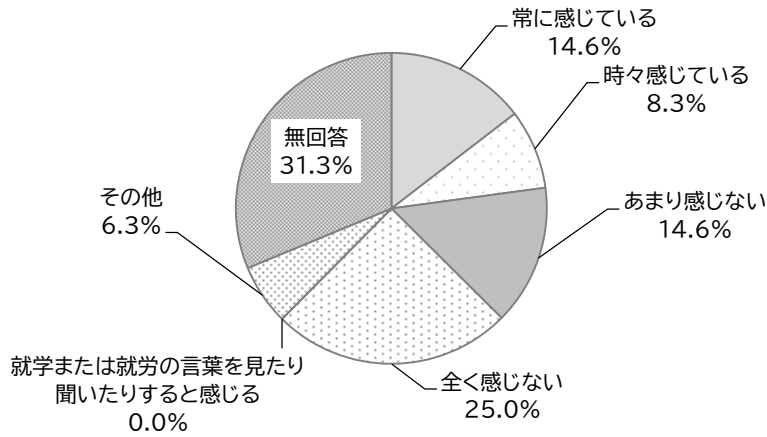
その他の主な内容（26件）

- 高齢のため（16件）
- 体調面に不安があるため（4件）
- 必要性を感じられないため（2件）

問31 あなたは、問30で選択したことを普段から感じますか？（○は1つだけ）
（複数選択している場合は、就学または就労したくない一番の理由を基にお答えください。）

「全く感じない」が25.0%と最も多く、次いで「常を感じている」と「あまり感じない」がそれぞれ14.6%となっている。

(N=48)

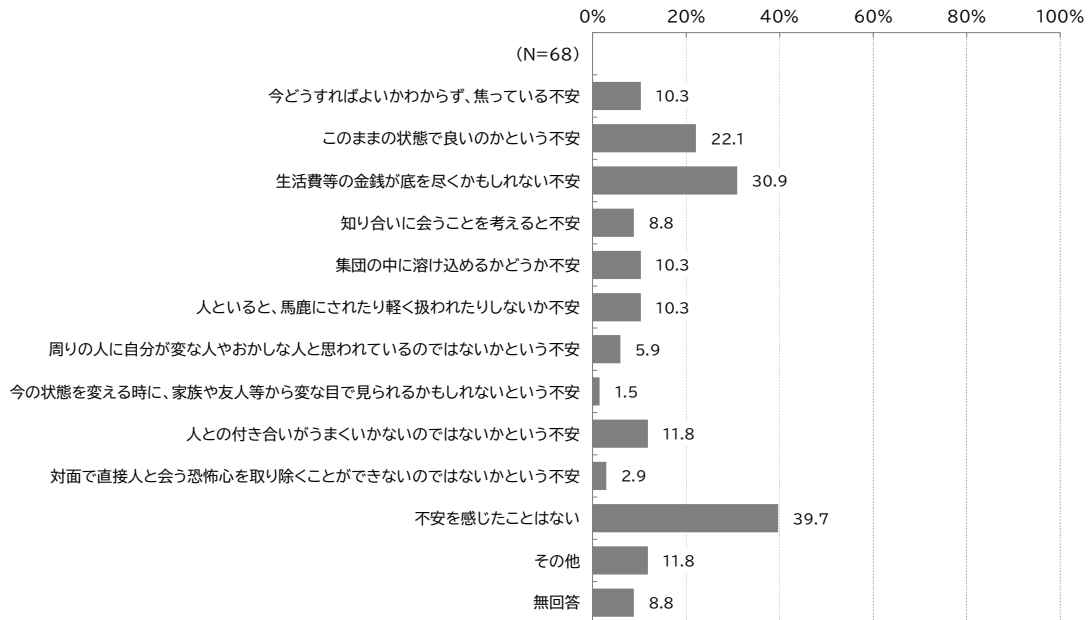


その他の内容（2件）

- 高齢のため（2件）

問 32 あなたは次のことについて不安を感じる時がありますか？（〇はいくつでも）

「不安を感じたことはない」が39.7%と最も多く、次いで「生活費等の金銭が底を尽くかもしれない不安」が30.9%、「このままの状態が良いのかという不安」が22.1%となっている。

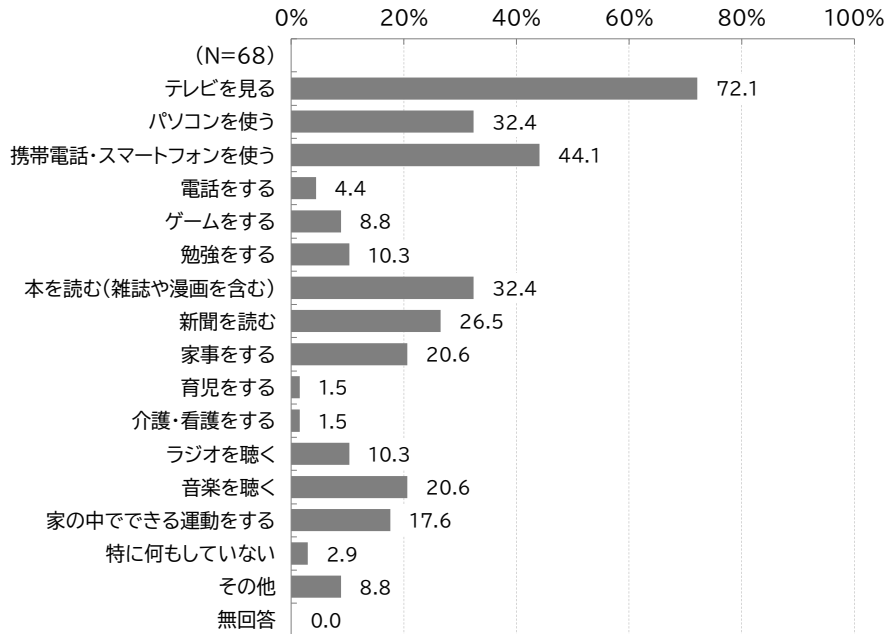


その他の主な内容（6件）

- 健康や体調面に関することについて（3件）
- 住居について（1件）
- 将来に関する不安はあるが、積極的に人とつきあいたい希望がない（1件）

問 33 あなたが自宅でよくしていることをご回答ください。(〇はいくつでも)

「テレビを見る」が72.1%と最も多く、次いで「携帯電話・スマートフォンを使う」が44.1%、「パソコンを使う」と「本を読む(雑誌や漫画を含む)」がそれぞれ32.4%となっている。

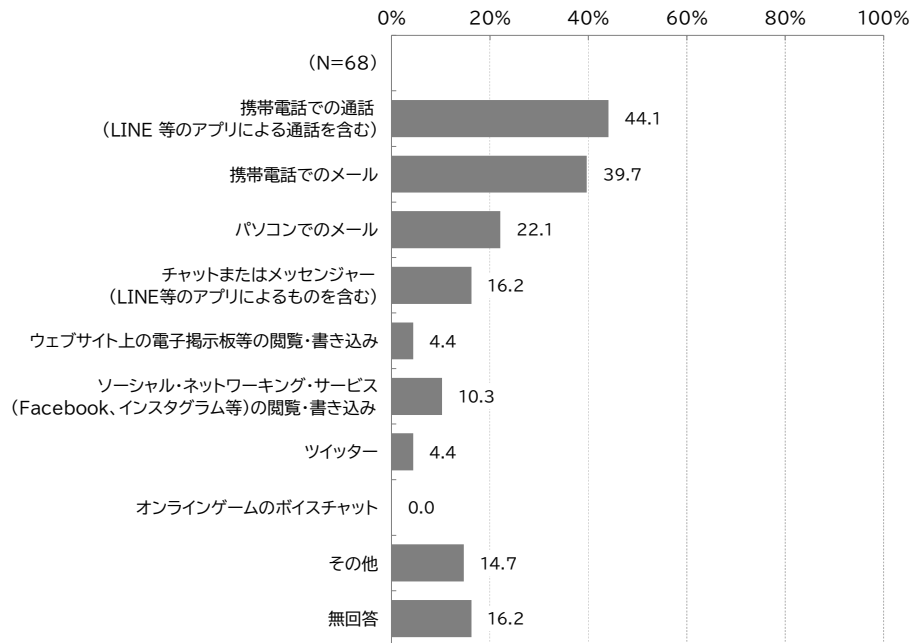


その他の主な内容 (6件)

● ラジオ体操に行く (1件)
● 楽器を演奏する (1件)
● YouTube を見る (1件)
● ペットと触れ合う (1件)
● 歌をうたう (1件)

問 34 あなたが普段利用している通信手段の中で、利用しているものを教えてください。
(〇はいくつでも)

「携帯電話での通話（LINE 等のアプリによる通話を含む）」が 44.1%と最も多く、次いで「携帯電話でのメール」が 39.7%、「パソコンでのメール」が 22.1%となっている。

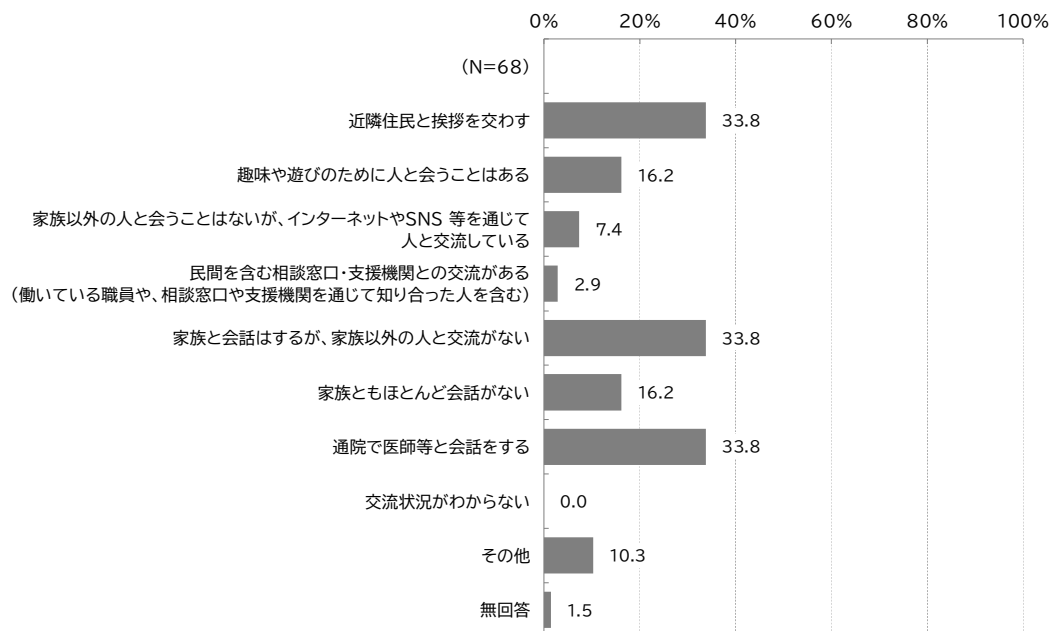


その他の内容 (10 件)

- 固定電話 (5 件)
- 特になし (4 件)
- スマートフォン (1 件)

問 35 あなたの交流状況について教えてください。(〇はいくつでも)

「近隣住民と挨拶を交わす」、「家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない」、「通院で医師等と会話をする」がそれぞれ 33.8%となっている。

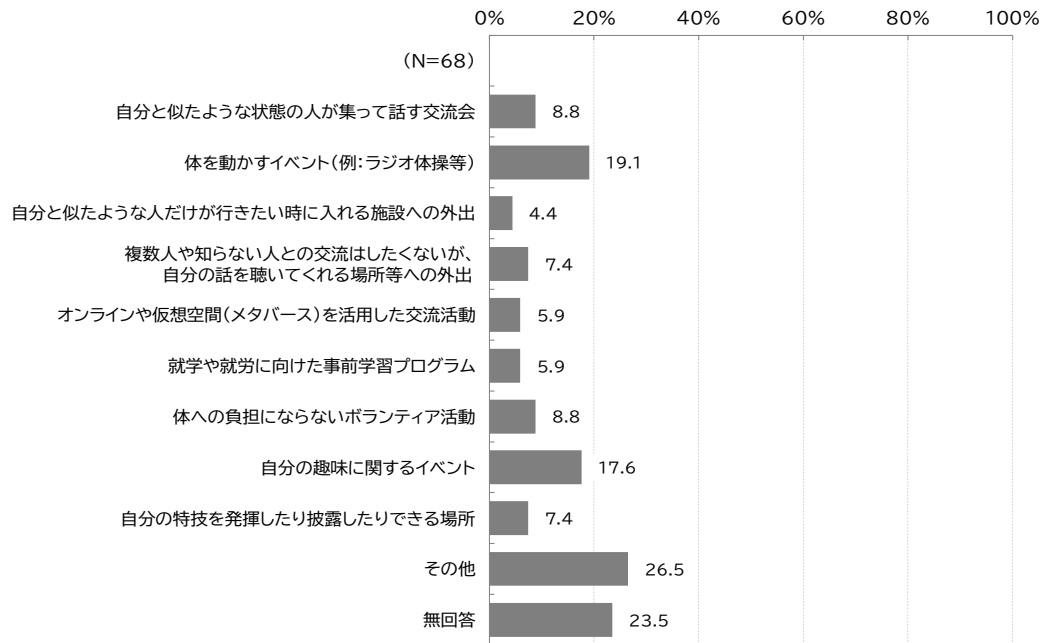


その他の主な内容 (7 件)

- 施設の職員等と会話をする (3 件)
- 別居の家族と SNS 等を通じて連絡を取る (1 件)
- 学生時代の友人と会う (1 件)

問 36 社会交流活動で、あなたが参加したいと感じる交流活動を教えてください。(〇はいくつでも)

「その他」(26.5%)を除くと、「体を動かすイベント(例:ラジオ体操等)」が19.1%と最も多く、次いで「自分の趣味に関するイベント」が17.6%となっている。

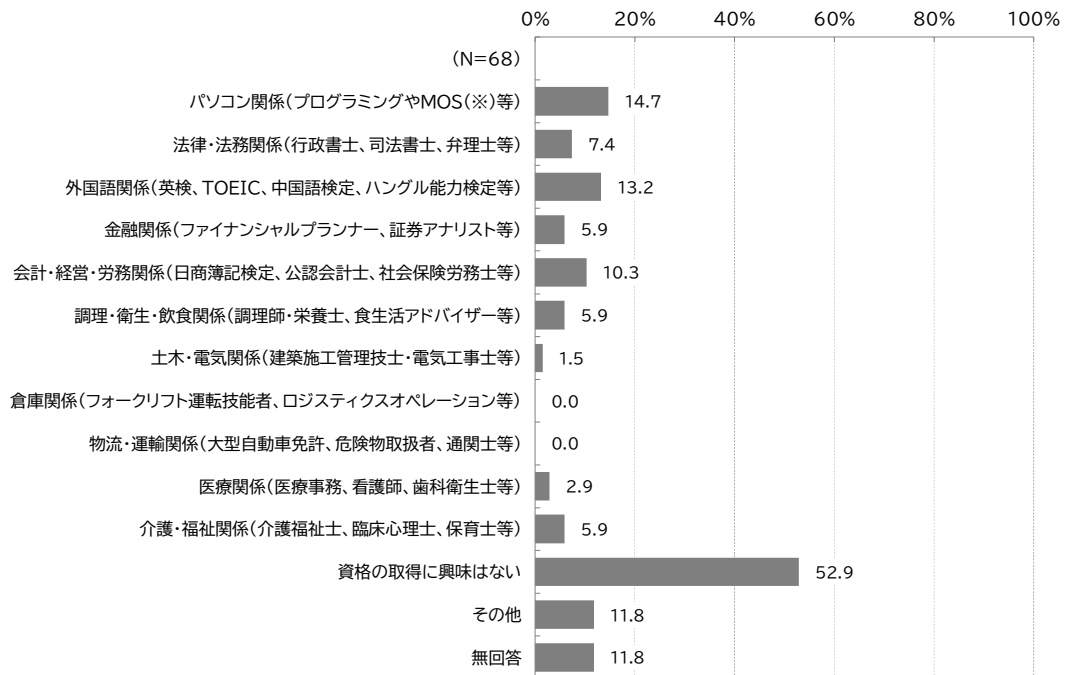


その他の主な内容 (17 件)

● 特にない (13 件)
● 港区国際交流協会員 (1 件)
● いきいきプラザ (1 件)
● 交流活動はしたくない (1 件)

問37 次の中であなたが興味のある資格を教えてください。(〇はいくつでも)

「資格の取得に興味はない」が52.9%と最も多く、次いで「パソコン関係(プログラミングやMOS(※)等)」が14.7%、「外国語関係(英検、TOEIC、中国語検定、ハングル能力検定等)」が13.2%となっている。



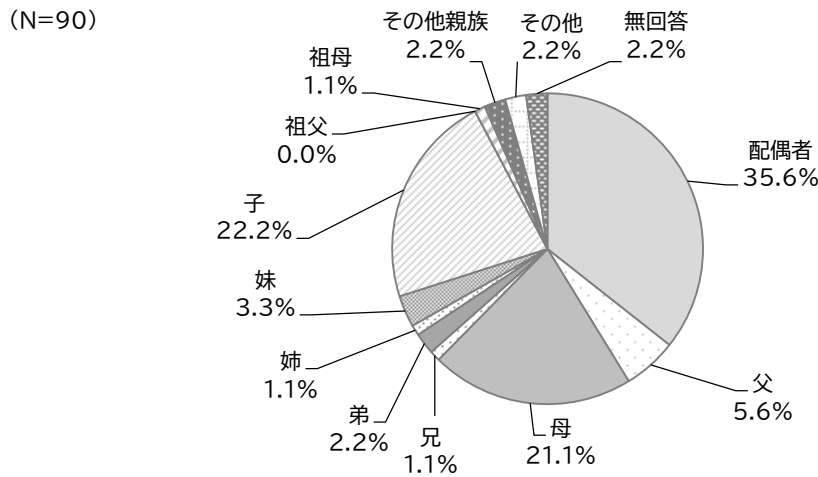
その他の主な内容 (7件)

- 特にない (4件)
- 旅行関係 (1件)
- 技術工(経営工学部門) (1件)

問 38 から問 54 は、問 16 で「2. 同居人」を選択した人が回答。

問 38 問 8 の状態にある同居人とあなたの関係性は、次のうちどれですか？

「配偶者」が 35.6%と最も多く、次いで「子」が 22.2%、「母」が 21.1%となっている。「配偶者」、「母」、「子」の合計は 78.9%である。

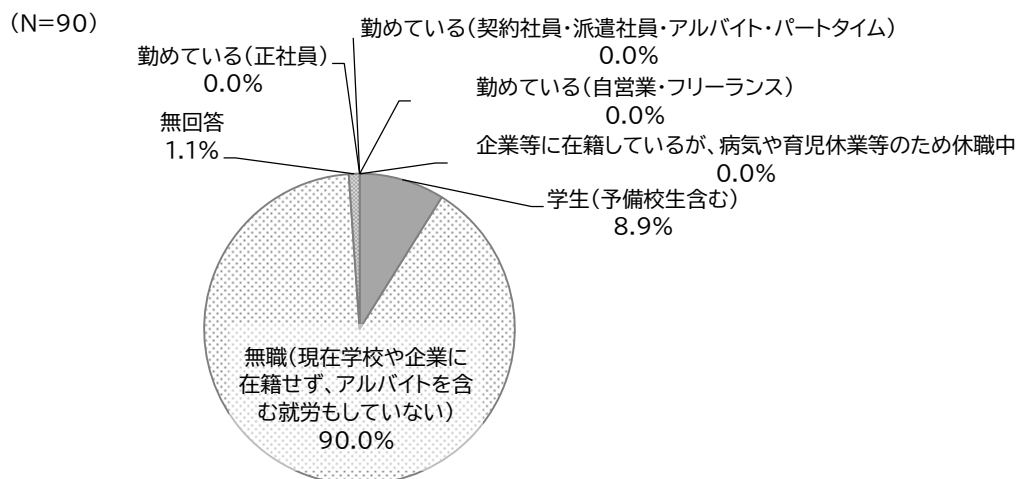


その他の内容 (2 件)

- パートナー (1 件)
- 義理の親 (1 件)

問 39 問 8 の状態にある同居人の現在の就学・就労状況を教えてください。(○は 1 つだけ)

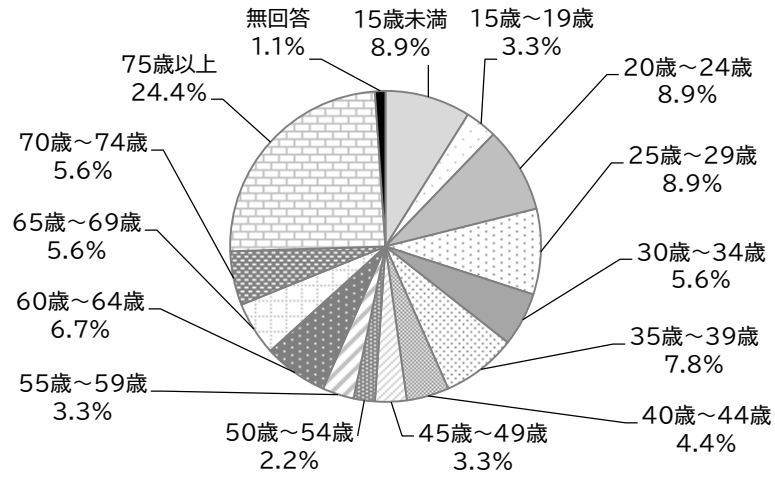
「無職 (現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない)」が 90.0%と最も多く、次いで「学生 (予備校生含む)」が 8.9%となっている。



問 40 問 8 の状態にある同居人が、問 8 の状態になったのは何歳の頃ですか (○は 1 つだけ)。

「75 歳以上」24.4%と最も多い。39 歳以下の合計が 43.4%、15 歳から 64 歳以下が 54.4%、65 歳以上が 35.6%、70 歳以上が 30.0%となっている。

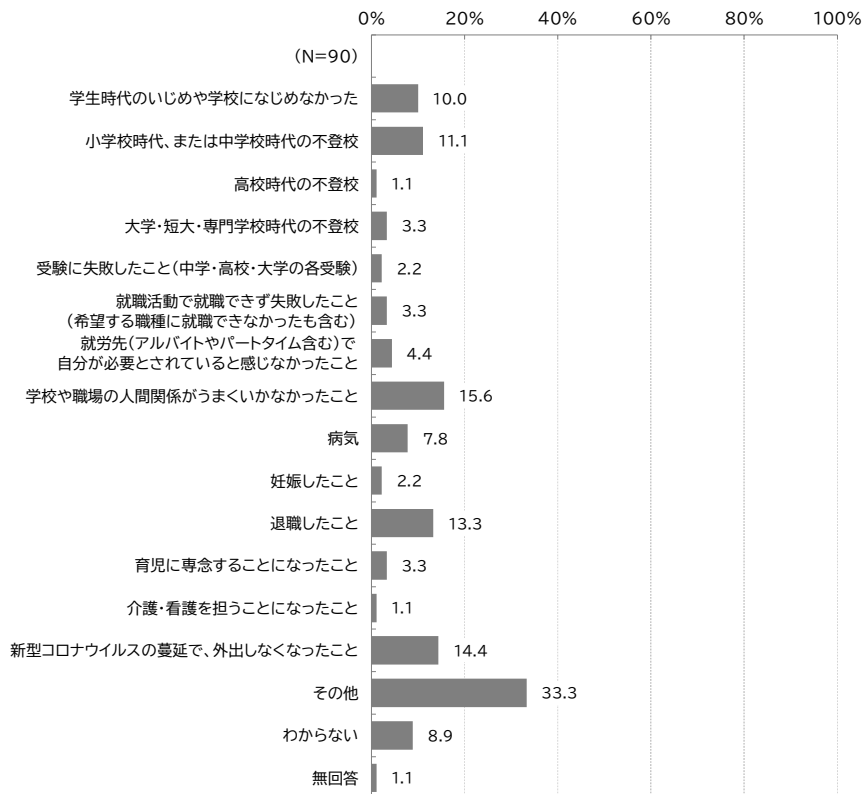
(N=90)



問 41 問 8 の状態にある同居人が、問 8 の状態になったと思われるきっかけは何ですか？
(〇はいくつでも)

「その他」(33.3%)を除くと、「学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと」が15.6%で最も多く、次いで「新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと」が14.4%となっている。

また、「退職したこと」が13.3%、「小学校時代、または中学校時代の不登校」が11.1%、「学生時代のいじめや学校になじめなかった」が10.0%であり、ひきこもりの状態になったと思われるきっかけは、人間関係が契機となっている場合が比較的多い。



病名の内容 (5 件)

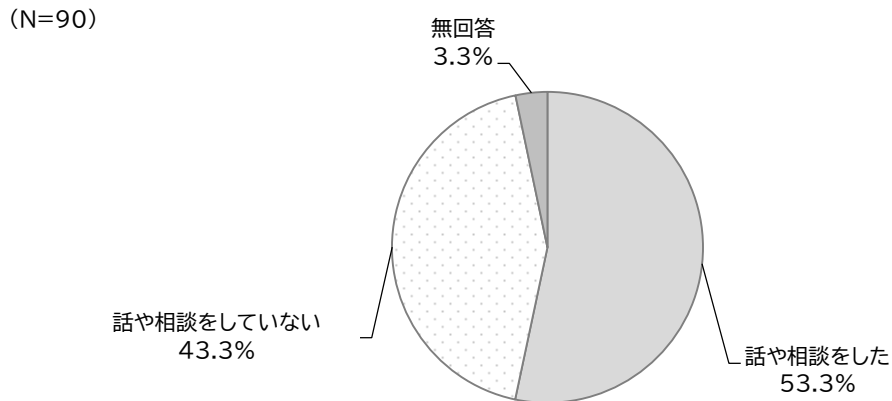
- 認知症 (2 件)
- 双極性障害 (1 件)
- 適応障害 (1 件)
- 新型コロナウイルス感染症 (1 件)

その他の主な内容 (32 件)

- 高齢のため (11 件)
- 認知症のため (3 件)
- 家族の死 (3 件)
- 転居のため (3 件)

問 42 問 8 の状態にある同居人について、誰かに話や相談をしましたか？（○は 1 つだけ）

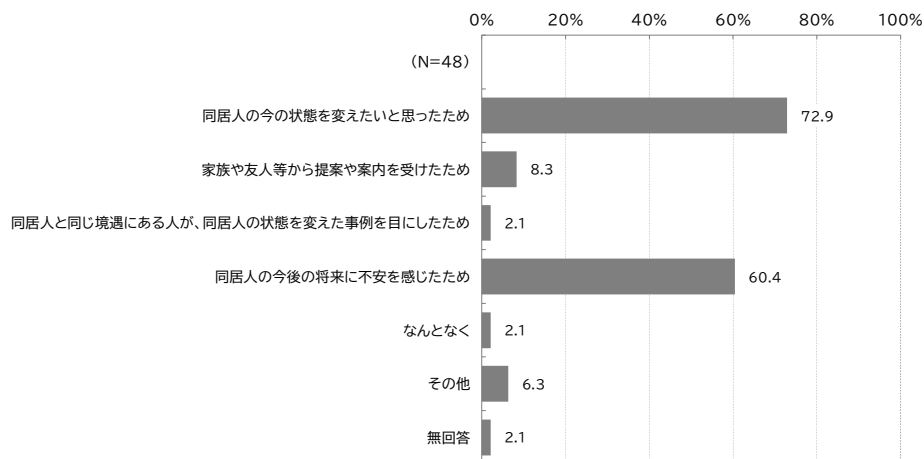
「話や相談をした」が 53.3%、「話や相談をしていない」が 43.3%となっている。



問 43 から問 45 は、問 42 で「1. 話や相談をした」を選択した人が回答。

問 43 話や相談をしたきっかけは何ですか？（○はいくつでも）

「同居人の今の状態を変えたいと思ったため」が 72.9%と最も多く、次いで「同居人の今後の将来に不安を感じたため」が 60.4%となっている。

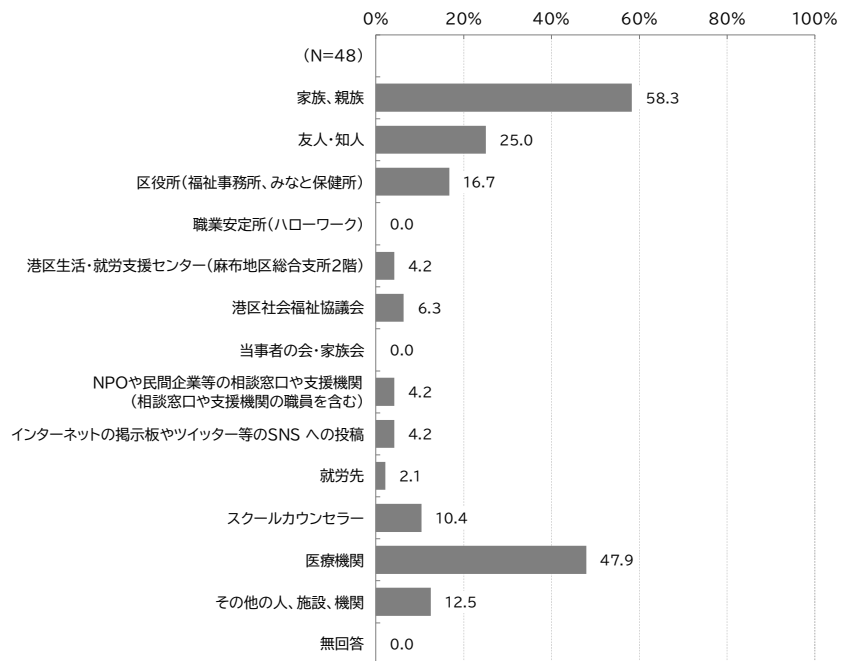


その他の内容（3件）

- 以前より児童相談所に通っている（1件）
- 医師の勧め（1件）
- 高齢になったため（1件）

問 44 どこ（または誰）に話や相談をしましたか？（〇はいくつでも）

「家族、親族」が58.3%と最も多く、次いで「医療機関」が47.9%、「友人・知人」が25.0%となっている。

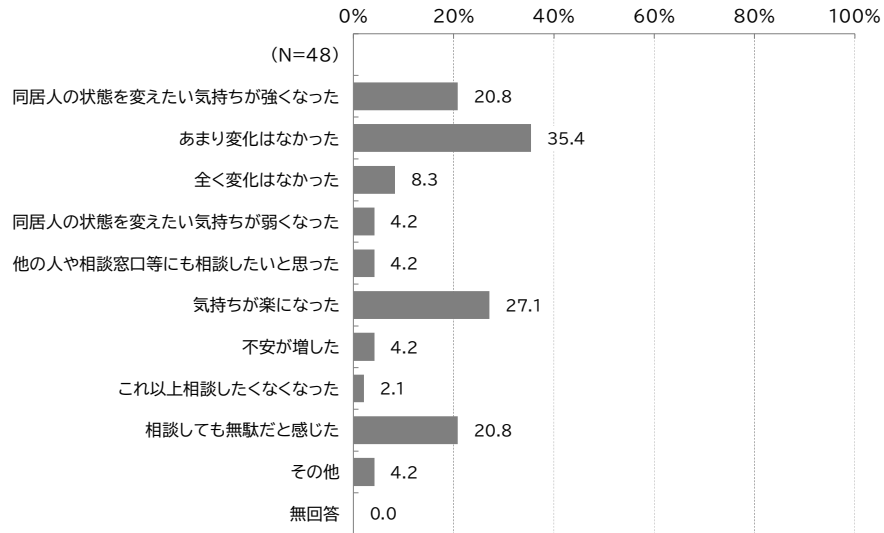


その他の内容 (7件)

● 港区児童相談所 (2件)
● 特別養護老人ホーム (1件)
● 家庭支援センター (1件)
● 教育センター (1件)
● 港区立精神障害支援センター (1件)
● 社会福祉士 (1件)

問 45 話や相談をした結果、どのような心境変化がありましたか？（〇はいくつでも）

「あまり変化はなかった」が35.4%と最も多く、次いで「気持ちが楽になった」が27.1%、「同居人の状態を変えたい気持ちが強くなった」と「相談しても無駄だと感じた」がそれぞれ20.8%となっている。



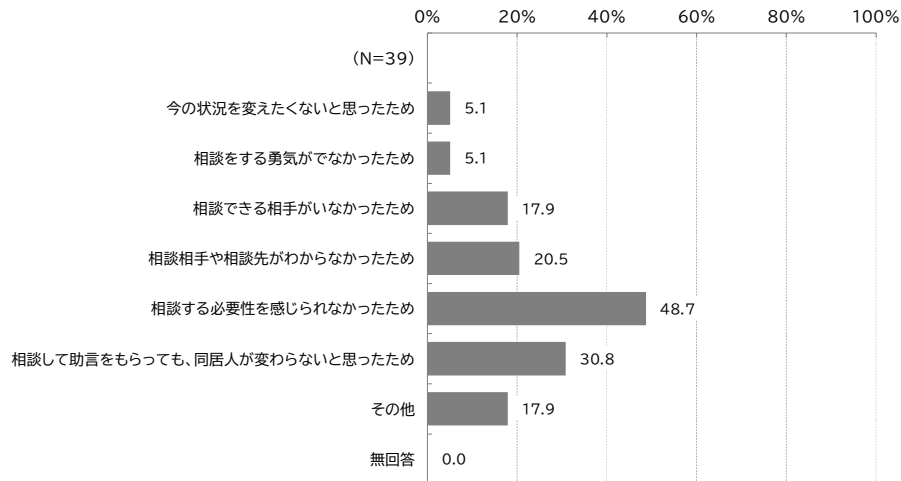
その他の内容（2件）

- 本人の行動にはつながらなかった（2件）

問 46 は、問 42 で「2. 話や相談をしていない」を選択した人が回答。

問 46 相談をしていない（またはしなかった）理由はなんですか？（〇はいくつでも）

「相談する必要性を感じられなかったため」が 48.7% と最も多く、次いで「相談して助言をもらっても、同居人が変わらないと思ったため」が 30.8%、「相談相手や相談先がわからなかったため」が 20.5% となっている。

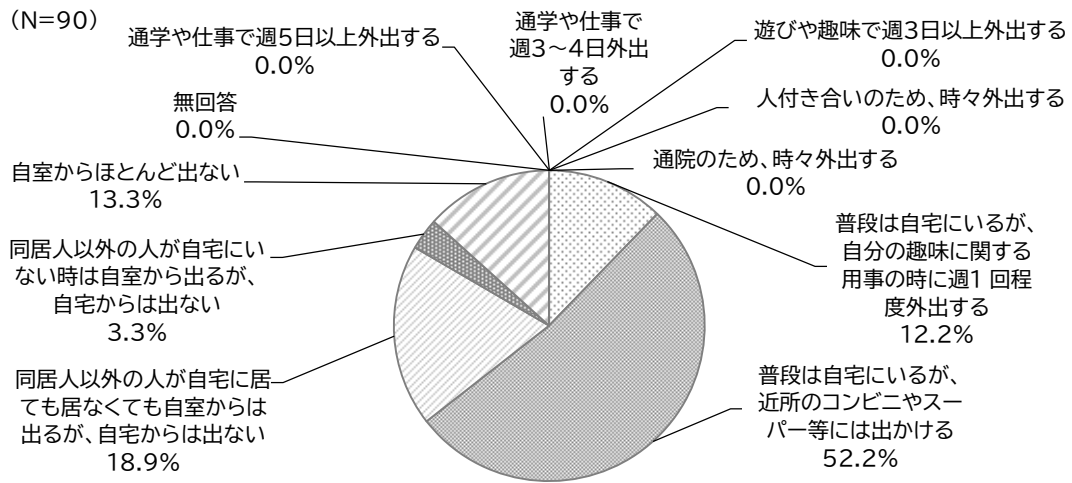


その他の内容（6件）

● 親族の反対があるため（1件）
● 介護や介助をする親族がいるため（1件）
● 本人が同行できないため（1件）
● 本人に危機感がないため（1件）
● すでに先の予定が決まっているため（1件）
● 困っていないため（1件）

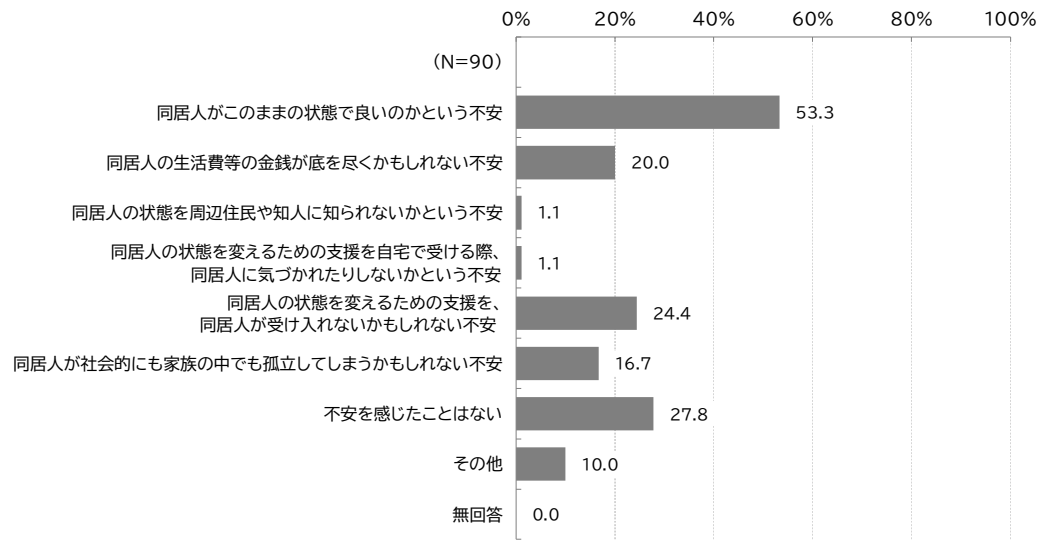
問 47 問 8 の状態にある同居人の外出頻度はどのくらいですか？（○は1つだけ）

「普段は自宅にいますが、近所のコンビニやスーパー等には出かける」が 52.2% と最も多く、次いで「同居人以外の方が自宅に居ても居なくても自室からは出るが、自宅からは出ない」が 18.9%、「自室からほとんど出ない」が 13.3% となっている。



問 48 問 8 の状態にある同居人に対する、今後の不安はありますか？（○はいくつでも）

「同居人がこのままの状態が良いのかという不安」が 53.3% と最も多く、次いで「不安を感じたことはない」が 27.8%、「同居人の状態を変えるための支援を、同居人が受け入れないかもしれない不安」が 24.4% となっている。

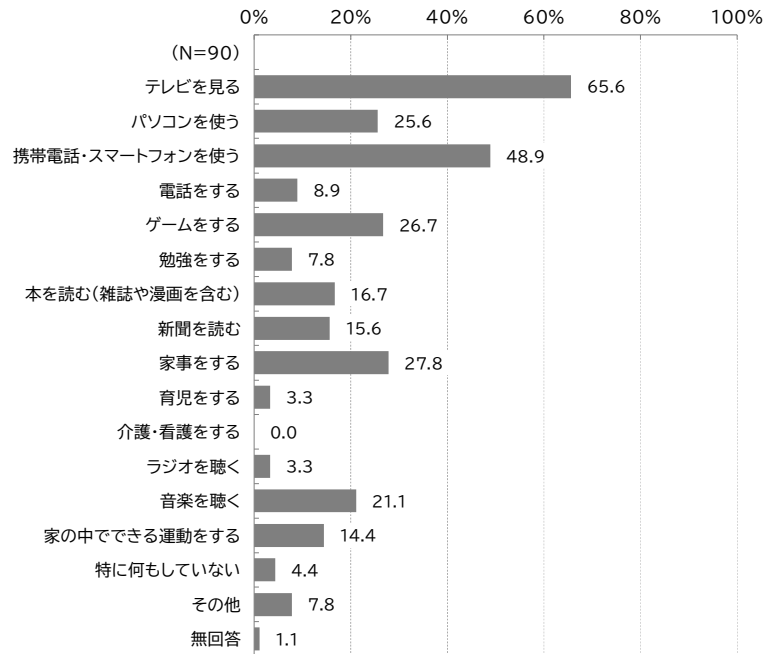


その他の内容（8件）

- 自分がいけない時間や、自分の死後の生活についての不安（3件）
- 今のところ不安はない（2件）
- 貯金や金銭面についての不安（1件）
- 回答者の死後についての不安（1件）
- 認知症になるのではないかという不安（1件）

問 49 問 8 の状態にある同居人が、自宅をよくしていることを教えてください。(〇はいくつでも)

「テレビを見る」が 65.6%と最も多く、次いで「携帯電話・スマートフォンを使う」が 48.9%、「家事をする」が 27.8%となっている。

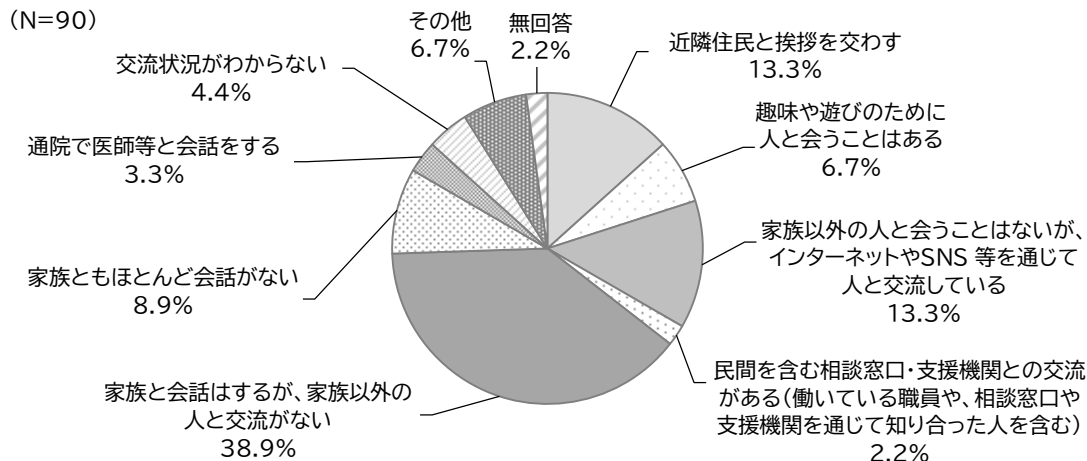


その他の内容 (7 件)

- 家事や仕事の手伝い (5 件)
- 趣味の活動 (1 件)
- 飲酒 (1 件)

問 50 問8の状態にある同居人の交流状況について教えてください。(〇は1つだけ)

「家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない」が38.9%と最も多く、次いで「近隣住民と挨拶を交わす」と「家族以外の人と会うことはないが、インターネットやSNS等を通じて人と交流している」がそれぞれ13.3%となっている。

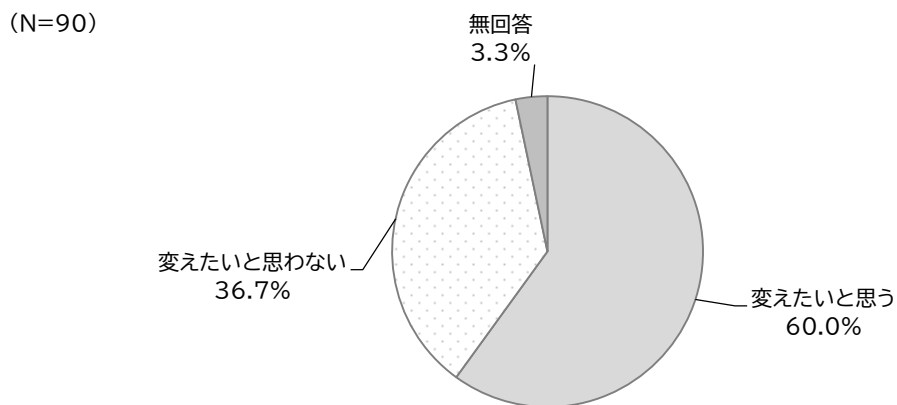


その他の内容 (4件)

- 施設の職員等と交流がある (1件)
- 別居の親族との交流がある (1件)
- 友人との交流がある (1件)
- 他者との交流が難しい状態である (1件)

問 51 問8の状態にある同居人の状態を変えたいと思いますか？(〇は1つだけ)

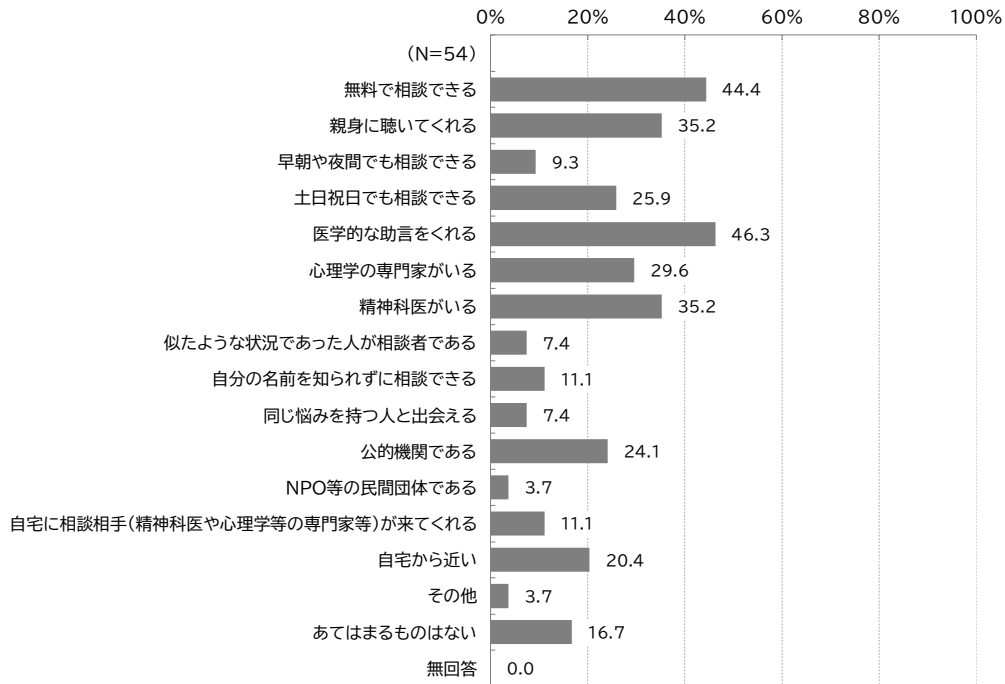
「変えたいと思う」が60.0%、次いで「変えたいと思わない」が36.7%となっている。



問 52 と問 53 は、問 51 で「1. 変えたいと思う」を選択した人が回答。

問 52 問 8 の状態にある同居人を変えるにあたり、相談相手や相談機関への要望内容を教えてください。(〇はいくつでも)

「医学的な助言をくれる」が 46.3% と最も多く、次いで「無料で相談できる」が 44.4%、「親身に聞いてくれる」と「精神科医がいる」がそれぞれ 35.2% となっている。

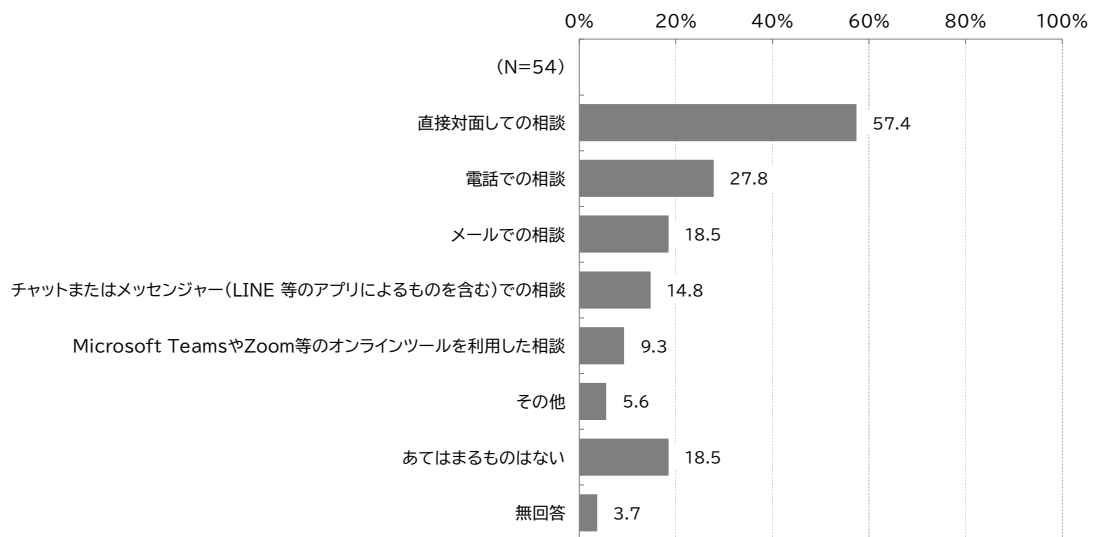


その他の内容 (2件)

- 体を動かせる機会がほしい (1件)
- 本人の希望がわからない (1件)

問 53 問 8 の状態にある同居人を変えるにあたり、相談相手や相談機関へ希望する相談方法を教えてください。(〇はいくつでも)

「直接対面しての相談」が 57.4% と最も多く、次いで「電話での相談」が 27.8%、「メールでの相談」と「あてはまるものはない」がそれぞれ 18.5% となっている。



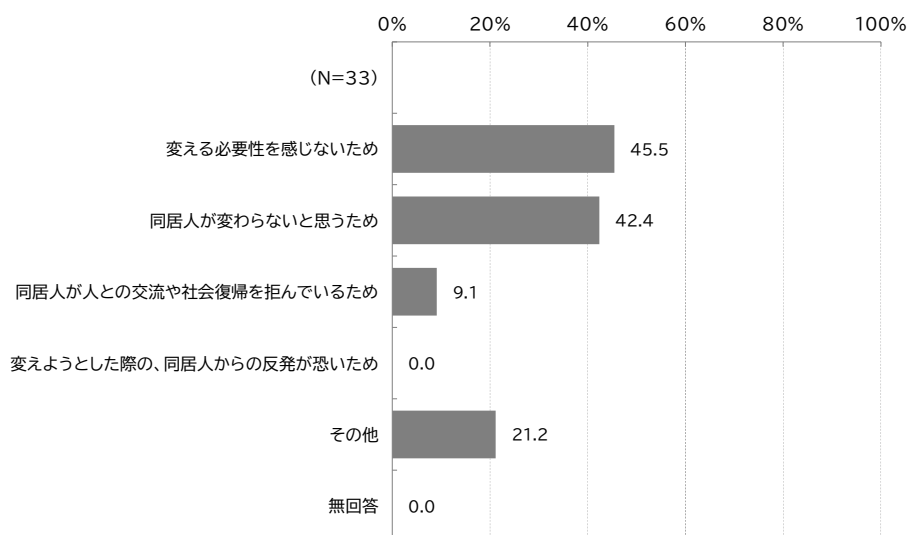
その他の内容 (3 件)

- わからない (1 件)
- すでに治療中 (1 件)
- 本人が相談機関へ行きたがらない (1 件)

問 54 は、問 51 で「2. 変えたいと思わない」を選択した人が回答。

問 54 変えたいと思わない理由をご回答ください。(〇はいくつでも)

「変える必要性を感じないため」が 45.5% と最も多く、次いで「同居人が変わらないと思うため」が 42.4% となっている。



その他の内容 (7 件)

- | |
|---------------------------|
| ● 本人の意思でしか変えられないため(2 件) |
| ● 現状に問題を感じないため(1 件) |
| ● 体調面を優先したいため (1 件) |
| ● 高齢のため (1 件) |
| ● 無理な変化は望まないため (1 件) |
| ● 今後、状況が変わる可能性があるから (1 件) |

問 55 区では、社会参加に関する支援のあり方などを検討しています。

こうした支援のあり方についてのご意見や、現在、実際にお困りのことなどがあれば、自由にお書きください。

支援のあり方について (996 件)

- 支援のあり方についての意見 (507 件)
- 情報発信・周知方法について (385 件)
- 支援活動・ボランティアに参加、協力したい (104 件)

社会参加へのきっかけづくりについて (362 件)

- お祭り・行事・セミナー・イベントの開催 (158 件)
- 交流の場の提供 (109 件)
- 地域コミュニティへの参加促進・活性化 (95 件)

対象別支援について (672 件)

- 子ども・家庭に関する支援 (183 件)
- 高齢者に関する支援 (410 件)
- 障害者・障害児支援 (含む発達障害) (79 件)

内容別支援について (185 件)

- 就労支援 (高齢者以外) (67 件)
- 経済的支援 (63 件)
- 住居支援 (55 件)

ひきこもりについて (239 件)

- ひきこもり対策 (高齢者以外) (189 件)
- 不登校支援 (38 件)
- 8050 問題 (12 件)

環境・まちづくりについて (61 件)

- まちづくり・緑化推進・気候変動 (29 件)
- 騒音苦情 (19 件)
- ゴミ問題 (13 件)

調査票について (169 件)

- 調査票全般について (106 件)
- 「社会参加」の定義が分からない (39 件)
- 「支援内容」が不明 (24 件)

6-1. クロス集計の結果（回答対象者：回答者本人がひきこもりの状態の場合）

表側	問 10（ひきこもりの該当者の性別）
表頭	問 9（ひきこもりの該当者の年齢）
対象	問 16 で「1. 回答者本人」を選択した人

ひきこもりの状態になった人の分布は、男女とも 65 歳以上に集中しており、性別による大きな差はみられない。

（上段：度数 下段：％）

	合 計	15歳未満	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳
全 体	67 100.0	-	-	-	2 3.0	2 3.0	-	-
男 性	27 100.0	-	-	-	1 3.7	1 3.7	-	-
女 性	40 100.0	-	-	-	1 2.5	1 2.5	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	無回答
全 体	2 3.0	7 10.4	4 6.0	4 6.0	7 10.4	11 16.4	28 41.8	-
男 性	-	1 3.7	1 3.7	2 7.4	4 14.8	6 22.2	11 40.7	-
女 性	2 5.0	6 15.0	3 7.5	2 5.0	3 7.5	5 12.5	17 42.5	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-

表側	問 11 (ひきこもりの状態の期間)
表頭	問 9 (ひきこもりの該当者の年齢)
対象	問 16 で「1. 回答者本人」を選択した人

ひきこもりの状態の期間が長いほど、年齢が高くなる傾向にある。

(上段:度数 下段:%)

	合 計	15歳未満	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳
全 体	67 100.0	-	-	-	2 3.0	2 3.0	-	-
6か月～1年未満	6 100.0	-	-	-	-	1 16.7	-	-
1年～2年未満	10 100.0	-	-	-	-	-	-	-
2年～3年未満	8 100.0	-	-	-	-	-	-	-
3年～5年未満	19 100.0	-	-	-	2 10.5	-	-	-
5年～7年未満	8 100.0	-	-	-	-	-	-	-
7年～10年未満	6 100.0	-	-	-	-	1 16.7	-	-
10年～15年未満	4 100.0	-	-	-	-	-	-	-
15年～20年未満	4 100.0	-	-	-	-	-	-	-
20年～25年未満	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
25年～30年未満	-	-	-	-	-	-	-	-
30年以上	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	無回答
全体	2 3.0	7 10.4	5 7.5	4 6.0	6 9.0	11 16.4	28 41.8	-
6か月～1年未満	-	-	1 16.7	2 33.3	-	-	2 33.3	-
1年～2年未満	1 10.0	-	-	1 10.0	1 10.0	3 30.0	4 40.0	-
2年～3年未満	-	3 37.5	-	-	1 12.5	3 37.5	1 12.5	-
3年～5年未満	-	2 10.5	3 15.8	-	2 10.5	4 21.1	6 31.6	-
5年～7年未満	-	-	-	-	1 12.5	-	7 87.5	-
7年～10年未満	-	1 16.7	-	1 16.7	-	-	3 50.0	-
10年～15年未満	1 25.0	-	-	-	1 25.0	-	2 50.0	-
15年～20年未満	-	1 25.0	1 25.0	-	-	-	2 50.0	-
20年～25年未満	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-
25年～30年未満	-	-	-	-	-	-	-	-
30年以上	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-

表側	問9 (ひきこもりの該当者の年齢)
表頭	問18 (ひきこもりになったきっかけ)
対象	問16で「1. 回答者本人」を選択した人

65歳以上の多くが、新型コロナウイルスの蔓延で外出の機会を失ったことが契機となり、そのままひきこもりの状態になっている。

20代や30代の若年層は、学生時代のいじめ、不登校、職場の人間関係などがきっかけとなったとする回答がある。

(上段:度数 下段:%)

	合計	学生時代のいじめや学校になじめなかった	小学校時代、または中学校時代の不登校	高校時代の不登校	大学・短大・専門学校時代の不登校	受験に失敗したこと (中学・高校・大学の各受験)	就職活動で就職できず失敗したこと (希望する職種に就職できなかったも含む)	就労先(アルバイトやパートタイム含む)で自分が必要とされていると感じなかったこと	学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと	病気
全体	68 100.0	3 4.4	-	-	-	-	2 2.9	4 5.9	5 7.4	8 11.8
15歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15歳～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	1 50.0	1 50.0	-	1 50.0
30歳～34歳	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-
35歳～39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳～44歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45歳～49歳	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0
50歳～54歳	7 100.0	-	-	-	-	-	1 14.3	1 14.3	2 28.6	1 14.3
55歳～59歳	5 100.0	1 20.0	-	-	-	-	-	1 20.0	1 20.0	1 20.0
60歳～64歳	4 100.0	-	-	-	-	-	-	1 25.0	1 25.0	-
65歳～69歳	7 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
70歳～74歳	11 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2 18.2
75歳以上	28 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2 7.1
	妊娠したこと	退職したこと	育児に専念することになったこと	介護・看護を担うことになったこと	新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと	その他	なんとなく	わからない・思い出せない	回答したくない・思い出したくない	無回答
全体	1 1.5	14 20.6	1 1.5	4 5.9	12 17.6	20 29.4	8 11.8	6 8.8	1 1.5	-
15歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15歳～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	1 50.0	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-
30歳～34歳	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-
35歳～39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳～44歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45歳～49歳	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-
50歳～54歳	-	2 28.6	-	2 28.6	2 28.6	1 14.3	-	-	-	-
55歳～59歳	-	-	-	-	-	2 40.0	-	1 20.0	-	-
60歳～64歳	-	3 75.0	-	1 25.0	-	-	1 25.0	-	-	-
65歳～69歳	-	4 57.1	-	-	1 14.3	1 14.3	1 14.3	-	-	-
70歳～74歳	-	1 9.1	-	-	4 36.4	3 27.3	2 18.2	1 9.1	-	-
75歳以上	-	3 10.7	-	1 3.6	5 17.9	12 42.9	4 14.3	3 10.7	1 3.6	-

表側	問 10 (ひきこもりの該当者の性別)
表頭	問 18 (ひきこもりになったきっかけ)
対象	問 16 で「1. 回答者本人」を選択した人

男性は、退職したことをきっかけとして、ひきこもりになる傾向にある。女性は、病気や介護・看護、就労、人間関係、など多岐にわたっており、「その他」の回答も女性が多く、「家族の死」の回答は1件を除いて女性の回答である。

また、男女とも新型コロナウイルスの蔓延により外出の機会を失ったことが契機となっているケースも多い。

(上段:度数 下段:%)

	合計	学生時代のいじめや学校になじめなかった	小学校時代、または中学校時代の不登校	高校時代の不登校	大学・短大・専門学校時代の不登校	受験に失敗したこと (中学・高校・大学の各受験)	就職活動で就職できず失敗したこと (希望する職種に就職できなかったも含む)	就労先(アルバイトやパートタイム含む)で自分が必要とされていると感じなかったこと	学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと	病 気
全 体	67 100.0	2 3.0	-	-	-	-	2 3.0	3 4.5	5 7.5	8 11.9
男 性	27 100.0	1 3.7	-	-	-	-	-	-	2 7.4	3 11.1
女 性	40 100.0	1 2.5	-	-	-	-	2 5.0	3 7.5	3 7.5	5 12.5
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	妊娠したこと	退職したこと	育児に専念することになったこと	介護・看護を担うことになったこと	新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと	その他	なんとなく	わからない・思い出せない	回答したくない・思い出したくない	無回答
全 体	1 1.5	14 20.9	1 1.5	4 6.0	12 17.9	20 29.9	8 11.9	6 9.0	1 1.5	-
男 性	-	9 33.3	-	-	5 18.5	4 14.8	5 18.5	2 7.4	1 3.7	-
女 性	1 2.5	5 12.5	1 2.5	4 10.0	7 17.5	16 40.0	3 7.5	4 10.0	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

その他の主な内容 (21 件)

● 家族の死 (6 件)
● 高齢のため (6 件)
● 転居したため (2 件)

表側	問 11 (ひきこもりの状態の期間)
表頭	問 18 (ひきこもりになったきっかけ)
対象	問 16 で「1. 回答者本人」を選択した人

ひきこもりの状態になった期間が6か月～1年未満の人は、退職したことや、学校や職場の人間関係がうまくいかなかったことがきっかけとなる場合が多い。

1年以上の人も退職をきっかけとしていることが多いほか、新型コロナウイルスの蔓延によって外出の機会を失ったことが契機となった人も多い。

(上段:度数 下段:%)

	合計	学生時代のいじめや学校になじめなかった	小学校時代、または中学校時代の不登校	高校時代の不登校	大学・短大・専門学校時代の不登校	受験に失敗したこと (中学・高校・大学の各受験)	就職活動で就職できず失敗したこと (希望する職種に就職できなかったも含む)	就労先(アルバイトやパートタイム含む)で自分が必要とされていると感じなかったこと	学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと	病 気
全 体	67 100.0	3 4.5	-	-	-	-	2 3.0	4 6.0	5 7.5	8 11.9
6か月～1年未満	6 100.0	-	-	-	-	-	-	1 16.7	1 16.7	-
1年～2年未満	10 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 10.0
2年～3年未満	8 100.0	-	-	-	-	-	1 12.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5
3年～5年未満	19 100.0	2 10.5	-	-	-	-	1 5.3	2 10.5	-	2 10.5
5年～7年未満	8 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 12.5
7年～10年未満	6 100.0	1 16.7	-	-	-	-	-	-	2 33.3	-
10年～15年未満	4 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 25.0
15年～20年未満	4 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 25.0	2 50.0
20年～25年未満	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25年～30年未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30年以上	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	妊娠したこと	退職したこと	育児に専念することになったこと	介護・看護を担うことになったこと	新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと	その他	なんとなく	わからない・思い出せない	回答したくない・思い出したくない	無回答
全 体	1 1.5	14 20.9	1 1.5	4 6.0	11 16.4	20 29.9	8 11.9	6 9.0	1 1.5	-
6か月～1年未満	-	2 33.3	1 16.7	1 16.7	1 16.7	-	1 16.7	1 16.7	-	-
1年～2年未満	-	2 20.0	-	-	2 20.0	3 30.0	3 30.0	-	-	-
2年～3年未満	-	3 37.5	-	1 12.5	4 50.0	2 25.0	1 12.5	-	-	-
3年～5年未満	1 5.3	2 10.5	-	1 5.3	3 15.8	9 47.4	1 5.3	1 5.3	-	-
5年～7年未満	-	-	-	-	1 12.5	4 50.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	-
7年～10年未満	-	4 66.7	-	-	-	1 16.7	-	-	-	-
10年～15年未満	-	1 25.0	-	-	-	1 25.0	-	1 25.0	-	-
15年～20年未満	-	-	-	1 25.0	-	-	-	1 25.0	-	-
20年～25年未満	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-
25年～30年未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30年以上	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-

表側	問9（ひきこもりの該当者の年齢）
表頭	問24（現在の状態について話や相談の希望）
対象	問16で「1. 回答者本人」を選択した人

年代にかかわらず、相談することに対して否定的な傾向にある。

（上段:度数 下段:%）

	合計	とても 相談したい	ある程度 相談したい	あまり 相談したくない	全く相談しようと 思わない	無回答
全体	68 100.0	1 1.5	17 25.0	13 19.1	32 47.1	5 7.4
15歳未満	-	-	-	-	-	-
15歳～19歳	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	2 100.0	-	1 50.0	-	-	1 50.0
30歳～34歳	2 100.0	-	-	1 50.0	1 50.0	-
35歳～39歳	-	-	-	-	-	-
40歳～44歳	-	-	-	-	-	-
45歳～49歳	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-
50歳～54歳	7 100.0	1 14.3	5 71.4	-	1 14.3	-
55歳～59歳	5 100.0	-	3 60.0	1 20.0	1 20.0	-
60歳～64歳	4 100.0	-	3 75.0	-	1 25.0	-
65歳～69歳	7 100.0	-	-	2 28.6	5 71.4	-
70歳～74歳	11 100.0	-	1 9.1	3 27.3	6 54.5	1 9.1
75歳以上	28 100.0	-	3 10.7	5 17.9	17 60.7	3 10.7

表側	問 10 (ひきこもりの該当者の性別)
表頭	問 24 (現在の状態について話や相談の希望)
対象	問 16 で「1. 回答者本人」を選択した人

性別にかかわらず、相談することに対して否定的な傾向にある。

(上段:度数 下段:%)

	合 計	とても 相談したい	ある程度 相談したい	あまり 相談したくない	全く相談しようと 思わない	無回答
全 体	67 100.0	1 1.5	16 23.9	13 19.4	32 47.8	5 7.5
男 性	27 100.0	- -	4 14.8	6 22.2	16 59.3	1 3.7
女 性	40 100.0	1 2.5	12 30.0	7 17.5	16 40.0	4 10.0
その他	- -	- -	- -	- -	- -	- -

表側	問 11 (ひきこもりの状態の期間)
表頭	問 24 (現在の状態について話や相談の希望)
対象	問 16 で「1. 回答者本人」を選択した人

ひきこもりの状態になった期間にかかわらず、相談することに対して否定的な傾向にある。

(上段:度数 下段:%)

	合 計	とても 相談したい	ある程度 相談したい	あまり 相談したくない	全く相談しようと 思わない	無回答
全 体	67 100.0	1 1.5	17 25.4	12 17.9	32 47.8	5 7.5
6か月～1年未満	6 100.0	- -	2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7
1年～2年未満	10 100.0	- -	2 20.0	1 10.0	5 50.0	2 20.0
2年～3年未満	8 100.0	1 12.5	4 50.0	1 12.5	2 25.0	- -
3年～5年未満	19 100.0	- -	5 26.3	3 15.8	10 52.6	1 5.3
5年～7年未満	8 100.0	- -	- -	2 25.0	6 75.0	- -
7年～10年未満	6 100.0	- -	2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7
10年～15年未満	4 100.0	- -	1 25.0	2 50.0	1 25.0	- -
15年～20年未満	4 100.0	- -	- -	1 25.0	3 75.0	- -
20年～25年未満	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -
25年～30年未満	- -	- -	- -	- -	- -	- -
30年以上	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -

表側	問 11 (ひきこもりの状態の期間)
表頭	問 28 (就学または就労の希望)
対象	・問 16 で「1. 回答者本人」を選択した人 ・問 6 で「6 無職(現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない)」を選択した人

ひきこもりの状態の期間の長さを問わず、概ね就学や就業を希望しない傾向にあるが、ひきこもりの状態の期間が5年未満までは就学や就業への希望が残っているようである。その一方、ひきこもりの状態の期間が10年を超えると、全く希望しなくなる傾向にある。ひきこもりの状態の期間が10年未満と回答した割合は、約79%である。

(上段:度数 下段:%)

	合 計	強く希望している	希望しているが、就学または就労できる自信がなく悩んでいる	自宅での学習または就労であれば希望する	希望はしていないが、機会があればしてみたい	全く希望していない	無回答
全 体	66 100.0	2 3.0	9 13.6	3 4.5	12 18.2	35 53.0	5 7.6
6か月～1年未満	6 100.0	1 16.7	2 33.3	-	1 16.7	2 33.3	-
1年～2年未満	10 100.0	-	-	1 10.0	3 30.0	5 50.0	1 10.0
2年～3年未満	8 100.0	1 12.5	1 12.5	-	4 50.0	2 25.0	-
3年～5年未満	18 100.0	-	5 27.8	2 11.1	-	10 55.6	1 5.6
5年～7年未満	8 100.0	-	-	-	-	6 75.0	2 25.0
7年～10年未満	6 100.0	-	1 16.7	-	1 16.7	4 66.7	-
10年～15年未満	4 100.0	-	-	-	1 25.0	3 75.0	-
15年～20年未満	4 100.0	-	-	-	1 25.0	2 50.0	1 25.0
20年～25年未満	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-
25年～30年未満	-	-	-	-	-	-	-
30年以上	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-

表側	問 10 (ひきこもりの該当者の性別)
表頭	問 30 (就学または就労したくない理由)
対象	・問 16 で「1. 回答者本人」を選択した人 ・問 28 で「4. 希望はしていないが、機会があればしてみたい」または、「5. 全く希望していない」を選択した人

男性は、なんとなく必要性を感じていないという回答が多い。

女性は、就学や就労に対して何もできない、希望の仕事に就けないと思う、といった回答や、他人と関わることが苦手といった理由が比較的多くなっており、就学・就労に意欲はあるが、自信が無く一歩踏み出せない傾向にある。

(上段:度数 下段:%)

	合計	他人と関わるのが苦手なため	過去に人間関係で不快な思いをしたため	父母等からの期待に応えられない自信がないため	受験や就職に失敗し、同じ経験をしたくないため	就学または就労しても続けられないと思うため	就学または就労をする必要性が感じられないため
全体	48 100.0	3 6.3	2 4.2	1 2.1	- -	2 4.2	4 8.3
男性	25 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	2 8.0
女性	23 100.0	3 13.0	2 8.7	1 4.3	- -	2 8.7	2 8.7
その他	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	就学または就労しても、何もできないと思うため	希望している就学先や就労先・職種に就けないと思うため	就学または就労をしたくても、試験や面接で落ちて就学・就労ができないため	なんとなく、特に理由はない	その他	無回答	
全体	5 10.4	3 6.3	2 4.2	9 18.8	26 54.2	5 10.4	
男性	2 8.0	- -	- -	7 28.0	11 44.0	4 16.0	
女性	3 13.0	3 13.0	2 8.7	2 8.7	15 65.2	1 4.3	
その他	- -	- -	- -	- -	- -	- -	

表側	問 11 (ひきこもりの状態の期間)
表頭	問 31 (問 30 で選択したことを普段から感じる)
対象	・問 16 で「1. 回答者本人」を選択した人 ・問 28 で「4. 希望はしていないが、機会があればしてみたい」または、「5. 全く希望していない」を選択した人

ひきこもりの状態の期間が短いうちは、就学または就労したくない理由を感じているが、期間が長くなるにつれて感じなくなる傾向にある。

(上段:度数 下段:%)

	合 計	常に 感じている	時々 感じている	あまり 感じない	全く 感じない	就学または就 労の言葉を見 たり聞いたり すると感じる	その他	無回答
全 体	47 100.0	7 14.9	4 8.5	6 12.8	12 25.5	-	3 6.4	15 31.9
6か月～1年未満	3 100.0	-	-	1 33.3	1 33.3	-	-	1 33.3
1年～2年未満	8 100.0	2 25.0	-	1 12.5	1 12.5	-	-	4 50.0
2年～3年未満	6 100.0	-	1 16.7	1 16.7	1 16.7	-	1 16.7	2 33.3
3年～5年未満	10 100.0	3 30.0	-	1 10.0	4 40.0	-	1 10.0	1 10.0
5年～7年未満	6 100.0	-	-	-	4 66.7	-	1 16.7	1 16.7
7年～10年未満	5 100.0	-	1 20.0	-	-	-	-	4 80.0
10年～15年未満	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	-	-	1 25.0
15年～20年未満	3 100.0	1 33.3	-	1 33.3	1 33.3	-	-	-
20年～25年未満	1 100.0	-	-	-	-	-	-	1 100.0
25年～30年未満	-	-	-	-	-	-	-	-
30年以上	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-

表側	問 10 (ひきこもりの該当者の性別)
表頭	問 31 (問 30 で選択したことを普段から感じる)
対象	・問 16 で「1. 回答者本人」を選択した人 ・問 28 で「4. 希望はしていないが、機会があればしてみたい」または、「5. 全く希望していない」を選択した人

男性は概ね感じないが、女性は就学または就労したくない理由を常に感じている傾向にある。

(上段:度数 下段:%)

	合 計	常に 感じている	時々 感じている	あまり 感じない	全く 感じない	就学または就 労の言葉を見 たり聞いたり すると感じる	その他	無回答
全 体	48 100.0	7 14.6	4 8.3	7 14.6	12 25.0	-	3 6.3	15 31.3
男 性	25 100.0	2 8.0	1 4.0	5 20.0	8 32.0	-	-	9 36.0
女 性	23 100.0	5 21.7	3 13.0	2 8.7	4 17.4	-	3 13.0	6 26.1
その他	-	-	-	-	-	-	-	-

表側	問 11 (ひきこもりの状態の期間)
表頭	問 32 (不安を感じる時)
対象	問 16 で「1. 回答者本人」を選択した人

ひきこもりの状態の期間が長くなるにつれて不安を感じない傾向にあるが、生活費等の金銭事情に対する不安は、期間の長さにかかわらず感じている。

(上段:度数 下段:%)

	合計	今どうすれば よいかわから ず、焦ってい る不安	このままの状 態で良いのか という不安	生活費等の金 銭が底を尽く かもしれない 不安	知り合いに会 うことを考え ると不安	集団の中に溶 け込めるかど うか不安	人といると、 馬鹿にされたり 軽く扱われ たりしないか 不安	
全体	67 100.0	7 10.4	15 22.4	21 31.3	6 9.0	7 10.4	7 10.4	
6か月～1年未満	6 100.0	1 16.7	1 16.7	2 33.3	-	-	-	
1年～2年未満	10 100.0	-	1 10.0	2 20.0	-	1 10.0	1 10.0	
2年～3年未満	8 100.0	3 37.5	3 37.5	2 25.0	1 12.5	1 12.5	2 25.0	
3年～5年未満	19 100.0	3 15.8	5 26.3	6 31.6	3 15.8	2 10.5	2 10.5	
5年～7年未満	8 100.0	-	-	2 25.0	-	1 12.5	-	
7年～10年未満	6 100.0	-	1 16.7	3 50.0	-	-	-	
10年～15年未満	4 100.0	-	3 75.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	
15年～20年未満	4 100.0	-	-	2 50.0	-	-	1 25.0	
20年～25年未満	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	-	-	-	
25年～30年未満	-	-	-	-	-	-	-	
30年以上	1 100.0	-	-	-	-	-	-	
		周りの人に自分 が変な人や おかしい人 と思われて いるのでは ないかとい う不安	今の状態を 変える時に 、家族や 友人等から 変な目で見 られるかも しれないとい う不安	人との付き 合いがうまく いかないの ではないか という不安	対面で直接 人と会う恐 怖心を取り 除くことが できないの ではないか という不安	不安を感じ たことはない	その他	無回答
全体	4 6.0	1 1.5	8 11.9	2 3.0	26 38.8	8 11.9	6 9.0	
6か月～1年未満	-	-	1 16.7	-	1 16.7	1 16.7	1 16.7	
1年～2年未満	-	-	-	-	4 40.0	3 30.0	1 10.0	
2年～3年未満	2 25.0	-	2 25.0	1 12.5	3 37.5	1 12.5	-	
3年～5年未満	1 5.3	-	3 15.8	-	8 42.1	1 5.3	2 10.5	
5年～7年未満	-	-	-	-	5 62.5	1 12.5	-	
7年～10年未満	-	-	-	-	2 33.3	1 16.7	1 16.7	
10年～15年未満	1 25.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	-	-	
15年～20年未満	-	-	-	-	1 25.0	-	1 25.0	
20年～25年未満	-	-	-	-	-	-	-	
25年～30年未満	-	-	-	-	-	-	-	
30年以上	-	-	-	-	1 100.0	-	-	

表側	問 10 (ひきこもりの該当者の性別)
表頭	問 32 (不安を感じる時)
対象	問 16 で「1. 回答者本人」を選択した人

男性は不安を感じない傾向にある一方、女性は生活費等の金銭事情に対する不安を感じている傾向にある。

(上段:度数 下段:%)

	合 計	今どうすればよいかわからず、焦っている不安	このままの状態が良いのかという不安	生活費等の金銭が底を尽くかもしれない不安	知り合いに会うことを考えると不安	集団の中に溶け込めるかどうか不安	人といると、馬鹿にされたり軽く扱われたりしないか不安
全 体	67 100.0	6 9.0	15 22.4	20 29.9	6 9.0	7 10.4	6 9.0
男 性	27 100.0	1 3.7	3 11.1	5 18.5	1 3.7	-	1 3.7
女 性	40 100.0	5 12.5	12 30.0	15 37.5	5 12.5	7 17.5	5 12.5
その他	-	-	-	-	-	-	-
	周りの人に自分が変な人やおかしい人と思われるのではないかという不安	今の状態を変える時に、家族や友人等から変な目で見られるかもしれないという不安	人との付き合いがうまくいかないのではないかという不安	対面で直接人と会う恐怖心を取り除くことができないのではないかという不安	不安を感じたことはない	その他	無回答
全 体	4 6.0	1 1.5	7 10.4	2 3.0	27 40.3	8 11.9	6 9.0
男 性	-	-	1 3.7	-	17 63.0	2 7.4	-
女 性	4 10.0	1 2.5	6 15.0	2 5.0	10 25.0	6 15.0	6 15.0
その他	-	-	-	-	-	-	-

表側	問 10 (ひきこもりの該当者の性別)
表頭	問 35 (交流状況)
対象	問 16 で「1. 回答者本人」を選択した人

男性は、通院で医師等と会話をするが、家族以外との交流がない割合も比較的高い。

女性は、近隣住民と挨拶を交わしたり、「通院で医師等と会話をする」ものの、家族以外の人と交流がない割合も高い。

(上段:度数 下段:%)

	合 計	近隣住民と挨拶を交わす	趣味や遊びのために人と会うことはある	家族以外の人と会うことはないが、インターネットやSNS等を通じて人と交流している	民間を含む相談窓口・支援機関との交流がある (働いている職員や、相談窓口や支援機関を通じて知り合った人を含む)	家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない
全 体	67 100.0	22 32.8	11 16.4	5 7.5	2 3.0	23 34.3
男 性	27 100.0	7 25.9	5 18.5	3 11.1	1 3.7	10 37.0
女 性	40 100.0	15 37.5	6 15.0	2 5.0	1 2.5	13 32.5
その他	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	家族ともほとんど会話がな	通院で医師等と会話をする	交流状況がわからない	その他	無回答	
全 体	11 16.4	23 34.3	- -	7 10.4	1 1.5	
男 性	2 7.4	10 37.0	- -	1 3.7	1 3.7	
女 性	9 22.5	13 32.5	- -	6 15.0	- -	
その他	- -	- -	- -	- -	- -	

表側	問 10 (ひきこもりの該当者の性別)
表頭	問 36 (参加したいと感じる社会交流活動)
対象	問 16 で「1. 回答者本人」を選択した人

男女とも体を動かすイベントや、自分の趣味に関するイベントに興味を持っている様子が見られる。
 女性は、自分の話を聴いて欲しい傾向にある。

(上段:度数 下段:%)

	合 計	自分と似たような状態の人が集って話す交流会	体を動かすイベント (例: ラジオ体操等)	自分と似たような人だけが行きたい時に入れる施設への外出	複数人や知らない人との交流はしたくないが、自分の話を聴いてくれる場所等への外出	オンラインや仮想空間(メタバース)を活用した交流活動
全 体	67 100.0	5 7.5	13 19.4	3 4.5	5 7.5	4 6.0
男 性	27 100.0	3 11.1	5 18.5	- -	- -	2 7.4
女 性	40 100.0	2 5.0	8 20.0	3 7.5	5 12.5	2 5.0
その他	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	就学や就労に向けた事前学習プログラム	体への負担にならないボランティア活動	自分の趣味に関するイベント	自分の特技を発揮したり披露したりできる場所	その他	無回答
全 体	3 4.5	5 7.5	12 17.9	5 7.5	18 26.9	16 23.9
男 性	1 3.7	1 3.7	4 14.8	2 7.4	6 22.2	8 29.6
女 性	2 5.0	4 10.0	8 20.0	3 7.5	12 30.0	8 20.0
その他	- -	- -	- -	- -	- -	- -

表側	問 11 (ひきこもりの状態の期間)
表頭	問 37 (興味のある資格)
対象	問 16 で「1. 回答者本人」を選択した人

ひきこもりの状態の期間が短い該当者は資格の取得に興味があるものの、期間が7年を過ぎると興味を示さなくなる傾向にある。

(上段:度数 下段:%)

	合 計	パソコン関係 (プログラミングやMOS(※)等)	法律・ 法務関係 (行政書士、司 法書士、弁理士 等)	外国語関係 (英検、TOEIC、 中国語検定、ハ ングル能力検定 等)	金融関係 (ファイナン シャルプラン ナー、証券アナ リスト等)	会計・経営・ 労務関係 (日商簿記検 定、公認会計 士、社会保険労 務士等)	調理・衛生・ 飲食関係 (調理師・栄養 士、食生活アド バイザー等)	土木・ 電気関係 (建築施工管理 技士・電気工事 士等)
全 体	67 100.0	10 14.9	5 7.5	9 13.4	4 6.0	7 10.4	4 6.0	1 1.5
6か月～1年未満	6 100.0	3 50.0	1 16.7	1 16.7	-	1 16.7	-	-
1年～2年未満	10 100.0	2 20.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	3 30.0	-	-
2年～3年未満	8 100.0	2 25.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	-	-	1 12.5
3年～5年未満	19 100.0	3 15.8	2 10.5	2 10.5	-	2 10.5	3 15.8	-
5年～7年未満	8 100.0	-	-	-	-	-	-	-
7年～10年未満	6 100.0	-	-	-	-	-	-	-
10年～15年未満	4 100.0	-	-	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	-
15年～20年未満	4 100.0	-	-	1 25.0	-	-	-	-
20年～25年未満	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
25年～30年未満	-	-	-	-	-	-	-	-
30年以上	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-	-
		倉庫関係 (フォークリフ ト運転技能者、 ロジスティクス オペレーション 等)	物流・ 運輸関係 (大型自動車免 許、危険物取扱 者、通関士等)	医療関係 (医療事務、看 護師、歯科衛生 士等)	介護・ 福祉関係 (介護福祉士、 臨床心理士、保 育士等)	資格の取得 興味はない	その他	無回答
全 体	-	-	2 3.0	4 6.0	35 52.2	8 11.9	8 11.9	-
6か月～1年未満	-	-	-	1 16.7	1 16.7	2 33.3	-	-
1年～2年未満	-	-	-	-	6 60.0	-	1 10.0	-
2年～3年未満	-	-	2 25.0	2 25.0	4 50.0	2 25.0	-	-
3年～5年未満	-	-	-	1 5.3	8 42.1	4 21.1	2 10.5	-
5年～7年未満	-	-	-	-	5 62.5	-	3 37.5	-
7年～10年未満	-	-	-	-	5 83.3	-	1 16.7	-
10年～15年未満	-	-	-	-	3 75.0	-	-	-
15年～20年未満	-	-	-	-	2 50.0	-	1 25.0	-
20年～25年未満	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-
25年～30年未満	-	-	-	-	-	-	-	-
30年以上	-	-	-	-	-	-	-	-

6-2. クロス集計の結果（回答対象者：同居人がひきこもりの状態の場合）

表側	問 10（ひきこもりの該当者の性別）
表頭	問 9（ひきこもりの該当者の年齢）
対象	問 16 で「2. 同居人」を選択した人

同居人からみた、ひきこもりの状態になった人は、男性では 40 代までの若年層から中年層にかけて比較的多く、女性では高齢層が比較的多い。

（上段：度数 下段：％）

	合 計	15歳未満	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳
全 体	89 100.0	5 5.6	4 4.5	4 4.5	5 5.6	2 2.2	3 3.4	7 7.9
男 性	31 100.0	3 9.7	3 9.7	1 3.2	4 12.9	1 3.2	1 3.2	4 12.9
女 性	58 100.0	2 3.4	1 1.7	3 5.2	1 1.7	1 1.7	2 3.4	3 5.2
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	無回答
全 体	6 6.7	7 7.9	3 3.4	5 5.6	3 3.4	4 4.5	30 33.7	1 1.1
男 性	2 6.5	3 9.7	-	3 9.7	-	-	5 16.1	1 3.2
女 性	4 6.9	4 6.9	3 5.2	2 3.4	3 5.2	4 6.9	25 43.1	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-

表側	問 11 (ひきこもりの状態の期間)
表頭	問 9 (ひきこもりの該当者の年齢)
対象	問 16 で「2. 同居人」を選択した人

同居人からみた、ひきこもりの状態になった人は、期間が2年未満の割合が比較的高い。また、当該期間における年齢分布は、20代や30代などの若年層が多い傾向にある。

本人の場合と同様、ひきこもりの状態の期間が長いほど年齢が高くなる傾向にある。

(上段:度数 下段:%)

	合計	15歳未満	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳
全 体	90 100.0	5 5.6	4 4.4	4 4.4	5 5.6	2 2.2	3 3.3	7 7.8
6か月～1年未満	12 100.0	2 16.7	-	2 16.7	-	-	-	-
1年～2年未満	13 100.0	1 7.7	2 15.4	1 7.7	2 15.4	1 7.7	1 7.7	-
2年～3年未満	9 100.0	1 11.1	-	-	-	-	-	1 11.1
3年～5年未満	16 100.0	1 6.3	-	-	3 18.8	1 6.3	-	1 6.3
5年～7年未満	8 100.0	-	2 25.0	-	-	-	-	-
7年～10年未満	9 100.0	-	-	1 11.1	-	-	1 11.1	-
10年～15年未満	10 100.0	-	-	-	-	-	1 10.0	3 30.0
15年～20年未満	4 100.0	-	-	-	-	-	-	1 25.0
20年～25年未満	4 100.0	-	-	-	-	-	-	1 25.0
25年～30年未満	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-
30年以上	3 100.0	-	-	-	-	-	-	-
	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	無回答
全 体	6 6.7	7 7.8	3 3.3	5 5.6	3 3.3	4 4.4	31 34.4	1 1.1
6か月～1年未満	-	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	-	4 33.3	-
1年～2年未満	1 7.7	-	-	-	1 7.7	1 7.7	2 15.4	-
2年～3年未満	-	-	-	1 11.1	1 11.1	-	5 55.6	-
3年～5年未満	1 6.3	2 12.5	-	1 6.3	-	1 6.3	5 31.3	-
5年～7年未満	2 25.0	-	-	-	-	1 12.5	3 37.5	-
7年～10年未満	1 11.1	-	-	-	-	1 11.1	4 44.4	1 11.1
10年～15年未満	-	-	1 10.0	1 10.0	-	-	4 40.0	-
15年～20年未満	-	-	1 25.0	-	-	-	2 50.0	-
20年～25年未満	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	-	-	-	-
25年～30年未満	-	2 100.0	-	-	-	-	-	-
30年以上	-	1 33.3	-	-	-	-	2 66.7	-

表側	問9（ひきこもりの該当者の年齢）
表頭	問41（ひきこもりになったきっかけ）
対象	問16で「2.同居人」を選択した人

同居人からみた、ひきこもりの状態になったきっかけは、年齢が低い人は学校での不登校や職場での人間関係、年齢が高くなるに従い、退職や新型コロナウイルスの蔓延などが契機となっている。

（上段:度数 下段:%）

	合計	学生時代のいじめや学校になじめなかった	小学校時代、または中学校時代の不登校	高校時代の不登校	大学・短大・専門学校時代の不登校	受験に失敗したこと (中学・高校・大学の各受験)	就職活動で就職できず失敗したこと (希望する職種に就職できなかったも含む)	就労先(アルバイトやパートタイム含む)で自分が必要とされていると感じなかったこと	学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと
全体	89 100.0	9 10.1	10 11.2	1 1.1	3 3.4	2 2.2	2 2.2	4 4.5	14 15.7
15歳未満	5 100.0	1 20.0	4 80.0	-	-	-	-	-	1 20.0
15歳～19歳	4 100.0	1 25.0	4 100.0	-	-	-	-	-	-
20歳～24歳	4 100.0	1 25.0	1 25.0	-	-	1 25.0	-	-	1 25.0
25歳～29歳	5 100.0	1 20.0	-	1 20.0	1 20.0	-	1 20.0	1 20.0	2 40.0
30歳～34歳	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
35歳～39歳	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	-	1 33.3	-	1 33.3
40歳～44歳	7 100.0	1 14.3	-	-	1 14.3	1 14.3	-	3 42.9	5 71.4
45歳～49歳	6 100.0	-	-	-	1 16.7	-	-	-	-
50歳～54歳	7 100.0	2 28.6	-	-	-	-	-	-	-
55歳～59歳	3 100.0	1 33.3	-	-	-	-	-	-	1 33.3
60歳～64歳	5 100.0	-	-	-	-	-	-	-	3 60.0
65歳～69歳	3 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
70歳～74歳	4 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
75歳以上	31 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	病 気	妊娠したこと	退職したこと	育児に専念することになったこと	介護・看護を担うことになったこと	新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと	その他	わからない	無回答
全体	7 7.9	2 2.2	12 13.5	3 3.4	1 1.1	13 14.6	30 33.7	8 9.0	1 1.1
15歳未満	-	-	-	-	-	1 20.0	1 20.0	-	-
15歳～19歳	-	-	-	-	-	1 25.0	-	-	-
20歳～24歳	1 25.0	-	-	-	-	-	1 25.0	-	-
25歳～29歳	-	-	1 20.0	-	-	-	1 20.0	1 20.0	-
30歳～34歳	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	1 50.0	-	-
35歳～39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳～44歳	-	-	2 28.6	-	-	-	3 42.9	-	-
45歳～49歳	1 16.7	-	1 16.7	1 16.7	-	2 33.3	-	-	1 16.7
50歳～54歳	-	-	-	-	-	1 14.3	2 28.6	2 28.6	-
55歳～59歳	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	-	2 66.7	-	-
60歳～64歳	-	-	2 40.0	-	-	1 20.0	-	-	-
65歳～69歳	-	-	2 66.7	-	-	-	1 33.3	-	-
70歳～74歳	-	-	-	-	-	1 25.0	3 75.0	1 25.0	-
75歳以上	4 12.9	-	3 9.7	1 3.2	1 3.2	6 19.4	15 48.4	4 12.9	-

表側	問 10 (ひきこもりの該当者の性別)
表頭	問 41 (ひきこもりになったきっかけ)
対象	問 16 で「2. 同居人」を選択した人

同居人からみた、ひきこもりの状態になったきっかけは、男性では職場での人間関係や退職、学生時代のいじめ、不登校が多い傾向にある。

女性は、新型コロナウイルスの蔓延による影響や病気によって、ひきこもりになったとする傾向にある。

(上段:度数 下段:%)

	合計	学生時代のいじめや学校になじめなかった	小学校時代、または中学校時代の不登校	高校時代の不登校	大学・短大・専門学校時代の不登校	受験に失敗したこと (中学・高校・大学の各受験)	就職活動で就職できず失敗したこと (希望する職種に就職できなかったも含む)	就労先(アルバイトやパートタイム含む)で自分が必要とされていると感じなかったこと	学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと
全体	89 100.0	9 10.1	10 11.2	1 1.1	3 3.4	2 2.2	3 3.4	4 4.5	14 15.7
男性	31 100.0	6 19.4	6 19.4	-	2 6.5	1 3.2	2 6.5	3 9.7	12 38.7
女性	58 100.0	3 5.2	4 6.9	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	2 3.4
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	病 気	妊娠したこと	退職したこと	育児に専念することになったこと	介護・看護を担うことになったこと	新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと	その他	わからない	無回答
全体	7 7.9	2 2.2	12 13.5	3 3.4	1 1.1	13 14.6	29 32.6	8 9.0	1 1.1
男性	-	-	6 19.4	-	1 3.2	4 12.9	6 19.4	2 6.5	1 3.2
女性	7 12.1	2 3.4	6 10.3	3 5.2	-	9 15.5	23 39.7	6 10.3	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表側	問 11 (ひきこもりの状態の期間)
表頭	問 41 (ひきこもりになったきっかけ)
対象	問 16 で「2. 同居人」を選択した人

同居人からみた、ひきこもりの状態になったきっかけは、学校や職場の人間関係がうまくいってなかったことや、新型コロナウイルスの蔓延の影響が多い傾向にある。

また、ひきこもりの状態になった期間が7年未満の人は、小学校時代、または中学校時代の不登校や退職、新型コロナウイルスが蔓延したことがきっかけと考える傾向にある。

(上段:度数 下段:%)

	合計	学生時代のいじめや学校になじめなかった	小学校時代、または中学校時代の不登校	高校時代の不登校	大学・短大・専門学校時代の不登校	受験に失敗したこと (中学・高校・大学の各受験)	就職活動で就職できず失敗したこと (希望する職種に就職できなかったも含む)	就労先(アルバイトやパートタイム含む)で自分が必要とされていると感じなかったこと	学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと	
全体	90 100.0	9 10.0	10 11.1	1 1.1	3 3.3	2 2.2	3 3.3	4 4.4	14 15.6	
6か月～1年未満	12 100.0	-	2 16.7	-	-	1 8.3	-	-	-	
1年～2年未満	13 100.0	1 7.7	3 23.1	-	-	-	1 7.7	-	1 7.7	
2年～3年未満	9 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
3年～5年未満	16 100.0	1 6.3	1 6.3	1 6.3	1 6.3	-	1 6.3	1 6.3	4 25.0	
5年～7年未満	8 100.0	1 12.5	2 25.0	-	-	-	-	-	-	
7年～10年未満	9 100.0	2 22.2	2 22.2	-	-	-	1 11.1	-	1 11.1	
10年～15年未満	10 100.0	2 20.0	-	-	-	1 10.0	-	2 20.0	6 60.0	
15年～20年未満	4 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
20年～25年未満	4 100.0	-	-	-	2 50.0	-	-	1 25.0	2 50.0	
25年～30年未満	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	
30年以上	3 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
		病 気	妊娠したこと	退職したこと	育児に専念することになったこと	介護・看護を担うことになったこと	新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと	その他	わからない	無回答
全体	7 7.8	2 2.2	12 13.3	3 3.3	1 1.1	13 14.4	30 33.3	8 8.9	1 1.1	
6か月～1年未満	-	-	3 25.0	-	1 8.3	2 16.7	3 25.0	2 16.7	-	
1年～2年未満	1 7.7	-	1 7.7	-	-	3 23.1	5 38.5	1 7.7	-	
2年～3年未満	-	-	1 11.1	-	-	2 22.2	6 66.7	-	-	
3年～5年未満	2 12.5	1 6.3	3 18.8	1 6.3	-	4 25.0	4 25.0	-	1 6.3	
5年～7年未満	1 12.5	-	-	-	-	1 12.5	4 50.0	-	-	
7年～10年未満	2 22.2	-	1 11.1	1 11.1	-	-	-	3 33.3	-	
10年～15年未満	1 10.0	1 10.0	3 30.0	-	-	1 10.0	3 30.0	-	-	
15年～20年未満	-	-	-	-	-	-	4 100.0	-	-	
20年～25年未満	-	-	-	-	-	-	1 25.0	-	-	
25年～30年未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
30年以上	-	-	-	1 33.3	-	-	-	2 66.7	-	

その他の主な内容 (32件)

● 高齢のため (11件)
● 認知症のため (3件)
● 家族の死 (3件)
● 転居のため (3件)

表側	問9（ひきこもりの該当者の年齢）
表頭	問46（相談をしていない（またはしなかった）理由）
対象	・問16で「2. 同居人」を選択した人 ・問42で「2. 話や相談をしていない」を選択した人

同居人の状態について誰にも話や相談をしなかった理由として、年齢が高くなるに従い「相談する必要性を感じない」が多くみられる。30歳後半から50歳代では「相談して助言をもらっても、同居人が変わらないと思ったため」との回答があった。

また、20代では「今の状況を変えたくないと思ったため」との回答があった。

（上段:度数 下段:%）

	合計	今の状況を変えたくないと思ったため	相談をする勇気がでなかったため	相談できる相手がいないため	相談相手や相談先がわからなかったため	相談する必要性を感じられなかったため	相談して助言をもらっても、同居人が変わらないと思ったため	その他	無回答
全体	38 100.0	2 5.3	1 2.6	6 15.8	8 21.1	19 50.0	12 31.6	6 15.8	-
15歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15歳～19歳	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-
20歳～24歳	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	-	1 50.0	-
25歳～29歳	1 100.0	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	-
30歳～34歳	1 100.0	-	-	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-
35歳～39歳	3 100.0	-	1 33.3	1 33.3	2 66.7	-	1 33.3	-	-
40歳～44歳	3 100.0	-	-	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-
45歳～49歳	3 100.0	-	-	2 66.7	1 33.3	1 33.3	2 66.7	1 33.3	-
50歳～54歳	3 100.0	-	-	-	-	2 66.7	2 66.7	-	-
55歳～59歳	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	1 100.0	-	-
60歳～64歳	3 100.0	-	-	-	1 33.3	3 100.0	-	-	-
65歳～69歳	2 100.0	-	-	-	-	2 100.0	-	-	-
70歳～74歳	3 100.0	-	-	1 33.3	-	2 66.7	-	-	-
75歳以上	12 100.0	-	-	1 8.3	2 16.7	5 41.7	5 41.7	3 25.0	-

表側	問 10（ひきこもりの該当者の性別）
表頭	問 46（相談をしていない（またはしなかった）理由）
対象	・問 16 で「2. 同居人」を選択した人 ・問 42 で「2. 話や相談をしていない」を選択した人

同居人の状態について誰にも話や相談をしなかった理由として、男性は「相談相手や相談先がわからなかったため」が比較的多く、女性は「相談する必要性を感じなかったため」が多い。

（上段:度数 下段:%）

	合 計	今の状況を変えたくないと思ったため	相談をする勇気がでなかったため	相談できる相手がいなかったため	相談相手や相談先がわからなかったため	相談する必要性を感じられなかったため	相談して助言をもらっても、同居人が変わらないと思ったため	その他	無回答
全 体	38 100.0	2 5.3	2 5.3	7 18.4	7 18.4	19 50.0	11 28.9	6 15.8	-
男 性	7 100.0	-	1 14.3	2 28.6	4 57.1	3 42.9	2 28.6	1 14.3	-
女 性	31 100.0	2 6.5	1 3.2	5 16.1	3 9.7	16 51.6	9 29.0	5 16.1	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表側	問 11（ひきこもりの状態の期間）
表頭	問 46（相談をしていない（またはしなかった）理由）
対象	・問 16 で「2. 同居人」を選択した人 ・問 42 で「2. 話や相談をしていない」を選択した人

同居人の状態について誰にも話や相談をしなかった理由として、ひきこもりの状態の期間のかかわらず、「相談する必要性を感じなかったため」や「相談して助言をもらっても、同居人が変わらないと思ったため」が多く、ひきこもりの状態の期間の長短で優位性は見られない傾向にある。

（上段:度数 下段:%）

	合 計	今の状況を変えたくないと思ったため	相談をする勇気がでなかったため	相談できる相手がいなかったため	相談相手や相談先がわからなかったため	相談する必要性を感じられなかったため	相談して助言をもらっても、同居人が変わらないと思ったため	その他	無回答
全 体	39 100.0	2 5.1	2 5.1	7 17.9	8 20.5	19 48.7	12 30.8	7 17.9	-
6か月～1年未満	5 100.0	1 20.0	-	-	-	3 60.0	1 20.0	1 20.0	-
1年～2年未満	6 100.0	-	-	2 33.3	1 16.7	4 66.7	-	-	-
2年～3年未満	5 100.0	-	-	-	1 20.0	4 80.0	-	-	-
3年～5年未満	7 100.0	1 14.3	-	1 14.3	1 14.3	4 57.1	1 14.3	1 14.3	-
5年～7年未満	2 100.0	-	-	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-
7年～10年未満	5 100.0	-	2 40.0	3 60.0	1 20.0	-	2 40.0	1 20.0	-
10年～15年未満	4 100.0	-	-	-	2 50.0	-	3 75.0	1 25.0	-
15年～20年未満	3 100.0	-	-	-	1 33.3	1 33.3	2 66.7	2 66.7	-
20年～25年未満	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	1 100.0	-	-
25年～30年未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30年以上	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	1 100.0	-	-

表側	問9（ひきこもりの該当者の年齢）
表頭	問48（今後の不安）
対象	問16で「2. 同居人」を選択した人

同居人がひきこもりの状態の場合、今後の不安について、ひきこもりの状態にある人の年齢にかかわらず、同居人がこのままの状態が良いのか不安に思う人の割合が多い。

ひきこもりの状態にある人の年齢が高まるにつれて、不安を感じない傾向にある。

（上段:度数 下段:%）

	合計	同居人がこのままの状態が良いのかという不安	同居人の生活費等の金銭が底を尽くかもしれない不安	同居人の状態を周辺住民や知人に知られないかという不安	同居人の状態を変えるための支援を自宅でする際、同居人に気づかれたりしないかという不安	同居人の状態を変えるための支援を、同居人が受け入れないかもしれない不安	同居人が社会的にも家族の中でも孤立してしまうかもしれない不安	不安を感じたことはない	その他	無回答
全体	89 100.0	47 52.8	17 19.1	1 1.1	1 1.1	22 24.7	14 15.7	25 28.1	9 10.1	-
15歳未満	5 100.0	3 60.0	1 20.0	-	-	-	1 20.0	1 20.0	1 20.0	-
15歳～19歳	4 100.0	2 50.0	2 50.0	-	-	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	-
20歳～24歳	4 100.0	2 50.0	1 25.0	-	-	1 25.0	1 25.0	2 50.0	-	-
25歳～29歳	5 100.0	4 80.0	1 20.0	-	-	-	1 20.0	1 20.0	-	-
30歳～34歳	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-
35歳～39歳	3 100.0	2 66.7	-	-	-	2 66.7	3 100.0	-	-	-
40歳～44歳	7 100.0	4 57.1	1 14.3	-	-	3 42.9	1 14.3	2 28.6	1 14.3	-
45歳～49歳	6 100.0	6 100.0	2 33.3	-	-	2 33.3	1 16.7	-	-	-
50歳～54歳	7 100.0	4 57.1	1 14.3	-	-	3 42.9	3 42.9	2 28.6	1 14.3	-
55歳～59歳	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	-	1 33.3	2 66.7	-	-
60歳～64歳	5 100.0	2 40.0	2 40.0	-	-	1 20.0	-	2 40.0	1 20.0	-
65歳～69歳	3 100.0	-	1 33.3	-	-	-	-	2 66.7	-	-
70歳～74歳	4 100.0	1 25.0	-	-	-	1 25.0	-	3 75.0	-	-
75歳以上	31 100.0	15 48.4	4 12.9	1 3.2	1 3.2	8 25.8	-	8 25.8	4 12.9	-

表側	問 10 (ひきこもりの該当者の性別)
表頭	問 48 (今後の不安)
対象	問 16 で「2. 同居人」を選択した人

男性に対しては、このままの状態が良いのかという不安が多い。

女性に対しては、不安を感じていないが多いものの、このままの状態が良いのかという不安もほぼ同水準となっている。

(上段:度数 下段:%)

	合 計	同居人がこのままの状態が良いのかという不安	同居人の生活費等の金銭が底を尽くかもしれない不安	同居人の状態を周辺住民や知人に知られないかという不安	同居人の状態を変えるための支援を自宅で受ける際、同居人に気づかれたりしないかという不安	同居人の状態を変えるための支援を、同居人が受け入れないかもしれない不安	同居人が社会的にも家族の中でも孤立してしまうかもしれない不安	不安を感じたことはない	その他	無回答
全 体	89 100.0	48 53.9	18 20.2	1 1.1	1 1.1	22 24.7	15 16.9	25 28.1	8 9.0	-
男 性	31 100.0	26 83.9	11 35.5	-	-	8 25.8	9 29.0	1 3.2	4 12.9	-
女 性	58 100.0	22 37.9	7 12.1	1 1.7	1 1.7	14 24.1	6 10.3	24 41.4	4 6.9	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表側	問 11 (ひきこもりの状態の期間)
表頭	問 48 (今後の不安)
対象	問 16 で「2. 同居人」を選択した人

ひきこもりの状態の期間が1年未満では不安を感じていないものの、1年以上になると、このままの状態が良いのかという不安や、生活費等の金銭的な不安などを抱える傾向にある。

(上段:度数 下段:%)

	合計	同居人がこのままの状態が良いのかという不安	同居人の生活費等の金銭が底を尽くかもしれない不安	同居人の状態を周辺住民や知人に知られないかという不安	同居人の状態を変えるための支援を自宅で受ける際、同居人に気づかれたりしないかという不安	同居人の状態を変えるための支援を、同居人が受け入れないかもしれない不安	同居人が社会的にも家族の中でも孤立してしまうかもしれない不安	不安を感じたことはない	その他	無回答
全 体	90 100.0	48 53.3	18 20.0	1 1.1	1 1.1	22 24.4	15 16.7	25 27.8	9 10.0	-
6か月～1年未満	12 100.0	5 41.7	2 16.7	1 8.3	1 8.3	2 16.7	1 8.3	7 58.3	-	-
1年～2年未満	13 100.0	8 61.5	3 23.1	-	-	1 7.7	3 23.1	2 15.4	1 7.7	-
2年～3年未満	9 100.0	2 22.2	1 11.1	-	-	-	-	4 44.4	2 22.2	-
3年～5年未満	16 100.0	9 56.3	2 12.5	-	-	5 31.3	1 6.3	3 18.8	2 12.5	-
5年～7年未満	8 100.0	5 62.5	3 37.5	-	-	3 37.5	2 25.0	1 12.5	-	-
7年～10年未満	9 100.0	6 66.7	3 33.3	-	-	4 44.4	3 33.3	2 22.2	-	-
10年～15年未満	10 100.0	8 80.0	3 30.0	-	-	4 40.0	3 30.0	2 20.0	1 10.0	-
15年～20年未満	4 100.0	-	-	-	-	1 25.0	-	2 50.0	1 25.0	-
20年～25年未満	4 100.0	2 50.0	1 25.0	-	-	1 25.0	-	-	2 50.0	-
25年～30年未満	2 100.0	2 100.0	-	-	-	1 50.0	2 100.0	-	-	-
30年以上	3 100.0	1 33.3	-	-	-	-	-	2 66.7	-	-

表側	問 10 (ひきこもりの該当者の性別)
表頭	問 50 (交流状況)
対象	問 16 で「2. 同居人」を選択した人

男女とも概ね家族以外の人との交流を持っていないが、近隣住民と挨拶をしたり、インターネットや SNS等を通じた交流をしている人が比較的多い。

(上段:度数 下段:%)

	合 計	近隣住民と挨拶を交わす	趣味や遊びのために人と会うことはある	家族以外の人と会うことはないが、インターネットや SNS 等を通じて人と交流している	民間を含む相談窓口・支援機関との交流がある (働いている職員や、相談窓口や支援機関を通じて知り合った人を含む)	家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない
全 体	89 100.0	12 13.5	6 6.7	12 13.5	2 2.2	35 39.3
男 性	31 100.0	3 9.7	2 6.5	4 12.9	1 3.2	12 38.7
女 性	58 100.0	9 15.5	4 6.9	8 13.8	1 1.7	23 39.7
その他	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	家族ともほとんど会話がな	通院で医師等と会話を	交流状況がわからない	その他	無回答	
全 体	7 7.9	3 3.4	4 4.5	6 6.7	2 2.2	
男 性	3 9.7	- -	2 6.5	4 12.9	- -	
女 性	4 6.9	3 5.2	2 3.4	2 3.4	2 3.4	
その他	- -	- -	- -	- -	- -	

表側	問 11 (ひきこもりの状態の期間)
表頭	問 50 (交流状況)
対象	問 16 で「2. 同居人」を選択した人

概ね家族以外の人との交流を持っていないが、ひきこもりの状態の期間が短い人では、近隣住民と挨拶をしたり、インターネットやSNS等を通じた交流をしたりしている人が比較的多い。

(上段:度数 下段:%)

	合 計	近隣住民と挨拶を交わす	趣味や遊びのために人と会うことはある	家族以外の人と会うことはないが、インターネットやSNS等を通じて人と交流している	民間を含む相談窓口・支援機関との交流がある (働いている職員や、相談窓口や支援機関を通じて知り合った人を含む)	家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない
全 体	90 100.0	12 13.3	6 6.7	12 13.3	2 2.2	35 38.9
6か月～1年未満	12 100.0	3 25.0	2 16.7	1 8.3	-	4 33.3
1年～2年未満	13 100.0	-	2 15.4	4 30.8	1 7.7	2 15.4
2年～3年未満	9 100.0	2 22.2	1 11.1	1 11.1	-	1 11.1
3年～5年未満	16 100.0	2 12.5	-	2 12.5	1 6.3	8 50.0
5年～7年未満	8 100.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	-	3 37.5
7年～10年未満	9 100.0	1 11.1	-	1 11.1	-	5 55.6
10年～15年未満	10 100.0	-	-	1 10.0	-	7 70.0
15年～20年未満	4 100.0	2 50.0	-	-	-	1 25.0
20年～25年未満	4 100.0	-	-	1 25.0	-	1 25.0
25年～30年未満	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-
30年以上	3 100.0	-	-	-	-	3 100.0
		家族ともほとんど会話が ない	通院で医師等と会話を する	交流状況がわからない	その他	無回答
全 体	8 8.9	3 3.3	4 4.4	6 6.7	2 2.2	
6か月～1年未満	-	-	1 8.3	1 8.3	-	
1年～2年未満	2 15.4	-	-	1 7.7	1 7.7	
2年～3年未満	1 11.1	2 22.2	1 11.1	-	-	
3年～5年未満	1 6.3	-	1 6.3	1 6.3	-	
5年～7年未満	-	1 12.5	-	1 12.5	-	
7年～10年未満	-	-	-	1 11.1	1 11.1	
10年～15年未満	2 20.0	-	-	-	-	
15年～20年未満	1 25.0	-	-	-	-	
20年～25年未満	-	-	1 25.0	1 25.0	-	
25年～30年未満	1 50.0	-	-	-	-	
30年以上	-	-	-	-	-	

7. 分析を終えて

本調査は、区内6万世帯を対象とし、多くの方のご協力のもと、14,070世帯の方から回答を得ることができた。調査の結果を集計し、分析した結果、158世帯がひきこもりの該当者を抱えており、その実態及びニーズとして以下の傾向が見受けられた。今後、この結果について、区のひきこもり支援の施策に反映していく。

(1) 相談できる場の創出

本調査の結果、ひきこもりの該当者が本人である場合は半数以上、同居人である場合でも4割弱が相談していないという現状が明らかになった。

相談していない理由として、「相談する必要性を感じられなかった」と思っていることなどが挙げられる。また、相談した結果として、「気持ちが楽になった」との回答が多いなど、一定の効果が認められるものの、「今の状態を変えたい」、「将来が不安」といった能動的な動機は同居人によるものであり、回答者本人は、「家族や友人等から提案や案内を受けたため」といった受動的な動機によるものであった。

相談相手や相談機関への要望については、「無料で相談できる」、「専門的な見地から助言をする」、「親身になって話を聞いてくれる」など、それぞれの人が置かれた状況や心境に合った行政サービスを適切に提供することが求められている。また、直接会って話をするだけでなく、電話やメール、SNS等を介した相談方法など、多様な相談窓口を用意しておく必要性もうかがえた。

以上の分析から、当事者のみならず、家族の方々も含めて気軽に訪れることができ、専門的な助言を受けられる相談の場を創出することが、「ひきこもり」の支援策として重要であると考えられる。それと同時に、自らの意思で現状を変えたいと思えるための環境づくりも必要であると考えられる。

(2) 多様な行政サービスの提供

本調査によって、ひきこもりの該当者と定義された人の属性は一様ではなく、高齢者は退職や病気によって現在の状態になっている一方で、若年層においては、学校や職場での人間関係などによってひきこもりの状態に至っていることが一定数あると確認された。このような「きっかけ」による人に対しては、教育機関や事業所等、多様な主体との連携により状況の改善を図れる可能性があるといえる。

ひきこもりの該当者は、自分の趣味に関するイベントや体を動かすイベントなどの社会活動への参加に対して一定の関心を持っていることが把握されており、このような活動や交流を通じて、ひきこもりの状態から脱することができる可能性もあると考えられる。

以上の分析から、ひきこもりの該当者がいる世帯の生活状況や求めているニーズは多様であり、それに応えるためには、様々な専門機関が連携し、適切な行政サービスを提供していくことが必要であると考えられる。

参考（１）ひきこもりの該当者を15歳から64歳以下に限定した場合の集計

これまでに国が実施したひきこもりに関する実態調査に関連し、本調査回答の内、ひきこもりの該当者を15歳から64歳以下に限定した回答者の結果を記載する。

問1 あなたの性別をお答えください。（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性	31	45.6
2	女性	36	52.9
3	その他	0	0.0
	無回答	1	1.5
	N (%^ -ス)	68	100

問2 あなたの年齢をお答えください。（○は1つだけ）

（※令和5年6月16日現在の年齢をお答えください）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	15歳未満	0	0.0
2	15歳～19歳	0	0.0
3	20歳～24歳	0	0.0
4	25歳～29歳	4	5.9
5	30歳～34歳	5	7.4
6	35歳～39歳	1	1.5
7	40歳～44歳	2	2.9
8	45歳～49歳	8	11.8
9	50歳～54歳	19	27.9
10	55歳～59歳	10	14.7
11	60歳～64歳	6	8.8
12	65歳～69歳	2	2.9
13	70歳～74歳	4	5.9
14	75歳以上	6	8.8
	無回答	1	1.5
	N (%^ -ス)	68	100

問3 現在、あなたと同居している方をお答えください。(〇はいくつでも)

なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	配偶者	33	48.5
2	父	5	7.4
3	母	5	7.4
4	兄	2	2.9
5	弟	2	2.9
6	姉	2	2.9
7	妹	4	5.9
8	子	27	39.7
9	祖父	0	0.0
10	祖母	0	0.0
11	その他親族	1	1.5
12	その他	1	1.5
13	同居している人はいない	14	20.6
	無回答	2	2.9
	N (%^ -ス)	68	100

問4 現在、あなたを含めて何人で同居しているかをお答えください（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	14	20.6
2	2人	25	36.8
3	3人	14	20.6
4	4人	8	11.8
5	5人	2	2.9
6	6人	1	1.5
7	7人	1	1.5
8	8人以上	0	0.0
	無回答	3	4.4
	N (%^ -ス)	68	100

問5 同居者全員の中で、主たる生計維持者はどなたですか？（○は1つだけ）

※生計維持者が複数人いる場合は、一番収入の高い人をご回答ください。

※同世帯か、別世帯かは問いません。

※仕送りで生計を立てている方は、その仕送り主をお答えください。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	あなた自身	51	75.0
2	あなたの配偶者	3	4.4
3	父	2	2.9
4	母	3	4.4
5	子	2	2.9
6	兄弟姉妹	3	4.4
7	その他（貸付等の支援制度の活用を含む）	3	4.4
8	わからない	1	1.5
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	68	100

問6 あなたの現在の就学・就労状況をお答えください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	勤めている(正社員)	22	32.4
2	勤めている(契約社員・派遣社員・アルバイト・パートタイム)	9	13.2
3	勤めている(自営業・フリーランス)	8	11.8
4	企業等に在籍しているが、病気や育児休業等のため休職中	1	1.5
5	学生(予備校生含む)	0	0.0
6	無職(現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない)	27	39.7
	無回答	1	1.5
	N (%^ -ス)	68	100

問7は、問6で「6. 無職(現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない)」を選択した人が回答。

問7 これまでにアルバイトやパートを含む就労をしたことがありますか。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ある	20	74.1
2	ない	7	25.9
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	27	100

問8 あなたを含む同居者の中で、「① 自宅から外出をほとんどしない、または近所のコンビニやスーパー等の販売店、通院・趣味の用事の時のみ外出をする」「② 家族以外の人と直接の会話をしない、または家族以外の人との交流を避けている(①のコンビニやスーパー等の店員、医師・看護師等の医療機関受診時の会話等を除く)」「③ ①から②の状態が6か月以上続いている」の全ての状況に該当する方がいるかお答えください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者はいない	0	0.0
2	該当者がいる	68	100.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	68	100

問9から問12は、問8で「2. 該当者がいる」を選択した人が回答。

問9 問8に該当する方の年齢を選択してください。(○は1つだけ)

(複数人該当する場合は、その状態が一番長い方についてお答えください)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	15歳未満	0	0.0
2	15歳～19歳	4	5.9
3	20歳～24歳	4	5.9
4	25歳～29歳	7	10.3
5	30歳～34歳	4	5.9
6	35歳～39歳	3	4.4
7	40歳～44歳	7	10.3
8	45歳～49歳	8	11.8
9	50歳～54歳	14	20.6
10	55歳～59歳	8	11.8
11	60歳～64歳	9	13.2
12	65歳～69歳	0	0.0
13	70歳～74歳	0	0.0
14	75歳以上	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	68	100

問10 問8に該当する方の性別をお答えください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性	28	41.2
2	女性	39	57.4
3	その他	0	0.0
	無回答	1	1.5
	N (%^ -ス)	68	100

問 11 問8の状態の期間はどのくらいですか？（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6か月～1年未満	9	13.2
2	1年～2年未満	10	14.7
3	2年～3年未満	5	7.4
4	3年～5年未満	16	23.5
5	5年～7年未満	4	5.9
6	7年～10年未満	6	8.8
7	10年～15年未満	7	10.3
8	15年～20年未満	4	5.9
9	20年～25年未満	4	5.9
10	25年～30年未満	2	2.9
11	30年以上	1	1.5
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	68	100

問 12 問8の状態になってから医療機関を受診しましたか？（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	受診した	33	48.5
2	受診していない	35	51.5
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	68	100

問 13 と問 14 は、問 12 で「1. 受診した」を選択した人が回答。

問 13 どのような理由で受診しましたか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	風邪や新型コロナウイルス感染症等の内科系	8	24.2
2	脱臼や骨折等の整形外科系	5	15.2
3	白内障や緑内障等の眼科系	1	3.0
4	内臓関係の手術等の外科系	0	0.0
5	うつ病や認知症等の精神心療内科系	22	66.7
6	頭部外傷や脳卒中等の脳神経外科系	2	6.1
7	その他	8	24.2
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	33	100

問 14 現在も通院していますか？（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	通院している	21	63.6
2	通院していない	12	36.4
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	33	100

問 15 は、問 14 で「2. 通院していない」を選択した人が回答。

問 15 通院していない理由はなんですか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	完治と診断されたため	3	25.0
2	完治と診断されていないが、通院をやめてしまった	4	33.3
3	通院するのが面倒になってしまった	1	8.3
4	通院の交通費や通院費等の金銭的な負担が重いため	3	25.0
5	通院しても状態が良くならなかったため	5	41.7
6	なんとなく	0	0.0
7	その他	3	25.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	12	100

問 16 問 8 の状態の人は、どなたですか？（○は 1 つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	回答者本人	22	32.4
2	同居人	46	67.6
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	68	100

問 17 から問 37 は、問 16 で「1. 回答者本人」を選択した人が回答。

問 17 問 8 の状態になったのは何歳の頃ですか。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	15歳未満	0	0.0
2	15歳～19歳	0	0.0
3	20歳～24歳	2	9.1
4	25歳～29歳	1	4.5
5	30歳～34歳	1	4.5
6	35歳～39歳	2	9.1
7	40歳～44歳	1	4.5
8	45歳～49歳	2	9.1
9	50歳～54歳	6	27.3
10	55歳～59歳	5	22.7
11	60歳～64歳	2	9.1
12	65歳～69歳	0	0.0
13	70歳～74歳	0	0.0
14	75歳以上	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	22	100

問 18 問8の状態になったきっかけは何ですか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	学生時代のいじめや学校になじめなかった	3	13.6
2	小学校時代、または中学校時代の不登校	0	0.0
3	高校時代の不登校	0	0.0
4	大学・短大・専門学校時代の不登校	0	0.0
5	受験に失敗したこと（中学・高校・大学の各受験）	0	0.0
6	就職活動で就職できず失敗したこと（希望する職種に就職できなかったも含む）	2	9.1
7	就労先（アルバイトやパートタイム含む）で自分が必要とされていると感じなかったこと	4	18.2
8	学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと	5	22.7
9	病気	4	18.2
10	妊娠したこと	1	4.5
11	退職したこと	6	27.3
12	育児に専念することになったこと	1	4.5
13	介護・看護を担うことになったこと	3	13.6
14	新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと	2	9.1
15	その他	4	18.2
16	なんとなく	1	4.5
17	わからない・思い出せない	2	9.1
18	回答したくない・思い出したくない	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N（% [^] -ス）	22	100

問 19 問8の状態を誰かに話や相談をしましたか？（〇は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	話や相談をした	10	45.5
2	話や相談をしていない	12	54.5
	無回答	0	0.0
	N（% [^] -ス）	22	100

問 20 から問 22 は、問 19 で「1. 話や相談をした」を選択した人が回答。

問 20 話や相談をしたきっかけは何ですか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	今の状態を変えたいと思ったため	5	50.0
2	家族や友人等から提案や案内を受けたため	0	0.0
3	同じ境遇にある人が、就学や就労した事例を目にしたため	1	10.0
4	信頼度が高く、話や相談ができる人ができたため	2	20.0
5	なんとなく	0	0.0
6	その他	6	60.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -s)	10	100

問 21 どこ（または誰）に話や相談をしましたか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族、親族	4	40.0
2	友人・知人（対面で会ったことがある）	4	40.0
3	インターネット上の友人（対面で会ったことはない）	0	0.0
4	区役所（福祉事務所、みなと保健所）	5	50.0
5	職業安定所（ハローワーク）	0	0.0
6	港区生活・就労支援センター（麻布地区総合支所2階）	0	0.0
7	港区社会福祉協議会	0	0.0
8	当事者の会・家族会	0	0.0
9	NPO や民間企業等の相談窓口や支援機関（相談窓口や支援機関の職員を含む）	1	10.0
10	インターネットの掲示板やツイッター等のSNS への投稿	1	10.0
11	就労先	1	10.0
12	スクールカウンセラー	0	0.0
13	医療機関	6	60.0
14	その他の人、施設、機関	2	20.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -s)	10	100

問 22 話や相談をした結果、どのような心境変化がありましたか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	今の状態を変えたい気持ちが強くなった	1	10.0
2	あまり変化はなかった	2	20.0
3	全く変化はなかった	2	20.0
4	今の状態を変えたい気持ちが弱くなった	0	0.0
5	他の人や相談窓口等にも相談したいと思った	2	20.0
6	気持ちが楽になった	5	50.0
7	不安が増した	1	10.0
8	これ以上相談したくなくなった	1	10.0
9	相談しても無駄だと感じた	3	30.0
10	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (% \wedge -ス)	10	100

問 23 は、問 19 で「2. 話や相談をしていない」を選択した人が回答。

問 23 相談をしていない（またはしなかった）理由はなんですか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	今の状態から変わりたくないと思ったため	2	16.7
2	相談をする勇気がでなかったため	1	8.3
3	相談できる相手がいなかったため	5	41.7
4	相談相手や相談先がわからなかったため	3	25.0
5	相談する必要性を感じられなかったため	3	25.0
6	今の自分を変えられないと思うため	1	8.3
7	人や社会から自分は必要とされていないと感じるため	1	8.3
8	その他	1	8.3
	無回答	0	0.0
	N (% \wedge -ス)	12	100

問 24 現在の状態について、話や相談をしたいと思えますか。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	とても相談したい	1	4.5
2	ある程度相談したい	13	59.1
3	あまり相談したくない	3	13.6
4	全く相談しようと思わない	4	18.2
	無回答	1	4.5
	N (%^ -ス)	22	100

問 25 と問 26 は、問 24 で「1. とても相談したい」または「2. ある程度相談したい」を選択した人が回答。

問 25 相談相手や相談機関への要望内容を教えてください。(○はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	無料で相談できる	11	78.6
2	親身に聴いてくれる	6	42.9
3	早朝や夜間でも相談できる	1	7.1
4	土日祝日でも相談できる	1	7.1
5	医学的な助言をくれる	5	35.7
6	心理学の専門家がいる	3	21.4
7	精神科医がいる	4	28.6
8	似たような状況であった人が相談者である	3	21.4
9	自分の名前を知られずに相談できる	3	21.4
10	同じ悩みを持つ人と出会える	3	21.4
11	公的機関である	3	21.4
12	NPO 等の民間団体である	1	7.1
13	自宅に相談相手(精神科医や心理学等の専門家等)が来てくれる	0	0.0
14	自宅から近い	3	21.4
15	その他	1	7.1
16	あてはまるものはない	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	14	100

問 26 相談相手や相談機関への希望する相談方法を教えてください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	直接対面しての相談	11	78.6
2	電話での相談	4	28.6
3	メールでの相談	3	21.4
4	チャットまたはメッセージ（LINE 等のアプリによるものを含む）での相談	1	7.1
5	Microsoft Teams やZoom 等のオンラインツールを利用した相談	3	21.4
6	その他	1	7.1
7	あてはまるものはない	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -s)	14	100

問 27 あなたの現在の外出頻度はどのくらいですか？(〇は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	通学や仕事で週5 日以上外出する	0	0.0
2	通学や仕事で週3~4 日外出する	0	0.0
3	遊びや趣味で週3 日以上外出する	0	0.0
4	人付き合いのため、時々外出する	0	0.0
5	通院のため、時々外出する	0	0.0
6	普段は自宅にいるが、自分の趣味に関する用事の時に週1 回程度外出する	3	13.6
7	普段は自宅にいるが、近所のコンビニやスーパー等には出かける	19	86.4
8	同居人以外の方が自宅に居ても居なくても自室からは出るが、自宅からは出ない	0	0.0
9	同居人以外の方が自宅にいない時は自室から出るが、自宅からは出ない	0	0.0
10	自室からほとんど出ない	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -s)	22	100

問 28 は、問 6 で「6 無職（現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない）」を選択した人が回答。

問 28 就学または就労を現在希望していますか？（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	強く希望している	2	9.5
2	希望しているが、就学または就労できる自信がなく悩んでいる	9	42.9
3	自宅での学習または就労であれば希望する	2	9.5
4	希望はしていないが、機会があればしてみたい	6	28.6
5	全く希望していない	2	9.5
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	21	100

問 29 は、問 28 で「1. 強く希望している」「2. 希望しているが、就学または就労できる自信がなく悩んでいる」「3. 自宅での学習または就労であれば希望する」のいずれかを選択した人が回答。

問 29 就学または就労を目指すために、どこに相談をしたいと思いますか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	区役所（福祉事務所、みなと保健所）	1	7.7
2	職業安定所（ハローワーク）	6	46.2
3	港区生活・就労支援センター（麻布地区総合支所2階）	3	23.1
4	港区社会福祉協議会	1	7.7
5	当事者の会・家族会	0	0.0
6	NPOや民間企業等の相談窓口や支援機関（相談窓口や支援機関の職員を含む）	0	0.0
7	就労先	3	23.1
8	医療機関	1	7.7
9	高齢者相談センター（地域包括支援センター）	0	0.0
10	東京都若者総合相談センター	0	0.0
11	東京都ひきこもりサポートネット	0	0.0
12	東京都発達障害者支援センター	0	0.0
13	その他の人、施設、機関	1	7.7
	無回答	4	30.8
	N (%^ -ス)	13	100

問 30 と問 31 は、問 28 で「4. 希望はしていないが、機会があればしてみたい」または、「5. 全く希望していない」を選択した人が回答。

問 30 就学または就労したくない理由はなんですか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	他人と関わるのが苦手なため	2	25.0
2	過去に人間関係で不快な思いをしたため	2	25.0
3	父母等からの期待に応えられる自信がないため	1	12.5
4	受験や就職に失敗し、同じ経験をしたくないため	0	0.0
5	就学または就労しても続けられないと思うため	2	25.0
6	就学または就労をする必要性を感じられないため	2	25.0
7	就学または就労しても、何もできないと思うため	3	37.5
8	希望している就学先や就労先・職種に就けないと思うため	2	25.0
9	就学または就労をしたくても、試験や面接で落ちて就学・就労ができないため	1	12.5
10	なんとなく、特に理由はない	2	25.0
11	その他	1	12.5
	無回答	1	12.5
	N (% [△] -ス)	8	100

問 31 あなたは、問 30 で選択したことを普段から感じますか？（○は1つだけ）

（複数選択している場合は、就学または就労したくない一番の理由を基にお答えください）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	常に感じている	3	37.5
2	時々感じている	2	25.0
3	あまり感じない	2	25.0
4	全く感じない	0	0.0
5	就学または就労の言葉を見たり聞いたりすると感じる	0	0.0
6	その他	0	0.0
	無回答	1	12.5
	N (% [△] -ス)	8	100

問 32 あなたは次のことについて不安を感じる時がありますか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	今どうすればよいかわからず、焦っている不安	6	27.3
2	このままの状態が良いのかという不安	8	36.4
3	生活費等の金銭が底を尽くかもしれない不安	13	59.1
4	知り合いに会うことを考えると不安	4	18.2
5	集団の中に溶け込めるかどうか不安	4	18.2
6	人といると、馬鹿にされたり軽く扱われたりしないか不安	6	27.3
7	周りの人に自分が変な人やおかしな人と思われているのではないかという不安	3	13.6
8	今の状態を変える時に、家族や友人等から変な目で見られるかもしれないという不安	1	4.5
9	人との付き合いがうまくいかないのではないかという不安	5	22.7
10	対面で直接人と会う恐怖心を取り除くことができないのではないかという不安	2	9.1
11	不安を感じたことはない	2	9.1
12	その他	3	13.6
	無回答	2	9.1
	N (% [^] -ス)	22	100

問 33 あなたが自宅でよくしていることをご回答ください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	テレビを見る	11	50.0
2	パソコンを使う	8	36.4
3	携帯電話・スマートフォンを使う	15	68.2
4	電話をする	0	0.0
5	ゲームをする	1	4.5
6	勉強をする	4	18.2
7	本を読む(雑誌や漫画を含む)	5	22.7
8	新聞を読む	2	9.1
9	家事をする	8	36.4
10	育児をする	1	4.5
11	介護・看護をする	1	4.5
12	ラジオを聴く	1	4.5
13	音楽を聴く	3	13.6
14	家の中でできる運動をする	5	22.7
15	特に何もしていない	0	0.0
16	その他	3	13.6
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -ス)	22	100

問 34 あなたが普段利用している通信手段の中で、利用しているものを教えてください。

(○はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	携帯電話での通話 (LINE 等のアプリによる通話を含む)	8	36.4
2	携帯電話でのメール	12	54.5
3	パソコンでのメール	6	27.3
4	チャットまたはメッセージ (LINE 等のアプリによるものを含む)	9	40.9
5	ウェブサイト上の電子掲示板等の閲覧・書き込み	1	4.5
6	ソーシャル・ネットワーキング・サービス (Facebook、インスタグラム等) の閲覧・書き込み	6	27.3
7	ツイッター	3	13.6
8	オンラインゲームのボイスチャット	0	0.0
9	その他	2	9.1
	無回答	1	4.5
	N (% \wedge -s)	22	100

問 35 あなたの交流状況について教えてください。(○はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	近隣住民と挨拶を交わす	8	36.4
2	趣味や遊びのために人と会うことはある	2	9.1
3	家族以外の人と会うことはないが、インターネットやSNS 等を通じて人と交流している	1	4.5
4	民間を含む相談窓口・支援機関との交流がある (働いている職員や、相談窓口や支援機関を通じて知り合った人を含む)	0	0.0
5	家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない	6	27.3
6	家族ともほとんど会話がな	4	18.2
7	通院で医師等と会話を	9	40.9
8	交流状況がわからない	0	0.0
9	その他	3	13.6
	無回答	0	0.0
	N (% \wedge -s)	22	100

問 36 社会交流活動で、あなたが参加したいと感じる交流活動を教えてください。(○はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自分と似たような状態の人が集って話す交流会	3	13.6
2	体を動かすイベント（例：ラジオ体操等）	4	18.2
3	自分と似たような人だけが行きたい時に入れる施設への外出	2	9.1
4	複数人や知らない人との交流はしたくないが、自分の話を聴いてくれる場所等への外出	4	18.2
5	オンラインや仮想空間（メタバース）を活用した交流活動	4	18.2
6	就学や就労に向けた事前学習プログラム	3	13.6
7	体への負担にならないボランティア活動	4	18.2
8	自分の趣味に関するイベント	6	27.3
9	自分の特技を発揮したり披露したりできる場所	2	9.1
10	その他	3	13.6
	無回答	2	9.1
	N（%入 -入）	22	100

問 37 次の中であなたが興味のある資格を教えてください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	パソコン関係(プログラミングやMOS(※)等)	9	40.9
2	法律・法務関係(行政書士、司法書士、弁理士等)	4	18.2
3	外国語関係(英検、TOEIC、中国語検定、ハングル能力検定等)	8	36.4
4	金融関係(ファイナンシャルプランナー、証券アナリスト等)	3	13.6
5	会計・経営・労務関係(日商簿記検定、公認会計士、社会保険労務士等)	5	22.7
6	調理・衛生・飲食関係(調理師・栄養士、食生活アドバイザー等)	3	13.6
7	土木・電気関係(建築施工管理技士・電気工事士等)	1	4.5
8	倉庫関係(フォークリフト運転技能者、ロジスティクスオペレーション等)	0	0.0
9	物流・運輸関係(大型自動車免許、危険物取扱者、通関士等)	0	0.0
10	医療関係(医療事務、看護師、歯科衛生士等)	2	9.1
11	介護・福祉関係(介護福祉士、臨床心理士、保育士等)	4	18.2
12	資格の取得に興味はない	7	31.8
13	その他	2	9.1
	無回答	0	0.0
	N (%^ -入)	22	100

問 38 から問 54 は、問 16 で「2. 同居人」を選択した人が回答。

問 38 問 8 の状態にある同居人とあなたの関係性は、次のうちどれですか？

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	配偶者	19	41.3
2	父	2	4.3
3	母	0	0.0
4	兄	1	2.2
5	弟	2	4.3
6	姉	1	2.2
7	妹	3	6.5
8	子	15	32.6
9	祖父	0	0.0
10	祖母	0	0.0
11	その他親族	1	2.2
12	その他	1	2.2
	無回答	1	2.2
	N (%^ -s)	46	100

問 39 問 8 の状態にある同居人の現在の就学・就労状況を教えてください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	勤めている (正社員)	0	0.0
2	勤めている (契約社員・派遣社員・アルバイト・パートタイム)	0	0.0
3	勤めている (自営業・フリーランス)	0	0.0
4	企業等に在籍しているが、病気や育児休業等のため休職中	0	0.0
5	学生 (予備校生含む)	3	6.5
6	無職 (現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない)	42	91.3
	無回答	1	2.2
	N (%^ -s)	46	100

問 40 問 8 の状態にある同居人が、問 8 の状態になったのは何歳の頃ですか（○は 1 つだけ）。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	15歳未満	3	6.5
2	15歳～19歳	3	6.5
3	20歳～24歳	8	17.4
4	25歳～29歳	8	17.4
5	30歳～34歳	5	10.9
6	35歳～39歳	5	10.9
7	40歳～44歳	4	8.7
8	45歳～49歳	2	4.3
9	50歳～54歳	2	4.3
10	55歳～59歳	2	4.3
11	60歳～64歳	3	6.5
12	65歳～69歳	0	0.0
13	70歳～74歳	0	0.0
14	75歳以上	0	0.0
	無回答	1	2.2
	N (%^ -λ)	46	100

問 41 問8の状態にある同居人が、問8の状態になったと思われるきっかけは何ですか？

(○はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	学生時代のいじめや学校になじめなかった	8	17.4
2	小学校時代、または中学校時代の不登校	6	13.0
3	高校時代の不登校	1	2.2
4	大学・短大・専門学校時代の不登校	3	6.5
5	受験に失敗したこと(中学・高校・大学の各受験)	2	4.3
6	就職活動で就職できず失敗したこと(希望する職種に就職できなかったも含む)	2	4.3
7	就労先(アルバイトやパートタイム含む)で自分が必要とされていると感じなかったこと	4	8.7
8	学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと	13	28.3
9	病気	3	6.5
10	妊娠したこと	2	4.3
11	退職したこと	7	15.2
12	育児に専念することになったこと	2	4.3
13	介護・看護を担うことになったこと	0	0.0
14	新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと	5	10.9
15	その他	10	21.7
16	わからない	3	6.5
	無回答	1	2.2
	N (%^ -ス)	46	100

問 42 問8の状態にある同居人について、誰かに話や相談をしましたか？(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	話や相談をした	22	47.8
2	話や相談をしていない	21	45.7
	無回答	3	6.5
	N (%^ -ス)	46	100

問 43 から問 45 は、問 42 で「1. 話や相談をした」を選択した人が回答。

問 43 話や相談をしたきっかけは何ですか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	同居人の今の状態を変えたいと思ったため	19	86.4
2	家族や友人等から提案や案内を受けたため	2	9.1
3	同居人と同じ境遇にある人が、同居人の状態を変えた事例を目にしたため	1	4.5
4	同居人の今後の将来に不安を感じたため	16	72.7
5	なんとなく	0	0.0
6	その他	0	0.0
	無回答	1	4.5
	N (%^ -ス)	22	100

問 44 どこ（または誰）に話や相談をしましたか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族、親族	10	45.5
2	友人・知人	5	22.7
3	区役所（福祉事務所、みなと保健所）	4	18.2
4	職業安定所（ハローワーク）	0	0.0
5	港区生活・就労支援センター（麻布地区総合支所2階）	1	4.5
6	港区社会福祉協議会	2	9.1
7	当事者の会・家族会	0	0.0
8	NPOや民間企業等の相談窓口や支援機関（相談窓口や支援機関の職員を含む）	2	9.1
9	インターネットの掲示板やツイッター等のSNS への投稿	2	9.1
10	就労先	1	4.5
11	スクールカウンセラー	2	9.1
12	医療機関	9	40.9
13	その他の人、施設、機関	1	4.5
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	22	100

問 45 話や相談をした結果、どのような心境変化がありましたか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	同居人の状態を変えたい気持ちが強くなった	7	31.8
2	あまり変化はなかった	7	31.8
3	全く変化はなかった	1	4.5
4	同居人の状態を変えたい気持ちが弱くなった	0	0.0
5	他の人や相談窓口等にも相談したいと思った	1	4.5
6	気持ちが楽になった	7	31.8
7	不安が増した	2	9.1
8	これ以上相談したくなくなった	1	4.5
9	相談しても無駄だと感じた	5	22.7
10	その他	2	9.1
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	22	100

問 46 は、問 42 で「2. 話や相談をしていない」を選択した人が回答。

問 46 相談をしていない（またはしなかった）理由はなんですか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	今の状況を変えたくないと思ったため	2	9.5
2	相談をする勇気がでなかったため	1	4.8
3	相談できる相手がいなかったため	4	19.0
4	相談相手や相談先がわからなかったため	6	28.6
5	相談する必要性を感じられなかったため	10	47.6
6	相談して助言をもらっても、同居人が変わらないと思ったため	7	33.3
7	その他	3	14.3
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	21	100

問 47 問8の状態にある同居人の外出頻度はどのくらいですか？（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	通学や仕事で週5 日以上外出する	0	0.0
2	通学や仕事で週3~4 日外出する	0	0.0
3	遊びや趣味で週3 日以上外出する	0	0.0
4	人付き合いのため、時々外出する	0	0.0
5	通院のため、時々外出する	0	0.0
6	普段は自宅にいるが、自分の趣味に関する用事の時に週1 回程度外出する	5	10.9
7	普段は自宅にいるが、近所のコンビニやスーパー等には出かける	30	65.2
8	同居人以外の方が自宅に居ても居なくても自室からは出るが、自宅からは出ない	8	17.4
9	同居人以外の方が自宅にいない時は自室から出るが、自宅からは出ない	0	0.0
10	自室からほとんど出ない	3	6.5
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	46	100

問 48 問8の状態にある同居人に対する、今後の不安はありますか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	同居人がこのままの状態が良いのかという不安	28	60.9
2	同居人の生活費等の金銭が底を尽くかもしれない不安	11	23.9
3	同居人の状態を周辺住民や知人に知られないかという不安	0	0.0
4	同居人の状態を変えるための支援を自宅で受ける際、同居人に気づかれたりしないかという不安	0	0.0
5	同居人の状態を変えるための支援を、同居人が受け入れないかもしれない不安	13	28.3
6	同居人が社会的にも家族の中でも孤立してしまうかもしれない不安	13	28.3
7	不安を感じたことはない	11	23.9
8	その他	4	8.7
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	46	100

問 49 問8の状態にある同居人が、自宅をよくしていることを教えてください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	テレビを見る	27	58.7
2	パソコンを使う	19	41.3
3	携帯電話・スマートフォンを使う	31	67.4
4	電話をする	3	6.5
5	ゲームをする	18	39.1
6	勉強をする	7	15.2
7	本を読む(雑誌や漫画を含む)	8	17.4
8	新聞を読む	4	8.7
9	家事をする	17	37.0
10	育児をする	2	4.3
11	介護・看護をする	0	0.0
12	ラジオを聴く	2	4.3
13	音楽を聴く	15	32.6
14	家の中でできる運動をする	10	21.7
15	特に何もしていない	1	2.2
16	その他	3	6.5
	無回答	1	2.2
	N (%への)	46	100

問 50 問8の状態にある同居人の交流状況について教えてください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	近隣住民と挨拶を交わす	6	13.0
2	趣味や遊びのために人と会うことはある	2	4.3
3	家族以外の人と会うことはないが、インターネットやSNS 等を通じて人と交流している	9	19.6
4	民間を含む相談窓口・支援機関との交流がある (働いている職員や、相談窓口や支援機関を通じて知り合った人を含む)	0	0.0
5	家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない	20	43.5
6	家族ともほとんど会話がな	3	6.5
7	通院で医師等と会話を	0	0.0
8	交流状況がわからない	3	6.5
9	その他	2	4.3
	無回答	1	2.2
	N (%^ -ス)	46	100

問 51 問8の状態にある同居人の状態を変えたいと思いますか？(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	変えたいと思う	32	69.6
2	変えたいと思わない	13	28.3
	無回答	1	2.2
	N (%^ -ス)	46	100

問 52 と問 53 は、問 51 で「1. 変えたいと思う」を選択した人が回答。

問 52 問 8 の状態にある同居人を変えるにあたり、相談相手や相談機関への要望内容を教えてください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	無料で相談できる	14	43.8
2	親身に聴いてくれる	12	37.5
3	早朝や夜間でも相談できる	1	3.1
4	土日祝日でも相談できる	9	28.1
5	医学的な助言をくれる	12	37.5
6	心理学の専門家がいる	11	34.4
7	精神科医がいる	11	34.4
8	似たような状況であった人が相談者である	3	9.4
9	自分の名前を知られずに相談できる	5	15.6
10	同じ悩みを持つ人と出会える	2	6.3
11	公的機関である	7	21.9
12	NPO 等の民間団体である	2	6.3
13	自宅に相談相手（精神科医や心理学等の専門家等）が来てくれる	4	12.5
14	自宅から近い	6	18.8
15	その他	1	3.1
16	あてはまるものはない	6	18.8
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	32	100

問 53 問 8 の状態にある同居人を変えるにあたり、相談相手や相談機関へ希望する相談方法を教えてください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	直接対面しての相談	16	50.0
2	電話での相談	8	25.0
3	メールでの相談	7	21.9
4	チャットまたはメッセージ (LINE 等のアプリによるものを含む) での相談	6	18.8
5	Microsoft Teams やZoom 等のオンラインツールを利用した相談	4	12.5
6	その他	3	9.4
7	あてはまるものはない	6	18.8
	無回答	1	3.1
	N (% [^] -s)	32	100

問 54 は、問 51 で「2. 変えたいと思わない」を選択した人が回答。

問 54 変えたいと思わない理由をご回答ください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	変える必要性を感じないため	6	46.2
2	同居人が変わらないと思うため	4	30.8
3	同居人が人との交流や社会復帰を拒んでいるため	3	23.1
4	変えようとした際の、同居人からの反発が恐いため	0	0.0
5	その他	3	23.1
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -s)	13	100

参考（２）ひきこもりの該当者を 65 歳以上に限定した場合の集計

これまでに国が実施したひきこもりに関する実態調査に関連し、本調査回答の内、ひきこもりの該当者を 65 歳以上に限定した回答者の結果を記載する。

問１ あなたの性別をお答えください。（○は１つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性	40	47.6
2	女性	41	48.8
3	その他	0	0.0
	無回答	3	3.6
	N (% [^] -s)	84	100

問２ あなたの年齢をお答えください。（○は１つだけ）

（※令和５年６月１６日現在の年齢をお答えください）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	15歳未満	0	0.0
2	15歳～19歳	0	0.0
3	20歳～24歳	0	0.0
4	25歳～29歳	1	1.2
5	30歳～34歳	0	0.0
6	35歳～39歳	1	1.2
7	40歳～44歳	3	3.6
8	45歳～49歳	3	3.6
9	50歳～54歳	3	3.6
10	55歳～59歳	2	2.4
11	60歳～64歳	6	7.1
12	65歳～69歳	9	10.7
13	70歳～74歳	15	17.9
14	75歳以上	40	47.6
	無回答	1	1.2
	N (% [^] -s)	84	100

問3 現在、あなたと同居している方をお答えください。(〇はいくつでも)

なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	配偶者	33	39.3
2	父	4	4.8
3	母	19	22.6
4	兄	2	2.4
5	弟	1	1.2
6	姉	1	1.2
7	妹	3	3.6
8	子	18	21.4
9	祖父	0	0.0
10	祖母	1	1.2
11	その他親族	6	7.1
12	その他	5	6.0
13	同居している人はいない	23	27.4
	無回答	1	1.2
	N (%への入)	84	100

問4 現在、あなたを含めて何人で同居しているかをお答えください（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	25	29.8
2	2人	33	39.3
3	3人	13	15.5
4	4人	6	7.1
5	5人	3	3.6
6	6人	2	2.4
7	7人	1	1.2
8	8人以上	0	0.0
	無回答	1	1.2
	N (%^ -ス)	84	100

問5 同居者全員の中で、主たる生計維持者はどなたですか？（○は1つだけ）

※生計維持者が複数人いる場合は、一番収入の高い人をご回答ください。

※同世帯か、別世帯かは問いません。

※仕送りで生計を立てている方は、その仕送り主をお答えください。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	あなた自身	63	75.0
2	あなたの配偶者	6	7.1
3	父	0	0.0
4	母	1	1.2
5	子	7	8.3
6	兄弟姉妹	3	3.6
7	その他（貸付等の支援制度の活用を含む）	2	2.4
8	わからない	1	1.2
	無回答	1	1.2
	N (%^ -ス)	84	100

問6 あなたの現在の就学・就労状況をお答えください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	勤めている(正社員)	11	13.1
2	勤めている(契約社員・派遣社員・アルバイト・パートタイム)	5	6.0
3	勤めている(自営業・フリーランス)	5	6.0
4	企業等に在籍しているが、病気や育児休業等のため休職中	0	0.0
5	学生(予備校生含む)	0	0.0
6	無職(現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない)	63	75.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	84	100

問7は、問6で「6. 無職(現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない)」を選択した人が回答。

問7 これまでにアルバイトやパートを含む就労をしたことがありますか。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ある	35	55.6
2	ない	24	38.1
	無回答	4	6.3
	N (%^ -ス)	63	100

問8 あなたを含む同居者の中で、「① 自宅から外出をほとんどしない、または近所のコンビニやスーパー等の販売店、通院・趣味の用事の時のみ外出をする」「② 家族以外の人と直接の会話をしない、または家族以外の人との交流を避けている(①のコンビニやスーパー等の店員、医師・看護師等の医療機関受診時の会話等を除く)」「③ ①から②の状態が6か月以上続いている」の全ての状況に該当する方がいるかお答えください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者はいない	0	0.0
2	該当者がいる	84	100.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	84	100

問9から問12は、問8で「2. 該当者がいる」を選択した人が回答。

問9 問8に該当する方の年齢を選択してください。(○は1つだけ)

(複数人該当する場合は、その状態が一番長い方についてお答えください)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	15歳未満	0	0.0
2	15歳～19歳	0	0.0
3	20歳～24歳	0	0.0
4	25歳～29歳	0	0.0
5	30歳～34歳	0	0.0
6	35歳～39歳	0	0.0
7	40歳～44歳	0	0.0
8	45歳～49歳	0	0.0
9	50歳～54歳	0	0.0
10	55歳～59歳	0	0.0
11	60歳～64歳	0	0.0
12	65歳～69歳	10	11.9
13	70歳～74歳	15	17.9
14	75歳以上	59	70.2
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	84	100

問10 問8に該当する方の性別をお答えください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性	26	31.0
2	女性	57	67.9
3	その他	0	0.0
	無回答	1	1.2
	N (%^ -ス)	84	100

問 11 問8の状態の期間はどのくらいですか？（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6か月～1年未満	7	8.3
2	1年～2年未満	12	14.3
3	2年～3年未満	11	13.1
4	3年～5年未満	18	21.4
5	5年～7年未満	12	14.3
6	7年～10年未満	8	9.5
7	10年～15年未満	7	8.3
8	15年～20年未満	4	4.8
9	20年～25年未満	1	1.2
10	25年～30年未満	0	0.0
11	30年以上	3	3.6
	無回答	1	1.2
	N (%^ -ス)	84	100

問 12 問8の状態になってから医療機関を受診しましたか？（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	受診した	60	71.4
2	受診していない	23	27.4
	無回答	1	1.2
	N (%^ -ス)	84	100

問 13 と問 14 は、問 12 で「1. 受診した」を選択した人が回答。

問 13 どのような理由で受診しましたか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	風邪や新型コロナウイルス感染症等の内科系	13	21.7
2	脱臼や骨折等の整形外科系	10	16.7
3	白内障や緑内障等の眼科系	15	25.0
4	内臓関係の手術等の外科系	6	10.0
5	うつ病や認知症等の精神心療内科系	16	26.7
6	頭部外傷や脳卒中等の脳神経外科系	3	5.0
7	その他	27	45.0
	無回答	1	1.7
	N (%^ -s)	60	100

問 14 現在も通院していますか？（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	通院している	37	61.7
2	通院していない	22	36.7
	無回答	1	1.7
	N (%^ -s)	60	100

問 15 は、問 14 で「2. 通院していない」を選択した人が回答。

問 15 通院していない理由はなんですか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	完治と診断されたため	8	36.4
2	完治と診断されていないが、通院をやめてしまった	2	9.1
3	通院するのが面倒になってしまった	0	0.0
4	通院の交通費や通院費等の金銭的な負担が重いため	0	0.0
5	通院しても状態が良くならなかったため	1	4.5
6	なんとなく	0	0.0
7	その他	11	50.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -s)	22	100

問 16 問8の状態の人は、どなたですか？（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	回答者本人	46	54.8
2	同居人	38	45.2
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	84	100

問 17 から問 37 は、問 16 で「1. 回答者本人」を選択した人が回答。

問 17 問8の状態になったのは何歳の頃ですか。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	15歳未満	0	0.0
2	15歳～19歳	0	0.0
3	20歳～24歳	0	0.0
4	25歳～29歳	0	0.0
5	30歳～34歳	0	0.0
6	35歳～39歳	0	0.0
7	40歳～44歳	0	0.0
8	45歳～49歳	0	0.0
9	50歳～54歳	1	2.2
10	55歳～59歳	2	4.3
11	60歳～64歳	4	8.7
12	65歳～69歳	7	15.2
13	70歳～74歳	7	15.2
14	75歳以上	24	52.2
	無回答	1	2.2
	N (%^ -ス)	46	100

問 18 問8の状態になったきっかけは何ですか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	学生時代のいじめや学校になじめなかった	0	0.0
2	小学校時代、または中学校時代の不登校	0	0.0
3	高校時代の不登校	0	0.0
4	大学・短大・専門学校時代の不登校	0	0.0
5	受験に失敗したこと（中学・高校・大学の各受験）	0	0.0
6	就職活動で就職できず失敗したこと （希望する職種に就職できなかったも含む）	0	0.0
7	就労先（アルバイトやパートタイム含む）で自分が必要とされていると感じなかったこと	0	0.0
8	学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと	0	0.0
9	病気	4	8.7
10	妊娠したこと	0	0.0
11	退職したこと	8	17.4
12	育児に専念することになったこと	0	0.0
13	介護・看護を担うことになったこと	1	2.2
14	新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと	10	21.7
15	その他	16	34.8
16	なんとなく	7	15.2
17	わからない・思い出せない	4	8.7
18	回答したくない・思い出したくない	1	2.2
	無回答	0	0.0
	N（% [^] -ス）	46	100

問 19 問8の状態を誰かに話や相談をしましたか？（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	話や相談をした	16	34.8
2	話や相談をしていない	29	63.0
	無回答	1	2.2
	N（% [^] -ス）	46	100

問 20 から問 22 は、問 19 で「1. 話や相談をした」を選択した人が回答。

問 20 話や相談をしたきっかけは何ですか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	今の状態を変えたいと思ったため	0	0.0
2	家族や友人等から提案や案内を受けたため	6	37.5
3	同じ境遇にある人が、就学や就労した事例を目にしたため	0	0.0
4	信頼度が高く、話や相談ができる人ができたため	2	12.5
5	なんとなく	2	12.5
6	その他	4	25.0
	無回答	2	12.5
	N (%^ -s)	16	100

問 21 どこ（または誰）に話や相談をしましたか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族、親族	6	37.5
2	友人・知人（対面で会ったことがある）	0	0.0
3	インターネット上の友人（対面で会ったことはない）	0	0.0
4	区役所（福祉事務所、みなと保健所）	4	25.0
5	職業安定所（ハローワーク）	0	0.0
6	港区生活・就労支援センター（麻布地区総合支所2階）	0	0.0
7	港区社会福祉協議会	0	0.0
8	当事者の会・家族会	0	0.0
9	NPO や民間企業等の相談窓口や支援機関（相談窓口や支援機関の職員を含む）	0	0.0
10	インターネットの掲示板やツイッター等のSNS への投稿	0	0.0
11	就労先	0	0.0
12	スクールカウンセラー	0	0.0
13	医療機関	5	31.3
14	その他の人、施設、機関	3	18.8
	無回答	0	0.0
	N (%^ -s)	16	100

問 22 話や相談をした結果、どのような心境変化がありましたか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	今の状態を変えたい気持ちが強くなった	0	0.0
2	あまり変化はなかった	0	0.0
3	全く変化はなかった	3	18.8
4	今の状態を変えたい気持ちが弱くなった	0	0.0
5	他の人や相談窓口等にも相談したいと思った	0	0.0
6	気持ちが楽になった	6	37.5
7	不安が増した	1	6.3
8	これ以上相談したくなくなった	0	0.0
9	相談しても無駄だと感じた	1	6.3
10	その他	5	31.3
	無回答	0	0.0
	N (% \wedge -ス)	16	100

問 23 は、問 19 で「2. 話や相談をしていない」を選択した人が回答。

問 23 相談をしていない（またはしなかった）理由はなんですか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	今の状態から変わりたくないと思ったため	3	10.3
2	相談をする勇気がでなかったため	1	3.4
3	相談できる相手がいなかったため	0	0.0
4	相談相手や相談先がわからなかったため	0	0.0
5	相談する必要性を感じられなかったため	18	62.1
6	今の自分を変えられないと思うため	3	10.3
7	人や社会から自分は必要とされていないと感じるため	0	0.0
8	その他	6	20.7
	無回答	2	6.9
	N (% \wedge -ス)	29	100

問 24 現在の状態について、話や相談をしたいと思えますか。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	とても相談したい	0	0.0
2	ある程度相談したい	4	8.7
3	あまり相談したくない	10	21.7
4	全く相談しようと思わない	28	60.9
	無回答	4	8.7
	N (%^ -ス)	46	100

問 25 と問 26 は、問 24 で「1. とても相談したい」または「2. ある程度相談したい」を選択した人が回答。

問 25 相談相手や相談機関への要望内容を教えてください。(○はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	無料で相談できる	1	25.0
2	親身に聴いてくれる	1	25.0
3	早朝や夜間でも相談できる	0	0.0
4	土日祝日でも相談できる	0	0.0
5	医学的な助言をくれる	1	25.0
6	心理学の専門家がいる	0	0.0
7	精神科医がいる	0	0.0
8	似たような状況であった人が相談者である	0	0.0
9	自分の名前を知られずに相談できる	1	25.0
10	同じ悩みを持つ人と出会える	0	0.0
11	公的機関である	1	25.0
12	NPO 等の民間団体である	0	0.0
13	自宅に相談相手(精神科医や心理学等の専門家等)が来てくれる	0	0.0
14	自宅から近い	1	25.0
15	その他	1	25.0
16	あてはまるものはない	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	4	100

問 26 相談相手や相談機関への希望する相談方法を教えてください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	直接対面しての相談	3	75.0
2	電話での相談	0	0.0
3	メールでの相談	0	0.0
4	チャットまたはメッセージ（LINE 等のアプリによるものを含む）での相談	0	0.0
5	Microsoft Teams やZoom 等のオンラインツールを利用した相談	0	0.0
6	その他	1	25.0
7	あてはまるものはない	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -s)	4	100

問 27 あなたの現在の外出頻度はどのくらいですか？(〇は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	通学や仕事で週5 日以上外出する	0	0.0
2	通学や仕事で週3~4 日外出する	0	0.0
3	遊びや趣味で週3 日以上外出する	0	0.0
4	人付き合いのため、時々外出する	0	0.0
5	通院のため、時々外出する	0	0.0
6	普段は自宅にいるが、自分の趣味に関する用事の時に週1 回程度外出する	5	10.9
7	普段は自宅にいるが、近所のコンビニやスーパー等には出かける	25	54.3
8	同居人以外の方が自宅に居ても居なくても自室からは出るが、自宅からは出ない	5	10.9
9	同居人以外の方が自宅にいない時は自室から出るが、自宅からは出ない	1	2.2
10	自室からほとんど出ない	10	21.7
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -s)	46	100

問 28 は、問 6 で「6 無職（現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない）」を選択した人が回答。

問 28 就学または就労を現在希望していますか？（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	強く希望している	0	0.0
2	希望しているが、就学または就労できる自信がなく悩んでいる	0	0.0
3	自宅での学習または就労であれば希望する	1	2.2
4	希望はしていないが、機会があればしてみたい	6	13.0
5	全く希望していない	34	73.9
	無回答	5	10.9
	N (%^ -ス)	46	100

問 29 は、問 28 で「1. 強く希望している」「2. 希望しているが、就学または就労できる自信がなく悩んでいる」「3. 自宅での学習または就労であれば希望する」のいずれかを選択した人が回答。

問 29 就学または就労を目指すために、どこに相談をしたいと思いますか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	区役所（福祉事務所、みなと保健所）	0	0.0
2	職業安定所（ハローワーク）	1	100.0
3	港区生活・就労支援センター（麻布地区総合支所2階）	0	0.0
4	港区社会福祉協議会	0	0.0
5	当事者の会・家族会	0	0.0
6	NPO や民間企業等の相談窓口や支援機関（相談窓口や支援機関の職員を含む）	0	0.0
7	就労先	0	0.0
8	医療機関	0	0.0
9	高齢者相談センター（地域包括支援センター）	0	0.0
10	東京都若者総合相談センター	0	0.0
11	東京都ひきこもりサポートネット	0	0.0
12	東京都発達障害者支援センター	0	0.0
13	その他の人、施設、機関	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	1	100

問 30 と問 31 は、問 28 で「4. 希望はしていないが、機会があればしてみたい」または、「5. 全く希望していない」を選択した人が回答。

問 30 就学または就労したくない理由はなんですか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	他人と関わるのが苦手なため	1	2.5
2	過去に人間関係で不快な思いをしたため	0	0.0
3	父母等からの期待に応えられる自信がないため	0	0.0
4	受験や就職に失敗し、同じ経験をしたくないため	0	0.0
5	就学または就労しても続けられないと思うため	0	0.0
6	就学または就労をする必要性を感じられないため	2	5.0
7	就学または就労しても、何もできないと思うため	2	5.0
8	希望している就学先や就労先・職種に就けないと思うため	1	2.5
9	就学または就労をしたくても、試験や面接で落ちて就学・就労ができないため	1	2.5
10	なんとなく、特に理由はない	7	17.5
11	その他	25	62.5
	無回答	4	10.0
	N (% [^] -ス)	40	100

問 31 あなたは、問 30 で選択したことを普段から感じますか？（○は1つだけ）

（複数選択している場合は、就学または就労したくない一番の理由を基にお答えください）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	常にかけている	4	10.0
2	時々かけている	2	5.0
3	あまり感じない	5	12.5
4	全く感じない	12	30.0
5	就学または就労の言葉を見たり聞いたりすると感じる	0	0.0
6	その他	3	7.5
	無回答	14	35.0
	N (% [^] -ス)	40	100

問 32 あなたは次のことについて不安を感じる時がありますか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	今どうすればよいかわからず、焦っている不安	1	2.2
2	このままの状態が良いのかという不安	7	15.2
3	生活費等の金銭が底を尽くかもしれない不安	8	17.4
4	知り合いに会うことを考えると不安	2	4.3
5	集団の中に溶け込めるかどうか不安	3	6.5
6	人といると、馬鹿にされたり軽く扱われたりしないか不安	1	2.2
7	周りの人に自分が変な人やおかしな人と思われているのではないかという不安	1	2.2
8	今の状態を変える時に、家族や友人等から変な目で見られるかもしれないという不安	0	0.0
9	人との付き合いがうまくいかないのではないかという不安	3	6.5
10	対面で直接人と会う恐怖心を取り除くことができないのではないかという不安	0	0.0
11	不安を感じたことはない	25	54.3
12	その他	5	10.9
	無回答	4	8.7
	N (%^ -ス)	46	100

問 33 あなたが自宅でよくしていることをご回答ください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	テレビを見る	38	82.6
2	パソコンを使う	14	30.4
3	携帯電話・スマートフォンを使う	15	32.6
4	電話をする	3	6.5
5	ゲームをする	5	10.9
6	勉強をする	3	6.5
7	本を読む(雑誌や漫画を含む)	17	37.0
8	新聞を読む	16	34.8
9	家事をする	6	13.0
10	育児をする	0	0.0
11	介護・看護をする	0	0.0
12	ラジオを聴く	6	13.0
13	音楽を聴く	11	23.9
14	家の中でできる運動をする	7	15.2
15	特に何もしていない	2	4.3
16	その他	3	6.5
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -ス)	46	100

問 34 あなたが普段利用している通信手段の中で、利用しているものを教えてください。

(○はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	携帯電話での通話 (LINE 等のアプリによる通話を含む)	22	47.8
2	携帯電話でのメール	15	32.6
3	パソコンでのメール	9	19.6
4	チャットまたはメッセージ (LINE 等のアプリによるものを含む)	2	4.3
5	ウェブサイト上の電子掲示板等の閲覧・書き込み	2	4.3
6	ソーシャル・ネットワーキング・サービス (Facebook、インスタグラム等) の閲覧・書き込み	1	2.2
7	ツイッター	0	0.0
8	オンラインゲームのボイスチャット	0	0.0
9	その他	8	17.4
	無回答	10	21.7
	N (%^ -ス)	46	100

問 35 あなたの交流状況について教えてください。(○はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	近隣住民と挨拶を交わす	15	32.6
2	趣味や遊びのために人と会うことはある	9	19.6
3	家族以外の人と会うことはないが、インターネットやSNS 等を通じて人と交流している	4	8.7
4	民間を含む相談窓口・支援機関との交流がある (働いている職員や、相談窓口や支援機関を通じて知り合った人を含む)	2	4.3
5	家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない	17	37.0
6	家族ともほとんど会話がな	7	15.2
7	通院で医師等と会話を	14	30.4
8	交流状況がわからない	0	0.0
9	その他	4	8.7
	無回答	1	2.2
	N (%^ -ス)	46	100

問 36 社会交流活動で、あなたが参加したいと感じる交流活動を教えてください。(○はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自分と似たような状態の人が集って話す交流会	3	6.5
2	体を動かすイベント(例:ラジオ体操等)	9	19.6
3	自分と似たような人だけが行きたい時に入れる施設への外出	1	2.2
4	複数人や知らない人との交流はしたくないが、自分の話を聴いてくれる場所等への外出	1	2.2
5	オンラインや仮想空間(メタバース)を活用した交流活動	0	0.0
6	就学や就労に向けた事前学習プログラム	1	2.2
7	体への負担にならないボランティア活動	2	4.3
8	自分の趣味に関するイベント	6	13.0
9	自分の特技を発揮したり披露したりできる場所	3	6.5
10	その他	15	32.6
	無回答	14	30.4
	N (%^ -ス)	46	100

問 37 次の中であなたが興味のある資格を教えてください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	パソコン関係(プログラミングやMOS(※)等)	1	2.2
2	法律・法務関係(行政書士、司法書士、弁理士等)	1	2.2
3	外国語関係(英検、TOEIC、中国語検定、ハングル能力検定等)	1	2.2
4	金融関係(ファイナンシャルプランナー、証券アナリスト等)	1	2.2
5	会計・経営・労務関係(日商簿記検定、公認会計士、社会保険労務士等)	2	4.3
6	調理・衛生・飲食関係(調理師・栄養士、食生活アドバイザー等)	1	2.2
7	土木・電気関係(建築施工管理技士・電気工事士等)	0	0.0
8	倉庫関係(フォークリフト運転技能者、ロジスティクスオペレーション等)	0	0.0
9	物流・運輸関係(大型自動車免許、危険物取扱者、通関士等)	0	0.0
10	医療関係(医療事務、看護師、歯科衛生士等)	0	0.0
11	介護・福祉関係(介護福祉士、臨床心理士、保育士等)	0	0.0
12	資格の取得に興味はない	29	63.0
13	その他	6	13.0
	無回答	8	17.4
	N (%^ -ス)	46	100

問 38 から問 54 は、問 16 で「2. 同居人」を選択した人が回答。

問 38 問 8 の状態にある同居人とあなたの関係性は、次のうちどれですか？

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	配偶者	13	34.2
2	父	3	7.9
3	母	18	47.4
4	兄	0	0.0
5	弟	0	0.0
6	姉	0	0.0
7	妹	0	0.0
8	子	0	0.0
9	祖父	0	0.0
10	祖母	1	2.6
11	その他親族	1	2.6
12	その他	1	2.6
	無回答	1	2.6
	N (%^ -s)	38	100

問 39 問 8 の状態にある同居人の現在の就学・就労状況を教えてください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	勤めている (正社員)	0	0.0
2	勤めている (契約社員・派遣社員・アルバイト・パートタイム)	0	0.0
3	勤めている (自営業・フリーランス)	0	0.0
4	企業等に在籍しているが、病気や育児休業等のため休職中	0	0.0
5	学生 (予備校生含む)	0	0.0
6	無職 (現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない)	38	100.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -s)	38	100

問 40 問 8 の状態にある同居人が、問 8 の状態になったのは何歳の頃ですか（○は 1 つだけ）。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	15歳未満	0	0.0
2	15歳～19歳	0	0.0
3	20歳～24歳	0	0.0
4	25歳～29歳	0	0.0
5	30歳～34歳	0	0.0
6	35歳～39歳	1	2.6
7	40歳～44歳	0	0.0
8	45歳～49歳	1	2.6
9	50歳～54歳	0	0.0
10	55歳～59歳	1	2.6
11	60歳～64歳	3	7.9
12	65歳～69歳	5	13.2
13	70歳～74歳	5	13.2
14	75歳以上	22	57.9
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -λ)	38	100

問 41 問8の状態にある同居人が、問8の状態になったと思われるきっかけは何ですか？

(○はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	学生時代のいじめや学校になじめなかった	0	0.0
2	小学校時代、または中学校時代の不登校	0	0.0
3	高校時代の不登校	0	0.0
4	大学・短大・専門学校時代の不登校	0	0.0
5	受験に失敗したこと(中学・高校・大学の各受験)	0	0.0
6	就職活動で就職できず失敗したこと (希望する職種に就職できなかったも含む)	0	0.0
7	就労先(アルバイトやパートタイム含む)で自分が必要とされていると感じなかったこと	0	0.0
8	学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと	0	0.0
9	病気	4	10.5
10	妊娠したこと	0	0.0
11	退職したこと	5	13.2
12	育児に専念することになったこと	1	2.6
13	介護・看護を担うことになったこと	1	2.6
14	新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと	7	18.4
15	その他	19	50.0
16	わからない	5	13.2
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -s)	38	100

問 42 問8の状態にある同居人について、誰かに話や相談をしましたか？(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	話や相談をした	21	55.3
2	話や相談をしていない	17	44.7
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -s)	38	100

問 43 から問 45 は、問 42 で「1. 話や相談をした」を選択した人が回答。

問 43 話や相談をしたきっかけは何ですか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	同居人の今の状態を変えたいと思ったため	12	57.1
2	家族や友人等から提案や案内を受けたため	2	9.5
3	同居人と同じ境遇にある人が、同居人の状態を変えた事例を目にしたため	0	0.0
4	同居人の今後の将来に不安を感じたため	9	42.9
5	なんとなく	1	4.8
6	その他	2	9.5
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	21	100

問 44 どこ（または誰）に話や相談をしましたか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族、親族	15	71.4
2	友人・知人	5	23.8
3	区役所（福祉事務所、みなと保健所）	4	19.0
4	職業安定所（ハローワーク）	0	0.0
5	港区生活・就労支援センター（麻布地区総合支所2階）	1	4.8
6	港区社会福祉協議会	1	4.8
7	当事者の会・家族会	0	0.0
8	NPOや民間企業等の相談窓口や支援機関（相談窓口や支援機関の職員を含む）	0	0.0
9	インターネットの掲示板やツイッター等のSNS への投稿	0	0.0
10	就労先	0	0.0
11	スクールカウンセラー	0	0.0
12	医療機関	12	57.1
13	その他の人、施設、機関	3	14.3
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	21	100

問 45 話や相談をした結果、どのような心境変化がありましたか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	同居人の状態を変えたい気持ちが強くなった	3	14.3
2	あまり変化はなかった	8	38.1
3	全く変化はなかった	2	9.5
4	同居人の状態を変えたい気持ちが弱くなった	2	9.5
5	他の人や相談窓口等にも相談したいと思った	1	4.8
6	気持ちが楽になった	4	19.0
7	不安が増した	0	0.0
8	これ以上相談したくなくなった	0	0.0
9	相談しても無駄だと感じた	4	19.0
10	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -s)	21	100

問 46 は、問 42 で「2. 話や相談をしていない」を選択した人が回答。

問 46 相談をしていない（またはしなかった）理由はなんですか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	今の状況を変えたくないと思ったため	0	0.0
2	相談をする勇気がでなかったため	0	0.0
3	相談できる相手がいなかったため	2	11.8
4	相談相手や相談先がわからなかったため	2	11.8
5	相談する必要性を感じられなかったため	9	52.9
6	相談して助言をもらっても、同居人が変わらないと思ったため	5	29.4
7	その他	3	17.6
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -s)	17	100

問 47 問8の状態にある同居人の外出頻度はどのくらいですか？（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	通学や仕事で週5 日以上外出する	0	0.0
2	通学や仕事で週3~4 日外出する	0	0.0
3	遊びや趣味で週3 日以上外出する	0	0.0
4	人付き合いのため、時々外出する	0	0.0
5	通院のため、時々外出する	0	0.0
6	普段は自宅にいるが、自分の趣味に関する用事の時に週1回程度外出する	3	7.9
7	普段は自宅にいるが、近所のコンビニやスーパー等には出かける	16	42.1
8	同居人以外の方が自宅に居ても居なくても自室からは出るが、自宅からは出ない	8	21.1
9	同居人以外の方が自宅にいない時は自室から出るが、自宅からは出ない	2	5.3
10	自室からほとんど出ない	9	23.7
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	38	100

問 48 問8の状態にある同居人に対する、今後の不安はありますか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	同居人がこのままの状態が良いのかという不安	16	42.1
2	同居人の生活費等の金銭が底を尽くかもしれない不安	5	13.2
3	同居人の状態を周辺住民や知人に知られないかという不安	1	2.6
4	同居人の状態を変えるための支援を自宅で受ける際、同居人に気づかれたりしないかという不安	1	2.6
5	同居人の状態を変えるための支援を、同居人が受け入れないかもしれない不安	9	23.7
6	同居人が社会的にも家族の中でも孤立してしまうかもしれない不安	0	0.0
7	不安を感じたことはない	13	34.2
8	その他	4	10.5
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	38	100

問 49 問8の状態にある同居人が、自宅をよくしていることを教えてください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	テレビを見る	28	73.7
2	パソコンを使う	2	5.3
3	携帯電話・スマートフォンを使う	7	18.4
4	電話をする	4	10.5
5	ゲームをする	2	5.3
6	勉強をする	0	0.0
7	本を読む(雑誌や漫画を含む)	6	15.8
8	新聞を読む	10	26.3
9	家事をする	7	18.4
10	育児をする	1	2.6
11	介護・看護をする	0	0.0
12	ラジオを聴く	1	2.6
13	音楽を聴く	2	5.3
14	家の中でできる運動をする	3	7.9
15	特に何もしていない	3	7.9
16	その他	3	7.9
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -ス)	38	100

問 50 問8の状態にある同居人の交流状況について教えてください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	近隣住民と挨拶を交わす	6	15.8
2	趣味や遊びのために人と会うことはある	2	5.3
3	家族以外の人と会うことはないが、インターネットやSNS 等を通じて人と交流している	2	5.3
4	民間を含む相談窓口・支援機関との交流がある (働いている職員や、相談窓口や支援機関を通じて知り合った人を含む)	1	2.6
5	家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない	13	34.2
6	家族ともほとんど会話がな	5	13.2
7	通院で医師等と会話を	3	7.9
8	交流状況がわからない	1	2.6
9	その他	4	10.5
	無回答	1	2.6
	N (%^ -ス)	38	100

問 51 問8の状態にある同居人の状態を変えたいと思いますか？(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	変えたいと思う	17	44.7
2	変えたいと思わない	19	50.0
	無回答	2	5.3
	N (%^ -ス)	38	100

問 52 と問 53 は、問 51 で「1. 変えたいと思う」を選択した人が回答。

問 52 問 8 の状態にある同居人を変えるにあたり、相談相手や相談機関への要望内容を教えてください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	無料で相談できる	8	47.1
2	親身に聴いてくれる	5	29.4
3	早朝や夜間でも相談できる	3	17.6
4	土日祝日でも相談できる	3	17.6
5	医学的な助言をくれる	9	52.9
6	心理学の専門家がいる	1	5.9
7	精神科医がいる	5	29.4
8	似たような状況であった人が相談者である	0	0.0
9	自分の名前を知られずに相談できる	1	5.9
10	同じ悩みを持つ人と出会える	1	5.9
11	公的機関である	4	23.5
12	NPO 等の民間団体である	0	0.0
13	自宅に相談相手（精神科医や心理学等の専門家等）が来てくれる	1	5.9
14	自宅から近い	2	11.8
15	その他	1	5.9
16	あてはまるものはない	3	17.6
	無回答	0	0.0
	N (%^ -s)	17	100

問 53 問 8 の状態にある同居人を変えるにあたり、相談相手や相談機関へ希望する相談方法を教えてください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	直接対面しての相談	10	58.8
2	電話での相談	4	23.5
3	メールでの相談	2	11.8
4	チャットまたはメッセージ (LINE 等のアプリによるものを含む) での相談	2	11.8
5	Microsoft Teams やZoom 等のオンラインツールを利用した相談	1	5.9
6	その他	0	0.0
7	あてはまるものはない	4	23.5
	無回答	1	5.9
	N (%^ -ス)	17	100

問 54 は、問 51 で「2. 変えたいと思わない」を選択した人が回答。

問 54 変えたいと思わない理由をご回答ください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	変える必要性を感じないため	9	47.4
2	同居人が変わらないと思うため	10	52.6
3	同居人が人との交流や社会復帰を拒んでいるため	0	0.0
4	変えようとした際の、同居人からの反発が恐いため	0	0.0
5	その他	3	15.8
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	19	100

参考（3）ひきこもりの該当者を70歳以上に限定した場合の集計

これまでに国が実施したひきこもりに関する実態調査では対象ではなかったものの、本調査回答では回答率が高かった70歳以上のひきこもりの該当者に限定した回答結果を記載する。

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性	34	45.9
2	女性	37	50.0
3	その他	0	0.0
	無回答	3	4.1
	N (% [^] -s)	74	100

問2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つだけ)

(※令和5年6月16日現在の年齢をお答えください)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	15歳未満	0	0.0
2	15歳～19歳	0	0.0
3	20歳～24歳	0	0.0
4	25歳～29歳	1	1.4
5	30歳～34歳	0	0.0
6	35歳～39歳	1	1.4
7	40歳～44歳	2	2.7
8	45歳～49歳	2	2.7
9	50歳～54歳	3	4.1
10	55歳～59歳	2	2.7
11	60歳～64歳	6	8.1
12	65歳～69歳	2	2.7
13	70歳～74歳	15	20.3
14	75歳以上	39	52.7
	無回答	1	1.4
	N (% [^] -s)	74	100

問3 現在、あなたと同居している方をお答えください。(〇はいくつでも)

なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	配偶者	28	37.8
2	父	4	5.4
3	母	18	24.3
4	兄	2	2.7
5	弟	0	0.0
6	姉	1	1.4
7	妹	3	4.1
8	子	15	20.3
9	祖父	0	0.0
10	祖母	1	1.4
11	その他親族	4	5.4
12	その他	5	6.8
13	同居している人はいない	20	27.0
	無回答	1	1.4
	N (%^ -ス)	74	100

問4 現在、あなたを含めて何人で同居しているかをお答えください（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	22	29.7
2	2人	30	40.5
3	3人	12	16.2
4	4人	4	5.4
5	5人	2	2.7
6	6人	2	2.7
7	7人	1	1.4
8	8人以上	0	0.0
	無回答	1	1.4
	N (%^ -ス)	74	100

問5 同居者全員の中で、主たる生計維持者はどなたですか？（○は1つだけ）

※生計維持者が複数人いる場合は、一番収入の高い人をご回答ください。

※同世帯か、別世帯かは問いません。

※仕送りで生計を立てている方は、その仕送り主をお答えください。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	あなた自身	55	74.3
2	あなたの配偶者	5	6.8
3	父	0	0.0
4	母	1	1.4
5	子	6	8.1
6	兄弟姉妹	3	4.1
7	その他（貸付等の支援制度の活用を含む）	2	2.7
8	わからない	1	1.4
	無回答	1	1.4
	N (%^ -ス)	74	100

問6 あなたの現在の就学・就労状況をお答えください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	勤めている(正社員)	9	12.2
2	勤めている(契約社員・派遣社員・アルバイト・パートタイム)	4	5.4
3	勤めている(自営業・フリーランス)	5	6.8
4	企業等に在籍しているが、病気や育児休業等のため休職中	0	0.0
5	学生(予備校生含む)	0	0.0
6	無職(現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない)	56	75.7
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	74	100

問7は、問6で「6. 無職(現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない)」を選択した人が回答。

問7 これまでにアルバイトやパートを含む就労をしたことがありますか。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ある	30	53.6
2	ない	22	39.3
	無回答	4	7.1
	N (%^ -ス)	56	100

問8 あなたを含む同居者の中で、「① 自宅から外出をほとんどしない、または近所のコンビニやスーパー等の販売店、通院・趣味の用事の時のみ外出をする」「② 家族以外の人と直接の会話をしない、または家族以外の人との交流を避けている(①のコンビニやスーパー等の店員、医師・看護師等の医療機関受診時の会話等を除く)」「③ ①から②の状態が6か月以上続いている」の全ての状況に該当する方がいるかお答えください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者はいない	0	0.0
2	該当者がいる	74	100.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	74	100

問9から問12は、問8で「2. 該当者がいる」を選択した人が回答。

問9 問8に該当する方の年齢を選択してください。(○は1つだけ)

(複数人該当する場合は、その状態が一番長い方についてお答えください)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	15歳未満	0	0.0
2	15歳～19歳	0	0.0
3	20歳～24歳	0	0.0
4	25歳～29歳	0	0.0
5	30歳～34歳	0	0.0
6	35歳～39歳	0	0.0
7	40歳～44歳	0	0.0
8	45歳～49歳	0	0.0
9	50歳～54歳	0	0.0
10	55歳～59歳	0	0.0
11	60歳～64歳	0	0.0
12	65歳～69歳	0	0.0
13	70歳～74歳	15	20.3
14	75歳以上	59	79.7
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	74	100

問10 問8に該当する方の性別をお答えください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性	22	29.7
2	女性	51	68.9
3	その他	0	0.0
	無回答	1	1.4
	N (%^ -ス)	74	100

問11 問8の状態の期間はどのくらいですか？（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6か月～1年未満	6	8.1
2	1年～2年未満	10	13.5
3	2年～3年未満	9	12.2
4	3年～5年未満	16	21.6
5	5年～7年未満	11	14.9
6	7年～10年未満	8	10.8
7	10年～15年未満	6	8.1
8	15年～20年未満	4	5.4
9	20年～25年未満	1	1.4
10	25年～30年未満	0	0.0
11	30年以上	3	4.1
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	74	100

問12 問8の状態になってから医療機関を受診しましたか？（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	受診した	53	71.6
2	受診していない	20	27.0
	無回答	1	1.4
	N (%^ -ス)	74	100

問 13 と問 14 は、問 12 で「1. 受診した」を選択した人が回答。

問 13 どのような理由で受診しましたか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	風邪や新型コロナウイルス感染症等の内科系	13	24.5
2	脱臼や骨折等の整形外科系	8	15.1
3	白内障や緑内障等の眼科系	12	22.6
4	内臓関係の手術等の外科系	5	9.4
5	うつ病や認知症等の精神心療内科系	14	26.4
6	頭部外傷や脳卒中等の脳神経外科系	3	5.7
7	その他	23	43.4
	無回答	1	1.9
	N (%^ -ス)	53	100

問 14 現在も通院していますか？（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	通院している	30	56.6
2	通院していない	22	41.5
	無回答	1	1.9
	N (%^ -ス)	53	100

問 15 は、問 14 で「2. 通院していない」を選択した人が回答。

問 15 通院していない理由はなんですか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	完治と診断されたため	8	36.4
2	完治と診断されていないが、通院をやめてしまった	2	9.1
3	通院するのが面倒になってしまった	0	0.0
4	通院の交通費や通院費等の金銭的な負担が重いため	0	0.0
5	通院しても状態が良くならなかったため	1	4.5
6	なんとなく	0	0.0
7	その他	11	50.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	22	100

問 16 問 8 の状態の人は、どなたですか？（○は 1 つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	回答者本人	39	52.7
2	同居人	35	47.3
	無回答	0	0.0
	N (% [^] - λ)	74	100

問 17 から問 37 は、問 16 で「1. 回答者本人」を選択した人が回答。

問 17 問 8 の状態になったのは何歳の頃ですか。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	15歳未満	0	0.0
2	15歳～19歳	0	0.0
3	20歳～24歳	0	0.0
4	25歳～29歳	0	0.0
5	30歳～34歳	0	0.0
6	35歳～39歳	0	0.0
7	40歳～44歳	0	0.0
8	45歳～49歳	0	0.0
9	50歳～54歳	1	2.6
10	55歳～59歳	1	2.6
11	60歳～64歳	1	2.6
12	65歳～69歳	4	10.3
13	70歳～74歳	7	17.9
14	75歳以上	24	61.5
	無回答	1	2.6
	N (% [^] - λ)	39	100

問 18 問8の状態になったきっかけは何ですか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	学生時代のいじめや学校になじめなかった	0	0.0
2	小学校時代、または中学校時代の不登校	0	0.0
3	高校時代の不登校	0	0.0
4	大学・短大・専門学校時代の不登校	0	0.0
5	受験に失敗したこと（中学・高校・大学の各受験）	0	0.0
6	就職活動で就職できず失敗したこと （希望する職種に就職できなかったも含む）	0	0.0
7	就労先（アルバイトやパートタイム含む）で自分が必要とされていると感じなかったこと	0	0.0
8	学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと	0	0.0
9	病気	4	10.3
10	妊娠したこと	0	0.0
11	退職したこと	4	10.3
12	育児に専念することになったこと	0	0.0
13	介護・看護を担うことになったこと	1	2.6
14	新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと	9	23.1
15	その他	15	38.5
16	なんとなく	6	15.4
17	わからない・思い出せない	4	10.3
18	回答したくない・思い出したくない	1	2.6
	無回答	0	0.0
	N（% [^] -ス）	39	100

問 19 問8の状態を誰かに話や相談をしましたか？（〇は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	話や相談をした	16	41.0
2	話や相談をしていない	22	56.4
	無回答	1	2.6
	N（% [^] -ス）	39	100

問 20 から問 22 は、問 19 で「1. 話や相談をした」を選択した人が回答。

問 20 話や相談をしたきっかけは何ですか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	今の状態を変えたいと思ったため	0	0.0
2	家族や友人等から提案や案内を受けたため	6	37.5
3	同じ境遇にある人が、就学や就労した事例を目にしたため	0	0.0
4	信頼度が高く、話や相談ができる人ができたため	2	12.5
5	なんとなく	2	12.5
6	その他	4	25.0
	無回答	2	12.5
	N (%^ -s)	16	100

問 21 どこ（または誰）に話や相談をしましたか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族、親族	6	37.5
2	友人・知人（対面で会ったことがある）	0	0.0
3	インターネット上の友人（対面で会ったことはない）	0	0.0
4	区役所（福祉事務所、みなと保健所）	4	25.0
5	職業安定所（ハローワーク）	0	0.0
6	港区生活・就労支援センター（麻布地区総合支所2階）	0	0.0
7	港区社会福祉協議会	0	0.0
8	当事者の会・家族会	0	0.0
9	NPOや民間企業等の相談窓口や支援機関（相談窓口や支援機関の職員を含む）	0	0.0
10	インターネットの掲示板やツイッター等のSNS への投稿	0	0.0
11	就労先	0	0.0
12	スクールカウンセラー	0	0.0
13	医療機関	5	31.3
14	その他の人、施設、機関	3	18.8
	無回答	0	0.0
	N (%^ -s)	16	100

問 22 話や相談をした結果、どのような心境変化がありましたか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	今の状態を変えたい気持ちが強くなった	0	0.0
2	あまり変化はなかった	0	0.0
3	全く変化はなかった	3	18.8
4	今の状態を変えたい気持ちが弱くなった	0	0.0
5	他の人や相談窓口等にも相談したいと思った	0	0.0
6	気持ちが楽になった	6	37.5
7	不安が増した	1	6.3
8	これ以上相談したくなくなった	0	0.0
9	相談しても無駄だと感じた	1	6.3
10	その他	5	31.3
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	16	100

問 23 は、問 19 で「2. 話や相談をしていない」を選択した人が回答。

問 23 相談をしていない（またはしなかった）理由はなんですか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	今の状態から変わりたくないと思ったため	3	13.6
2	相談をする勇気がでなかったため	1	4.5
3	相談できる相手がいなかったため	0	0.0
4	相談相手や相談先がわからなかったため	0	0.0
5	相談する必要性を感じられなかったため	12	54.5
6	今の自分を変えられないと思うため	2	9.1
7	人や社会から自分は必要とされていないと感じるため	0	0.0
8	その他	5	22.7
	無回答	2	9.1
	N (%^ -ス)	22	100

問 24 現在の状態について、話や相談をしたいと思えますか。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	とても相談したい	0	0.0
2	ある程度相談したい	4	10.3
3	あまり相談したくない	8	20.5
4	全く相談しようと思わない	23	59.0
	無回答	4	10.3
	N (%^ -ス)	39	100

問 25 と問 26 は、問 24 で「1. とても相談したい」または「2. ある程度相談したい」を選択した人が回答。

問 25 相談相手や相談機関への要望内容を教えてください。(○はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	無料で相談できる	1	25.0
2	親身に聴いてくれる	1	25.0
3	早朝や夜間でも相談できる	0	0.0
4	土日祝日でも相談できる	0	0.0
5	医学的な助言をくれる	1	25.0
6	心理学の専門家がいる	0	0.0
7	精神科医がいる	0	0.0
8	似たような状況であった人が相談者である	0	0.0
9	自分の名前を知られずに相談できる	1	25.0
10	同じ悩みを持つ人と出会える	0	0.0
11	公的機関である	1	25.0
12	NPO 等の民間団体である	0	0.0
13	自宅に相談相手（精神科医や心理学等の専門家等）が来てくれる	0	0.0
14	自宅から近い	1	25.0
15	その他	1	25.0
16	あてはまるものはない	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	4	100

問 26 相談相手や相談機関への希望する相談方法を教えてください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	直接対面しての相談	3	75.0
2	電話での相談	0	0.0
3	メールでの相談	0	0.0
4	チャットまたはメッセージ (LINE 等のアプリによるものを含む) での相談	0	0.0
5	Microsoft Teams やZoom 等のオンラインツールを利用した相談	0	0.0
6	その他	1	25.0
7	あてはまるものはない	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	4	100

問 27 あなたの現在の外出頻度はどのくらいですか？(〇は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	通学や仕事で週5 日以上外出する	0	0.0
2	通学や仕事で週3~4 日外出する	0	0.0
3	遊びや趣味で週3 日以上外出する	0	0.0
4	人付き合いのため、時々外出する	0	0.0
5	通院のため、時々外出する	0	0.0
6	普段は自宅にいるが、自分の趣味に関する用事の時に週1 回程度外出する	4	10.3
7	普段は自宅にいるが、近所のコンビニやスーパー等には出かける	19	48.7
8	同居人以外の方が自宅に居ても居なくても自室からは出るが、 自宅からは出ない	5	12.8
9	同居人以外の方が自宅にいない時は自室から出るが、自宅からは出ない	1	2.6
10	自室からほとんど出ない	10	25.6
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	39	100

問 28 は、問 6 で「6 無職（現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない）」を選択した人が回答。

問 28 就学または就労を現在希望していますか？（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	強く希望している	0	0.0
2	希望しているが、就学または就労できる自信がなく悩んでいる	0	0.0
3	自宅での学習または就労であれば希望する	1	2.6
4	希望はしていないが、機会があればしてみたい	4	10.3
5	全く希望していない	29	74.4
	無回答	5	12.8
	N (%^ -ス)	39	100

問 29 は、問 28 で「1. 強く希望している」「2. 希望しているが、就学または就労できる自信がなく悩んでいる」「3. 自宅での学習または就労であれば希望する」のいずれかを選択した人が回答。

問 29 就学または就労を目指すために、どこに相談をしたいと思いますか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	区役所（福祉事務所、みなと保健所）	0	0.0
2	職業安定所（ハローワーク）	1	100.0
3	港区生活・就労支援センター（麻布地区総合支所2階）	0	0.0
4	港区社会福祉協議会	0	0.0
5	当事者の会・家族会	0	0.0
6	NPOや民間企業等の相談窓口や支援機関（相談窓口や支援機関の職員を含む）	0	0.0
7	就労先	0	0.0
8	医療機関	0	0.0
9	高齢者相談センター（地域包括支援センター）	0	0.0
10	東京都若者総合相談センター	0	0.0
11	東京都ひきこもりサポートネット	0	0.0
12	東京都発達障害者支援センター	0	0.0
13	その他の人、施設、機関	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	1	100

問 30 と問 31 は、問 28 で「4. 希望はしていないが、機会があればしてみたい」または、「5. 全く希望していない」を選択した人が回答。

問 30 就学または就労したくない理由はなんですか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	他人と関わるのが苦手なため	0	0.0
2	過去に人間関係で不快な思いをしたため	0	0.0
3	父母等からの期待に応えられる自信がないため	0	0.0
4	受験や就職に失敗し、同じ経験をしたくないため	0	0.0
5	就学または就労しても続けられないと思うため	0	0.0
6	就学または就労をする必要性を感じられないため	0	0.0
7	就学または就労しても、何もできないと思うため	2	6.1
8	希望している就学先や就労先・職種に就けないと思うため	1	3.0
9	就学または就労をしたくても、試験や面接で落ちて就学・就労ができないため	1	3.0
10	なんとなく、特に理由はない	4	12.1
11	その他	23	69.7
	無回答	4	12.1
	N (% [^] -ス)	33	100

問 31 あなたは、問 30 で選択したことを普段から感じますか？（○は1つだけ）

（複数選択している場合は、就学または就労したくない一番の理由を基にお答えください）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	常に感じている	4	12.1
2	時々感じている	1	3.0
3	あまり感じない	1	3.0
4	全く感じない	10	30.3
5	就学または就労の言葉を見たり聞いたりすると感じる	0	0.0
6	その他	3	9.1
	無回答	14	42.4
	N (% [^] -ス)	33	100

問 32 あなたは次のことについて不安を感じる時がありますか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	今どうすればよいかわからず、焦っている不安	1	2.6
2	このままの状態が良いのかという不安	6	15.4
3	生活費等の金銭が底を尽くかもしれない不安	7	17.9
4	知り合いに会うことを考えると不安	1	2.6
5	集団の中に溶け込めるかどうか不安	3	7.7
6	人といると、馬鹿にされたり軽く扱われたりしないか不安	1	2.6
7	周りの人に自分が変な人やおかしな人と思われているのではないかという不安	1	2.6
8	今の状態を変える時に、家族や友人等から変な目で見られるかもしれないという不安	0	0.0
9	人との付き合いがうまくいかないのではないかという不安	3	7.7
10	対面で直接人と会う恐怖心を取り除くことができないのではないかという不安	0	0.0
11	不安を感じたことはない	20	51.3
12	その他	5	12.8
	無回答	4	10.3
	N (%^ -ス)	39	100

問 33 あなたが自宅でよくしていることをご回答ください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	テレビを見る	33	84.6
2	パソコンを使う	9	23.1
3	携帯電話・スマートフォンを使う	12	30.8
4	電話をする	3	7.7
5	ゲームをする	4	10.3
6	勉強をする	2	5.1
7	本を読む(雑誌や漫画を含む)	12	30.8
8	新聞を読む	15	38.5
9	家事をする	6	15.4
10	育児をする	0	0.0
11	介護・看護をする	0	0.0
12	ラジオを聴く	5	12.8
13	音楽を聴く	9	23.1
14	家の中でできる運動をする	6	15.4
15	特に何もしていない	2	5.1
16	その他	3	7.7
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -ス)	39	100

問 34 あなたが普段利用している通信手段の中で、利用しているものを教えてください。

(○はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	携帯電話での通話 (LINE 等のアプリによる通話を含む)	18	46.2
2	携帯電話でのメール	12	30.8
3	パソコンでのメール	4	10.3
4	チャットまたはメッセージ (LINE 等のアプリによるものを含む)	2	5.1
5	ウェブサイト上の電子掲示板等の閲覧・書き込み	1	2.6
6	ソーシャル・ネットワーキング・サービス (Facebook、インスタグラム等) の閲覧・書き込み	1	2.6
7	ツイッター	0	0.0
8	オンラインゲームのボイスチャット	0	0.0
9	その他	8	20.5
	無回答	10	25.6
	N (%^ -ス)	39	100

問 35 あなたの交流状況について教えてください。(○はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	近隣住民と挨拶を交わす	14	35.9
2	趣味や遊びのために人と会うことはある	8	20.5
3	家族以外の人と会うことはないが、インターネットやSNS 等を通じて人と交流している	3	7.7
4	民間を含む相談窓口・支援機関との交流がある (働いている職員や、相談窓口や支援機関を通じて知り合った人を含む)	2	5.1
5	家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない	14	35.9
6	家族ともほとんど会話がな	6	15.4
7	通院で医師等と会話を	10	25.6
8	交流状況がわからない	0	0.0
9	その他	4	10.3
	無回答	1	2.6
	N (%^ -ス)	39	100

問 36 社会交流活動で、あなたが参加したいと感じる交流活動を教えてください。(○はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自分と似たような状態の人が集って話す交流会	3	7.7
2	体を動かすイベント（例：ラジオ体操等）	8	20.5
3	自分と似たような人だけが行きたい時に入れる施設への外出	1	2.6
4	複数人や知らない人との交流はしたくないが、 自分の話を聴いてくれる場所等への外出	1	2.6
5	オンラインや仮想空間（メタバース）を活用した交流活動	0	0.0
6	就学や就労に向けた事前学習プログラム	0	0.0
7	体への負担にならないボランティア活動	2	5.1
8	自分の趣味に関するイベント	3	7.7
9	自分の特技を発揮したり披露したりできる場所	3	7.7
10	その他	12	30.8
	無回答	14	35.9
	N（% [^] -ス）	39	100

問 37 次の中であなたが興味のある資格を教えてください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	パソコン関係(プログラミングやMOS(※)等)	0	0.0
2	法律・法務関係(行政書士、司法書士、弁理士等)	0	0.0
3	外国語関係(英検、TOEIC、中国語検定、ハングル能力検定等)	0	0.0
4	金融関係(ファイナンシャルプランナー、証券アナリスト等)	0	0.0
5	会計・経営・労務関係(日商簿記検定、公認会計士、社会保険労務士等)	1	2.6
6	調理・衛生・飲食関係(調理師・栄養士、食生活アドバイザー等)	1	2.6
7	土木・電気関係(建築施工管理技士・電気工事士等)	0	0.0
8	倉庫関係(フォークリフト運転技能者、ロジスティクスオペレーション等)	0	0.0
9	物流・運輸関係(大型自動車免許、危険物取扱者、通関士等)	0	0.0
10	医療関係(医療事務、看護師、歯科衛生士等)	0	0.0
11	介護・福祉関係(介護福祉士、臨床心理士、保育士等)	0	0.0
12	資格の取得に興味はない	24	61.5
13	その他	5	12.8
	無回答	8	20.5
	N (%^ -ス)	39	100

問 38 から問 54 は、問 16 で「2. 同居人」を選択した人が回答。

問 38 問 8 の状態にある同居人とあなたの関係性は、次のうちどれですか？

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	配偶者	12	34.3
2	父	3	8.6
3	母	17	48.6
4	兄	0	0.0
5	弟	0	0.0
6	姉	0	0.0
7	妹	0	0.0
8	子	0	0.0
9	祖父	0	0.0
10	祖母	1	2.9
11	その他親族	0	0.0
12	その他	1	2.9
	無回答	1	2.9
	N (%^ -s)	35	100

問 39 問 8 の状態にある同居人の現在の就学・就労状況を教えてください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	勤めている (正社員)	0	0.0
2	勤めている (契約社員・派遣社員・アルバイト・パートタイム)	0	0.0
3	勤めている (自営業・フリーランス)	0	0.0
4	企業等に在籍しているが、病気や育児休業等のため休職中	0	0.0
5	学生 (予備校生含む)	0	0.0
6	無職 (現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない)	35	100.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -s)	35	100

問 40 問 8 の状態にある同居人が、問 8 の状態になったのは何歳の頃ですか（○は 1 つだけ）。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	15歳未満	0	0.0
2	15歳～19歳	0	0.0
3	20歳～24歳	0	0.0
4	25歳～29歳	0	0.0
5	30歳～34歳	0	0.0
6	35歳～39歳	1	2.9
7	40歳～44歳	0	0.0
8	45歳～49歳	1	2.9
9	50歳～54歳	0	0.0
10	55歳～59歳	1	2.9
11	60歳～64歳	2	5.7
12	65歳～69歳	3	8.6
13	70歳～74歳	5	14.3
14	75歳以上	22	62.9
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -λ)	35	100

問 41 問 8 の状態にある同居人が、問 8 の状態になったと思われるきっかけは何ですか？

(○はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	学生時代のいじめや学校になじめなかった	0	0.0
2	小学校時代、または中学校時代の不登校	0	0.0
3	高校時代の不登校	0	0.0
4	大学・短大・専門学校時代の不登校	0	0.0
5	受験に失敗したこと(中学・高校・大学の各受験)	0	0.0
6	就職活動で就職できず失敗したこと (希望する職種に就職できなかったも含む)	0	0.0
7	就労先(アルバイトやパートタイム含む)で自分が必要とされていると感じなかったこと	0	0.0
8	学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと	0	0.0
9	病気	4	11.4
10	妊娠したこと	0	0.0
11	退職したこと	3	8.6
12	育児に専念することになったこと	1	2.9
13	介護・看護を担うことになったこと	1	2.9
14	新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと	7	20.0
15	その他	18	51.4
16	わからない	5	14.3
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	35	100

問 42 問 8 の状態にある同居人について、誰かに話や相談をしましたか？(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	話や相談をした	20	57.1
2	話や相談をしていない	15	42.9
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	35	100

問 43 から問 45 は、問 42 で「1. 話や相談をした」を選択した人が回答。

問 43 話や相談をしたきっかけは何ですか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	同居人の今の状態を変えたいと思ったため	11	55.0
2	家族や友人等から提案や案内を受けたため	2	10.0
3	同居人と同じ境遇にある人が、同居人の状態を変えた事例を目にしたため	0	0.0
4	同居人の今後の将来に不安を感じたため	8	40.0
5	なんとなく	1	5.0
6	その他	2	10.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	20	100

問 44 どこ（または誰）に話や相談をしましたか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族、親族	15	75.0
2	友人・知人	4	20.0
3	区役所（福祉事務所、みなと保健所）	4	20.0
4	職業安定所（ハローワーク）	0	0.0
5	港区生活・就労支援センター（麻布地区総合支所2階）	1	5.0
6	港区社会福祉協議会	1	5.0
7	当事者の会・家族会	0	0.0
8	NPOや民間企業等の相談窓口や支援機関（相談窓口や支援機関の職員を含む）	0	0.0
9	インターネットの掲示板やツイッター等のSNS への投稿	0	0.0
10	就労先	0	0.0
11	スクールカウンセラー	0	0.0
12	医療機関	11	55.0
13	その他の人、施設、機関	3	15.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	20	100

問 45 話や相談をした結果、どのような心境変化がありましたか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	同居人の状態を変えたい気持ちが強くなった	3	15.0
2	あまり変化はなかった	8	40.0
3	全く変化はなかった	1	5.0
4	同居人の状態を変えたい気持ちが弱くなった	2	10.0
5	他の人や相談窓口等にも相談したいと思った	1	5.0
6	気持ちが楽になった	4	20.0
7	不安が増した	0	0.0
8	これ以上相談したくなくなった	0	0.0
9	相談しても無駄だと感じた	4	20.0
10	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -s)	20	100

問 46 は、問 42 で「2. 話や相談をしていない」を選択した人が回答。

問 46 相談をしていない（またはしなかった）理由はなんですか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	今の状況を変えたくないと思ったため	0	0.0
2	相談をする勇気がでなかったため	0	0.0
3	相談できる相手がいなかったため	2	13.3
4	相談相手や相談先がわからなかったため	2	13.3
5	相談する必要性を感じられなかったため	7	46.7
6	相談して助言をもらっても、同居人が変わらないと思ったため	5	33.3
7	その他	3	20.0
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -s)	15	100

問 47 問8の状態にある同居人の外出頻度はどのくらいですか？（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	通学や仕事で週5 日以上外出する	0	0.0
2	通学や仕事で週3~4 日外出する	0	0.0
3	遊びや趣味で週3 日以上外出する	0	0.0
4	人付き合いのため、時々外出する	0	0.0
5	通院のため、時々外出する	0	0.0
6	普段は自宅にいるが、自分の趣味に関する用事の時に週1 回程度外出する	3	8.6
7	普段は自宅にいるが、近所のコンビニやスーパー等には出かける	13	37.1
8	同居人以外の方が自宅に居ても居なくても自室からは出るが、自宅からは出ない	8	22.9
9	同居人以外の方が自宅にいない時は自室から出るが、自宅からは出ない	2	5.7
10	自室からほとんど出ない	9	25.7
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	35	100

問 48 問8の状態にある同居人に対する、今後の不安はありますか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	同居人がこのままの状態が良いのかという不安	16	45.7
2	同居人の生活費等の金銭が底を尽くかもしれない不安	4	11.4
3	同居人の状態を周辺住民や知人に知られないかという不安	1	2.9
4	同居人の状態を変えるための支援を自宅で受ける際、同居人に気づかれたりしないかという不安	1	2.9
5	同居人の状態を変えるための支援を、同居人が受け入れないかもしれない不安	9	25.7
6	同居人が社会的にも家族の中でも孤立してしまうかもしれない不安	0	0.0
7	不安を感じたことはない	11	31.4
8	その他	4	11.4
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	35	100

問 49 問8の状態にある同居人が、自宅をよくしていることを教えてください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	テレビを見る	27	77.1
2	パソコンを使う	1	2.9
3	携帯電話・スマートフォンを使う	7	20.0
4	電話をする	4	11.4
5	ゲームをする	2	5.7
6	勉強をする	0	0.0
7	本を読む(雑誌や漫画を含む)	6	17.1
8	新聞を読む	10	28.6
9	家事をする	7	20.0
10	育児をする	0	0.0
11	介護・看護をする	0	0.0
12	ラジオを聴く	1	2.9
13	音楽を聴く	2	5.7
14	家の中でできる運動をする	3	8.6
15	特に何もしていない	2	5.7
16	その他	3	8.6
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -s)	35	100

問 50 問8の状態にある同居人の交流状況について教えてください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	近隣住民と挨拶を交わす	6	17.1
2	趣味や遊びのために人と会うことはある	1	2.9
3	家族以外の人と会うことはないが、インターネットやSNS 等を通じて人と交流している	2	5.7
4	民間を含む相談窓口・支援機関との交流がある (働いている職員や、相談窓口や支援機関を通じて知り合った人を含む)	1	2.9
5	家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない	12	34.3
6	家族ともほとんど会話がな	5	14.3
7	通院で医師等と会話を	3	8.6
8	交流状況がわからない	0	0.0
9	その他	4	11.4
	無回答	1	2.9
	N (%^ -ス)	35	100

問 51 問8の状態にある同居人の状態を変えたいと思いますか？(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	変えたいと思う	15	42.9
2	変えたいと思わない	18	51.4
	無回答	2	5.7
	N (%^ -ス)	35	100

問 52 と問 53 は、問 51 で「1. 変えたいと思う」を選択した人が回答。

問 52 問 8 の状態にある同居人を変えるにあたり、相談相手や相談機関への要望内容を教えてください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	無料で相談できる	8	53.3
2	親身に聴いてくれる	5	33.3
3	早朝や夜間でも相談できる	3	20.0
4	土日祝日でも相談できる	3	20.0
5	医学的な助言をくれる	9	60.0
6	心理学の専門家がいる	1	6.7
7	精神科医がいる	5	33.3
8	似たような状況であった人が相談者である	0	0.0
9	自分の名前を知られずに相談できる	1	6.7
10	同じ悩みを持つ人と出会える	1	6.7
11	公的機関である	4	26.7
12	NPO 等の民間団体である	0	0.0
13	自宅に相談相手（精神科医や心理学等の専門家等）が来てくれる	1	6.7
14	自宅から近い	2	13.3
15	その他	1	6.7
16	あてはまるものはない	1	6.7
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	15	100

問 53 問 8 の状態にある同居人を変えるにあたり、相談相手や相談機関へ希望する相談方法を教えてください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	直接対面しての相談	10	66.7
2	電話での相談	4	26.7
3	メールでの相談	2	13.3
4	チャットまたはメッセージ (LINE 等のアプリによるものを含む) での相談	2	13.3
5	Microsoft Teams やZoom 等のオンラインツールを利用した相談	1	6.7
6	その他	0	0.0
7	あてはまるものはない	2	13.3
	無回答	1	6.7
	N (%^ -ス)	15	100

問 54 は、問 51 で「2. 変えたいと思わない」を選択した人が回答。

問 54 変えたいと思わない理由をご回答ください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	変える必要性を感じないため	8	44.4
2	同居人が変わらないと思うため	10	55.6
3	同居人が人との交流や社会復帰を拒んでいるため	0	0.0
4	変えようとした際の、同居人からの反発が恐いため	0	0.0
5	その他	3	16.7
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	18	100

参考（４）ひきこもりの該当者を75歳以上に限定した場合の集計

これまでに国が実施したひきこもりに関する実態調査では対象ではなかったものの、本調査回答では回答率が最も高かった75歳以上のひきこもりの該当者に限定した回答結果を記載する。

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性	26	44.1
2	女性	31	52.5
3	その他	0	0.0
	無回答	2	3.4
	N (%^ -ス)	59	100

問2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つだけ)

(※令和5年6月16日現在の年齢をお答えください)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	15歳未満	0	0.0
2	15歳～19歳	0	0.0
3	20歳～24歳	0	0.0
4	25歳～29歳	1	1.7
5	30歳～34歳	0	0.0
6	35歳～39歳	0	0.0
7	40歳～44歳	1	1.7
8	45歳～49歳	2	3.4
9	50歳～54歳	3	5.1
10	55歳～59歳	2	3.4
11	60歳～64歳	6	10.2
12	65歳～69歳	1	1.7
13	70歳～74歳	4	6.8
14	75歳以上	39	66.1
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	59	100

問3 現在、あなたと同居している方をお答えください。(〇はいくつでも)

なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	配偶者	23	39.0
2	父	3	5.1
3	母	16	27.1
4	兄	1	1.7
5	弟	0	0.0
6	姉	1	1.7
7	妹	3	5.1
8	子	12	20.3
9	祖父	0	0.0
10	祖母	1	1.7
11	その他親族	4	6.8
12	その他	4	6.8
13	同居している人はいない	14	23.7
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	59	100

問4 現在、あなたを含めて何人で同居しているかをお答えください（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	16	27.1
2	2人	26	44.1
3	3人	10	16.9
4	4人	2	3.4
5	5人	2	3.4
6	6人	2	3.4
7	7人	1	1.7
8	8人以上	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	59	100

問5 同居者全員の中で、主たる生計維持者はどなたですか？（○は1つだけ）

※生計維持者が複数人いる場合は、一番収入の高い人をご回答ください。

※同世帯か、別世帯かは問いません。

※仕送りで生計を立てている方は、その仕送り主をお答えください。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	あなた自身	45	76.3
2	あなたの配偶者	3	5.1
3	父	0	0.0
4	母	1	1.7
5	子	4	6.8
6	兄弟姉妹	2	3.4
7	その他（貸付等の支援制度の活用を含む）	2	3.4
8	わからない	1	1.7
	無回答	1	1.7
	N (%^ -ス)	59	100

問6 あなたの現在の就学・就労状況をお答えください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	勤めている(正社員)	7	11.9
2	勤めている(契約社員・派遣社員・アルバイト・パートタイム)	4	6.8
3	勤めている(自営業・フリーランス)	5	8.5
4	企業等に在籍しているが、病気や育児休業等のため休職中	0	0.0
5	学生(予備校生含む)	0	0.0
6	無職(現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない)	43	72.9
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	59	100

問7は、問6で「6. 無職(現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない)」を選択した人が回答。

問7 これまでにアルバイトやパートを含む就労をしたことがありますか。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ある	23	53.5
2	ない	17	39.5
	無回答	3	7.0
	N (%^ -ス)	43	100

問8 あなたを含む同居者の中で、「① 自宅から外出をほとんどしない、または近所のコンビニやスーパー等の販売店、通院・趣味の用事の時のみ外出をする」「② 家族以外の人と直接の会話をしない、または家族以外の人との交流を避けている(①のコンビニやスーパー等の店員、医師・看護師等の医療機関受診時の会話等を除く)」「③ ①から②の状態が6か月以上続いている」の全ての状況に該当する方がいるかお答えください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	該当者はいない	0	0.0
2	該当者がいる	59	100.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	59	100

問9から問12は、問8で「2. 該当者がいる」を選択した人が回答。

問9 問8に該当する方の年齢を選択してください。(○は1つだけ)

(複数人該当する場合は、その状態が一番長い方についてお答えください)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	15歳未満	0	0.0
2	15歳～19歳	0	0.0
3	20歳～24歳	0	0.0
4	25歳～29歳	0	0.0
5	30歳～34歳	0	0.0
6	35歳～39歳	0	0.0
7	40歳～44歳	0	0.0
8	45歳～49歳	0	0.0
9	50歳～54歳	0	0.0
10	55歳～59歳	0	0.0
11	60歳～64歳	0	0.0
12	65歳～69歳	0	0.0
13	70歳～74歳	0	0.0
14	75歳以上	59	100.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	59	100

問10 問8に該当する方の性別をお答えください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性	16	27.1
2	女性	42	71.2
3	その他	0	0.0
	無回答	1	1.7
	N (%^ -ス)	59	100

問11 問8の状態の期間はどのくらいですか？（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6か月～1年未満	6	10.2
2	1年～2年未満	6	10.2
3	2年～3年未満	6	10.2
4	3年～5年未満	11	18.6
5	5年～7年未満	10	16.9
6	7年～10年未満	7	11.9
7	10年～15年未満	6	10.2
8	15年～20年未満	4	6.8
9	20年～25年未満	0	0.0
10	25年～30年未満	0	0.0
11	30年以上	3	5.1
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	59	100

問12 問8の状態になってから医療機関を受診しましたか？（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	受診した	45	76.3
2	受診していない	13	22.0
	無回答	1	1.7
	N (%^ -ス)	59	100

問 13 と問 14 は、問 12 で「1. 受診した」を選択した人が回答。

問 13 どのような理由で受診しましたか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	風邪や新型コロナウイルス感染症等の内科系	12	26.7
2	脱臼や骨折等の整形外科系	8	17.8
3	白内障や緑内障等の眼科系	9	20.0
4	内臓関係の手術等の外科系	3	6.7
5	うつ病や認知症等の精神心療内科系	13	28.9
6	頭部外傷や脳卒中等の脳神経外科系	3	6.7
7	その他	18	40.0
	無回答	1	2.2
	N (%^ -s)	45	100

問 14 現在も通院していますか？（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	通院している	25	55.6
2	通院していない	19	42.2
	無回答	1	2.2
	N (%^ -s)	45	100

問 15 は、問 14 で「2. 通院していない」を選択した人が回答。

問 15 通院していない理由はなんですか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	完治と診断されたため	8	42.1
2	完治と診断されていないが、通院をやめてしまった	1	5.3
3	通院するのが面倒になってしまった	0	0.0
4	通院の交通費や通院費等の金銭的な負担が重いため	0	0.0
5	通院しても状態が良くならなかったため	1	5.3
6	なんとなく	0	0.0
7	その他	9	47.4
	無回答	0	0.0
	N (%^ -s)	19	100

問 16 問 8 の状態の人は、どなたですか？（○は 1 つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	回答者本人	28	47.5
2	同居人	31	52.5
	無回答	0	0.0
	N (% \wedge - λ)	59	100

問 17 から問 37 は、問 16 で「1. 回答者本人」を選択した人が回答。

問 17 問 8 の状態になったのは何歳の頃ですか。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	15歳未満	0	0.0
2	15歳～19歳	0	0.0
3	20歳～24歳	0	0.0
4	25歳～29歳	0	0.0
5	30歳～34歳	0	0.0
6	35歳～39歳	0	0.0
7	40歳～44歳	0	0.0
8	45歳～49歳	0	0.0
9	50歳～54歳	1	3.6
10	55歳～59歳	1	3.6
11	60歳～64歳	0	0.0
12	65歳～69歳	1	3.6
13	70歳～74歳	1	3.6
14	75歳以上	24	85.7
	無回答	0	0.0
	N (% \wedge - λ)	28	100

問 18 問8の状態になったきっかけは何ですか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	学生時代のいじめや学校になじめなかった	0	0.0
2	小学校時代、または中学校時代の不登校	0	0.0
3	高校時代の不登校	0	0.0
4	大学・短大・専門学校時代の不登校	0	0.0
5	受験に失敗したこと（中学・高校・大学の各受験）	0	0.0
6	就職活動で就職できず失敗したこと （希望する職種に就職できなかったも含む）	0	0.0
7	就労先（アルバイトやパートタイム含む）で自分が必要とされていると感じなかったこと	0	0.0
8	学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと	0	0.0
9	病気	2	7.1
10	妊娠したこと	0	0.0
11	退職したこと	3	10.7
12	育児に専念することになったこと	0	0.0
13	介護・看護を担うことになったこと	1	3.6
14	新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと	5	17.9
15	その他	12	42.9
16	なんとなく	4	14.3
17	わからない・思い出せない	3	10.7
18	回答したくない・思い出したくない	1	3.6
	無回答	0	0.0
	N（% [^] -ス）	28	100

問 19 問8の状態を誰かに話や相談をしましたか？（〇は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	話や相談をした	14	50.0
2	話や相談をしていない	14	50.0
	無回答	0	0.0
	N（% [^] -ス）	28	100

問 20 から問 22 は、問 19 で「1. 話や相談をした」を選択した人が回答。

問 20 話や相談をしたきっかけは何ですか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	今の状態を変えたいと思ったため	0	0.0
2	家族や友人等から提案や案内を受けたため	6	42.9
3	同じ境遇にある人が、就学や就労した事例を目にしたため	0	0.0
4	信頼度が高く、話や相談ができる人ができたため	1	7.1
5	なんとなく	2	14.3
6	その他	4	28.6
	無回答	1	7.1
	N (%^ -s)	14	100

問 21 どこ（または誰）に話や相談をしましたか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族、親族	5	35.7
2	友人・知人（対面で会ったことがある）	0	0.0
3	インターネット上の友人（対面で会ったことはない）	0	0.0
4	区役所（福祉事務所、みなと保健所）	4	28.6
5	職業安定所（ハローワーク）	0	0.0
6	港区生活・就労支援センター（麻布地区総合支所2階）	0	0.0
7	港区社会福祉協議会	0	0.0
8	当事者の会・家族会	0	0.0
9	NPOや民間企業等の相談窓口や支援機関（相談窓口や支援機関の職員を含む）	0	0.0
10	インターネットの掲示板やツイッター等のSNS への投稿	0	0.0
11	就労先	0	0.0
12	スクールカウンセラー	0	0.0
13	医療機関	4	28.6
14	その他の人、施設、機関	3	21.4
	無回答	0	0.0
	N (%^ -s)	14	100

問 22 話や相談をした結果、どのような心境変化がありましたか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	今の状態を変えたい気持ちが強くなった	0	0.0
2	あまり変化はなかった	0	0.0
3	全く変化はなかった	1	7.1
4	今の状態を変えたい気持ちが弱くなった	0	0.0
5	他の人や相談窓口等にも相談したいと思った	0	0.0
6	気持ちが楽になった	6	42.9
7	不安が増した	1	7.1
8	これ以上相談したくなくなった	0	0.0
9	相談しても無駄だと感じた	1	7.1
10	その他	5	35.7
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	14	100

問 23 は、問 19 で「2. 話や相談をしていない」を選択した人が回答。

問 23 相談をしていない（またはしなかった）理由はなんですか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	今の状態から変わりたくないと思ったため	1	7.1
2	相談をする勇気がでなかったため	0	0.0
3	相談できる相手がいなかったため	0	0.0
4	相談相手や相談先がわからなかったため	0	0.0
5	相談する必要性を感じられなかったため	6	42.9
6	今の自分を変えられないと思うため	2	14.3
7	人や社会から自分は必要とされていないと感じるため	0	0.0
8	その他	4	28.6
	無回答	2	14.3
	N (%^ -ス)	14	100

問 24 現在の状態について、話や相談をしたいと思えますか。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	とても相談したい	0	0.0
2	ある程度相談したい	3	10.7
3	あまり相談したくない	5	17.9
4	全く相談しようと思わない	17	60.7
	無回答	3	10.7
	N (%^ -ス)	28	100

問 25 と問 26 は、問 24 で「1. とても相談したい」または「2. ある程度相談したい」を選択した人が回答。

問 25 相談相手や相談機関への要望内容を教えてください。(○はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	無料で相談できる	0	0.0
2	親身に聴いてくれる	1	33.3
3	早朝や夜間でも相談できる	0	0.0
4	土日祝日でも相談できる	0	0.0
5	医学的な助言をくれる	0	0.0
6	心理学の専門家がいる	0	0.0
7	精神科医がいる	0	0.0
8	似たような状況であった人が相談者である	0	0.0
9	自分の名前を知られずに相談できる	0	0.0
10	同じ悩みを持つ人と出会える	0	0.0
11	公的機関である	1	33.3
12	NPO 等の民間団体である	0	0.0
13	自宅に相談相手（精神科医や心理学等の専門家等）が来てくれる	0	0.0
14	自宅から近い	0	0.0
15	その他	1	33.3
16	あてはまるものはない	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	3	100

問 26 相談相手や相談機関への希望する相談方法を教えてください。(○はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	直接対面しての相談	3	100.0
2	電話での相談	0	0.0
3	メールでの相談	0	0.0
4	チャットまたはメッセージ (LINE 等のアプリによるものを含む) での相談	0	0.0
5	Microsoft Teams やZoom 等のオンラインツールを利用した相談	0	0.0
6	その他	0	0.0
7	あてはまるものはない	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	3	100

問 27 あなたの現在の外出頻度はどのくらいですか？(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	通学や仕事で週5 日以上外出する	0	0.0
2	通学や仕事で週3~4 日外出する	0	0.0
3	遊びや趣味で週3 日以上外出する	0	0.0
4	人付き合いのため、時々外出する	0	0.0
5	通院のため、時々外出する	0	0.0
6	普段は自宅にいるが、自分の趣味に関する用事の時に週1 回程度外出する	2	7.1
7	普段は自宅にいるが、近所のコンビニやスーパー等には出かける	13	46.4
8	同居人以外の方が自宅に居ても居なくても自室からは出るが、 自宅からは出ない	4	14.3
9	同居人以外の方が自宅にいない時は自室から出るが、自宅からは出ない	1	3.6
10	自室からほとんど出ない	8	28.6
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	28	100

問 28 は、問 6 で「6 無職（現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない）」を選択した人が回答。

問 28 就学または就労を現在希望していますか？（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	強く希望している	0	0.0
2	希望しているが、就学または就労できる自信がなく悩んでいる	0	0.0
3	自宅での学習または就労であれば希望する	0	0.0
4	希望はしていないが、機会があればしてみたい	1	3.6
5	全く希望していない	23	82.1
	無回答	4	14.3
	N (%^ -ス)	28	100

問 29 は、問 28 で「1. 強く希望している」「2. 希望しているが、就学または就労できる自信がなく悩んでいる」「3. 自宅での学習または就労であれば希望する」のいずれかを選択した人が回答。

問 29 就学または就労を目指すために、どこに相談をしたいと思いますか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	区役所（福祉事務所、みなと保健所）	0	0.0
2	職業安定所（ハローワーク）	0	0.0
3	港区生活・就労支援センター（麻布地区総合支所2階）	0	0.0
4	港区社会福祉協議会	0	0.0
5	当事者の会・家族会	0	0.0
6	NPOや民間企業等の相談窓口や支援機関（相談窓口や支援機関の職員を含む）	0	0.0
7	就労先	0	0.0
8	医療機関	0	0.0
9	高齢者相談センター（地域包括支援センター）	0	0.0
10	東京都若者総合相談センター	0	0.0
11	東京都ひきこもりサポートネット	0	0.0
12	東京都発達障害者支援センター	0	0.0
13	その他の人、施設、機関	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	0	0

問 30 と問 31 は、問 28 で「4. 希望はしていないが、機会があればしてみたい」または、「5. 全く希望していない」を選択した人が回答。

問 30 就学または就労したくない理由はなんですか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	他人と関わるのが苦手なため	0	0.0
2	過去に人間関係で不快な思いをしたため	0	0.0
3	父母等からの期待に応えられる自信がないため	0	0.0
4	受験や就職に失敗し、同じ経験をしたくないため	0	0.0
5	就学または就労しても続けられないと思うため	0	0.0
6	就学または就労をする必要性を感じられないため	0	0.0
7	就学または就労しても、何もできないと思うため	0	0.0
8	希望している就学先や就労先・職種に就けないと思うため	0	0.0
9	就学または就労をしたくても、試験や面接で落ちて就学・就労ができないため	0	0.0
10	なんとなく、特に理由はない	3	12.5
11	その他	18	75.0
	無回答	3	12.5
	N (% [^] -ス)	24	100

問 31 あなたは、問 30 で選択したことを普段から感じますか？（○は1つだけ）

（複数選択している場合は、就学または就労したくない一番の理由を基にお答えください）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	常に感じている	2	8.3
2	時々感じている	1	4.2
3	あまり感じない	1	4.2
4	全く感じない	8	33.3
5	就学または就労の言葉を見たり聞いたりすると感じる	0	0.0
6	その他	2	8.3
	無回答	10	41.7
	N (% [^] -ス)	24	100

問 32 あなたは次のことについて不安を感じる時がありますか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	今どうすればよいかわからず、焦っている不安	1	3.6
2	このままの状態が良いのかという不安	2	7.1
3	生活費等の金銭が底を尽くかもしれない不安	4	14.3
4	知り合いに会うことを考えると不安	1	3.6
5	集団の中に溶け込めるかどうか不安	3	10.7
6	人といると、馬鹿にされたり軽く扱われたりしないか不安	1	3.6
7	周りの人に自分が変な人やおかしな人と思われているのではないかという不安	1	3.6
8	今の状態を変える時に、家族や友人等から変な目で見られるかもしれないという不安	0	0.0
9	人との付き合いがうまくいかないのではないかという不安	3	10.7
10	対面で直接人と会う恐怖心を取り除くことができないのではないかという不安	0	0.0
11	不安を感じたことはない	15	53.6
12	その他	3	10.7
	無回答	4	14.3
	N (%^ -ス)	28	100

問 33 あなたが自宅でよくしていることをご回答ください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	テレビを見る	22	78.6
2	パソコンを使う	5	17.9
3	携帯電話・スマートフォンを使う	6	21.4
4	電話をする	2	7.1
5	ゲームをする	4	14.3
6	勉強をする	0	0.0
7	本を読む(雑誌や漫画を含む)	9	32.1
8	新聞を読む	13	46.4
9	家事をする	2	7.1
10	育児をする	0	0.0
11	介護・看護をする	0	0.0
12	ラジオを聴く	3	10.7
13	音楽を聴く	4	14.3
14	家の中でできる運動をする	3	10.7
15	特に何もしていない	2	7.1
16	その他	2	7.1
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -ス)	28	100

問 34 あなたが普段利用している通信手段の中で、利用しているものを教えてください。

(○はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	携帯電話での通話 (LINE 等のアプリによる通話を含む)	10	35.7
2	携帯電話でのメール	6	21.4
3	パソコンでのメール	0	0.0
4	チャットまたはメッセージ (LINE 等のアプリによるものを含む)	0	0.0
5	ウェブサイト上の電子掲示板等の閲覧・書き込み	0	0.0
6	ソーシャル・ネットワーキング・サービス (Facebook、インスタグラム等) の閲覧・書き込み	0	0.0
7	ツイッター	0	0.0
8	オンラインゲームのボイスチャット	0	0.0
9	その他	7	25.0
	無回答	9	32.1
	N (%^ -ス)	28	100

問 35 あなたの交流状況について教えてください。(○はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	近隣住民と挨拶を交わす	13	46.4
2	趣味や遊びのために人と会うことはある	5	17.9
3	家族以外の人と会うことはないが、インターネットやSNS 等を通じて人と交流している	1	3.6
4	民間を含む相談窓口・支援機関との交流がある (働いている職員や、相談窓口や支援機関を通じて知り合った人を含む)	2	7.1
5	家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない	11	39.3
6	家族ともほとんど会話がな	4	14.3
7	通院で医師等と会話を	8	28.6
8	交流状況がわからない	0	0.0
9	その他	3	10.7
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	28	100

問 36 社会交流活動で、あなたが参加したいと感じる交流活動を教えてください。(○はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自分と似たような状態の人が集って話す交流会	2	7.1
2	体を動かすイベント（例：ラジオ体操等）	5	17.9
3	自分と似たような人だけが行きたい時に入れる施設への外出	1	3.6
4	複数人や知らない人との交流はしたくないが、 自分の話を聴いてくれる場所等への外出	1	3.6
5	オンラインや仮想空間（メタバース）を活用した交流活動	0	0.0
6	就学や就労に向けた事前学習プログラム	0	0.0
7	体への負担にならないボランティア活動	0	0.0
8	自分の趣味に関するイベント	2	7.1
9	自分の特技を発揮したり披露したりできる場所	1	3.6
10	その他	8	28.6
	無回答	12	42.9
	N（%入 -ス）	28	100

問 37 次の中であなたが興味のある資格を教えてください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	パソコン関係(プログラミングやMOS(※)等)	0	0.0
2	法律・法務関係(行政書士、司法書士、弁理士等)	0	0.0
3	外国語関係(英検、TOEIC、中国語検定、ハングル能力検定等)	0	0.0
4	金融関係(ファイナンシャルプランナー、証券アナリスト等)	0	0.0
5	会計・経営・労務関係(日商簿記検定、公認会計士、社会保険労務士等)	1	3.6
6	調理・衛生・飲食関係(調理師・栄養士、食生活アドバイザー等)	0	0.0
7	土木・電気関係(建築施工管理技士・電気工事士等)	0	0.0
8	倉庫関係(フォークリフト運転技能者、ロジスティクスオペレーション等)	0	0.0
9	物流・運輸関係(大型自動車免許、危険物取扱者、通関士等)	0	0.0
10	医療関係(医療事務、看護師、歯科衛生士等)	0	0.0
11	介護・福祉関係(介護福祉士、臨床心理士、保育士等)	0	0.0
12	資格の取得に興味はない	17	60.7
13	その他	2	7.1
	無回答	8	28.6
	N (%^ -ス)	28	100

問 38 から問 54 は、問 16 で「2. 同居人」を選択した人が回答。

問 38 問 8 の状態にある同居人とあなたの関係性は、次のうちどれですか？

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	配偶者	10	32.3
2	父	3	9.7
3	母	15	48.4
4	兄	0	0.0
5	弟	0	0.0
6	姉	0	0.0
7	妹	0	0.0
8	子	0	0.0
9	祖父	0	0.0
10	祖母	1	3.2
11	その他親族	0	0.0
12	その他	1	3.2
	無回答	1	3.2
	N (%^ -s)	31	100

問 39 問 8 の状態にある同居人の現在の就学・就労状況を教えてください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	勤めている (正社員)	0	0.0
2	勤めている (契約社員・派遣社員・アルバイト・パートタイム)	0	0.0
3	勤めている (自営業・フリーランス)	0	0.0
4	企業等に在籍しているが、病気や育児休業等のため休職中	0	0.0
5	学生 (予備校生含む)	0	0.0
6	無職 (現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない)	31	100.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -s)	31	100

問 40 問 8 の状態にある同居人が、問 8 の状態になったのは何歳の頃ですか（○は 1 つだけ）。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	15歳未満	0	0.0
2	15歳～19歳	0	0.0
3	20歳～24歳	0	0.0
4	25歳～29歳	0	0.0
5	30歳～34歳	0	0.0
6	35歳～39歳	1	3.2
7	40歳～44歳	0	0.0
8	45歳～49歳	1	3.2
9	50歳～54歳	0	0.0
10	55歳～59歳	0	0.0
11	60歳～64歳	1	3.2
12	65歳～69歳	2	6.5
13	70歳～74歳	4	12.9
14	75歳以上	22	71.0
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -λ)	31	100

問 41 問8の状態にある同居人が、問8の状態になったと思われるきっかけは何ですか？

(○はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	学生時代のいじめや学校になじめなかった	0	0.0
2	小学校時代、または中学校時代の不登校	0	0.0
3	高校時代の不登校	0	0.0
4	大学・短大・専門学校時代の不登校	0	0.0
5	受験に失敗したこと(中学・高校・大学の各受験)	0	0.0
6	就職活動で就職できず失敗したこと (希望する職種に就職できなかったも含む)	0	0.0
7	就労先(アルバイトやパートタイム含む)で自分が必要とされていると感じなかったこと	0	0.0
8	学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと	0	0.0
9	病気	4	12.9
10	妊娠したこと	0	0.0
11	退職したこと	3	9.7
12	育児に専念することになったこと	1	3.2
13	介護・看護を担うことになったこと	1	3.2
14	新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと	6	19.4
15	その他	15	48.4
16	わからない	4	12.9
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	31	100

問 42 問8の状態にある同居人について、誰かに話や相談をしましたか？(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	話や相談をした	19	61.3
2	話や相談をしていない	12	38.7
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	31	100

問 43 から問 45 は、問 42 で「1. 話や相談をした」を選択した人が回答。

問 43 話や相談をしたきっかけは何ですか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	同居人の今の状態を変えたいと思ったため	11	57.9
2	家族や友人等から提案や案内を受けたため	1	5.3
3	同居人と同じ境遇にある人が、同居人の状態を変えた事例を目にしたため	0	0.0
4	同居人の今後の将来に不安を感じたため	8	42.1
5	なんとなく	1	5.3
6	その他	2	10.5
	無回答	0	0.0
	N (% \wedge -s)	19	100

問 44 どこ（または誰）に話や相談をしましたか？（〇はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族、親族	14	73.7
2	友人・知人	4	21.1
3	区役所（福祉事務所、みなと保健所）	4	21.1
4	職業安定所（ハローワーク）	0	0.0
5	港区生活・就労支援センター（麻布地区総合支所2階）	1	5.3
6	港区社会福祉協議会	1	5.3
7	当事者の会・家族会	0	0.0
8	NPOや民間企業等の相談窓口や支援機関（相談窓口や支援機関の職員を含む）	0	0.0
9	インターネットの掲示板やツイッター等のSNS への投稿	0	0.0
10	就労先	0	0.0
11	スクールカウンセラー	0	0.0
12	医療機関	11	57.9
13	その他の人、施設、機関	3	15.8
	無回答	0	0.0
	N (% \wedge -s)	19	100

問 45 話や相談をした結果、どのような心境変化がありましたか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	同居人の状態を変えたい気持ちが強くなった	3	15.8
2	あまり変化はなかった	7	36.8
3	全く変化はなかった	1	5.3
4	同居人の状態を変えたい気持ちが弱くなった	2	10.5
5	他の人や相談窓口等にも相談したいと思った	1	5.3
6	気持ちが楽になった	4	21.1
7	不安が増した	0	0.0
8	これ以上相談したくなくなった	0	0.0
9	相談しても無駄だと感じた	4	21.1
10	その他	0	0.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	19	100

問 46 は、問 42 で「2. 話や相談をしていない」を選択した人が回答。

問 46 相談をしていない（またはしなかった）理由はなんですか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	今の状況を変えたくないと思ったため	0	0.0
2	相談をする勇気がでなかったため	0	0.0
3	相談できる相手がいなかったため	1	8.3
4	相談相手や相談先がわからなかったため	2	16.7
5	相談する必要性を感じられなかったため	5	41.7
6	相談して助言をもらっても、同居人が変わらないと思ったため	5	41.7
7	その他	3	25.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	12	100

問 47 問8の状態にある同居人の外出頻度はどのくらいですか？（○は1つだけ）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	通学や仕事で週5 日以上外出する	0	0.0
2	通学や仕事で週3~4 日外出する	0	0.0
3	遊びや趣味で週3 日以上外出する	0	0.0
4	人付き合いのため、時々外出する	0	0.0
5	通院のため、時々外出する	0	0.0
6	普段は自宅にいるが、自分の趣味に関する用事の時に週1 回程度外出する	3	9.7
7	普段は自宅にいるが、近所のコンビニやスーパー等には出かける	10	32.3
8	同居人以外の方が自宅に居ても居なくても自室からは出るが、自宅からは出ない	8	25.8
9	同居人以外の方が自宅にいない時は自室から出るが、自宅からは出ない	1	3.2
10	自室からほとんど出ない	9	29.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	31	100

問 48 問8の状態にある同居人に対する、今後の不安はありますか？（○はいくつでも）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	同居人がこのままの状態が良いのかという不安	15	48.4
2	同居人の生活費等の金銭が底を尽くかもしれない不安	4	12.9
3	同居人の状態を周辺住民や知人に知られないかという不安	1	3.2
4	同居人の状態を変えるための支援を自宅で受ける際、同居人に気づかれたりしないかという不安	1	3.2
5	同居人の状態を変えるための支援を、同居人が受け入れないかもしれない不安	8	25.8
6	同居人が社会的にも家族の中でも孤立してしまうかもしれない不安	0	0.0
7	不安を感じたことはない	8	25.8
8	その他	4	12.9
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	31	100

問 49 問8の状態にある同居人が、自宅をよくしていることを教えてください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	テレビを見る	24	77.4
2	パソコンを使う	1	3.2
3	携帯電話・スマートフォンを使う	5	16.1
4	電話をする	3	9.7
5	ゲームをする	1	3.2
6	勉強をする	0	0.0
7	本を読む(雑誌や漫画を含む)	5	16.1
8	新聞を読む	9	29.0
9	家事をする	5	16.1
10	育児をする	0	0.0
11	介護・看護をする	0	0.0
12	ラジオを聴く	1	3.2
13	音楽を聴く	1	3.2
14	家の中でできる運動をする	2	6.5
15	特に何もしていない	2	6.5
16	その他	3	9.7
	無回答	0	0.0
	N (% [^] -ス)	31	100

問 50 問8の状態にある同居人の交流状況について教えてください。(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	近隣住民と挨拶を交わす	6	19.4
2	趣味や遊びのために人と会うことはある	1	3.2
3	家族以外の人と会うことはないが、インターネットやSNS等を通じて人と交流している	0	0.0
4	民間を含む相談窓口・支援機関との交流がある (働いている職員や、相談窓口や支援機関を通じて知り合った人を含む)	1	3.2
5	家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない	10	32.3
6	家族ともほとんど会話がな	5	16.1
7	通院で医師等と会話を	3	9.7
8	交流状況がわからない	0	0.0
9	その他	4	12.9
	無回答	1	3.2
	N (%^ -ス)	31	100

問 51 問8の状態にある同居人の状態を変えたいと思いますか？(○は1つだけ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	変えたいと思う	14	45.2
2	変えたいと思わない	15	48.4
	無回答	2	6.5
	N (%^ -ス)	31	100

問 52 と問 53 は、問 51 で「1. 変えたいと思う」を選択した人が回答。

問 52 問 8 の状態にある同居人を変えるにあたり、相談相手や相談機関への要望内容を教えてください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	無料で相談できる	7	50.0
2	親身に聴いてくれる	5	35.7
3	早朝や夜間でも相談できる	3	21.4
4	土日祝日でも相談できる	3	21.4
5	医学的な助言をくれる	8	57.1
6	心理学の専門家がいる	1	7.1
7	精神科医がいる	5	35.7
8	似たような状況であった人が相談者である	0	0.0
9	自分の名前を知られずに相談できる	0	0.0
10	同じ悩みを持つ人と出会える	1	7.1
11	公的機関である	3	21.4
12	NPO 等の民間団体である	0	0.0
13	自宅に相談相手（精神科医や心理学等の専門家等）が来てくれる	1	7.1
14	自宅から近い	2	14.3
15	その他	0	0.0
16	あてはまるものはない	1	7.1
	無回答	0	0.0
	N (%^ -s)	14	100

問 53 問8の状態にある同居人を変えるにあたり、相談相手や相談機関へ希望する相談方法を教えてください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	直接対面しての相談	10	71.4
2	電話での相談	3	21.4
3	メールでの相談	2	14.3
4	チャットまたはメッセージ (LINE 等のアプリによるものを含む) での相談	1	7.1
5	Microsoft Teams やZoom 等のオンラインツールを利用した相談	0	0.0
6	その他	0	0.0
7	あてはまるものはない	2	14.3
	無回答	1	7.1
	N (%^ -ス)	14	100

問 54 は、問 51 で「2. 変えたいと思わない」を選択した人が回答。

問 54 変えたいと思わない理由をご回答ください。(〇はいくつでも)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	変える必要性を感じないため	5	33.3
2	同居人が変わらないと思うため	10	66.7
3	同居人が人との交流や社会復帰を拒んでいるため	0	0.0
4	変えようとした際の、同居人からの反発が恐いため	0	0.0
5	その他	3	20.0
	無回答	0	0.0
	N (%^ -ス)	15	100

社会参加に関する調査 調査票

- インターネットで回答する方は、パソコン、スマートフォンなどで下のURLを入力するか、右の二次元コードを読み込み、調査画面にアクセスしてください。
- ご回答にあたっては、下の「ID」と「パスワード」を全て半角で入力してください。

(日本語 URL) <https://www16.webcas.net/form/pub/survey-7124/minato-survey>

(English URL) <https://www16.webcas.net/form/pub/survey-7124/minato-survey2>

(中文 URL) <https://www16.webcas.net/form/pub/survey-7124/minato-survey3>

(한국어 URL) <https://www16.webcas.net/form/pub/survey-7124/minato-survey4>



日本語



English



中文



한국어

ID:	パスワード
-----	-------

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

問2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つだけ)

(※令和5年6月16日現在の年齢をお答えください)

1 15歳未満	2 15歳～19歳	3 20歳～24歳	4 25歳～29歳
5 30歳～34歳	6 35歳～39歳	7 40歳～44歳	8 45歳～49歳
9 50歳～54歳	10 55歳～59歳	11 60歳～64歳	12 65歳～69歳
13 70歳～74歳	14 75歳以上		

問3 現在、あなたと同居している方をお答えください。(○はいくつでも)

なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。

1 配偶者	2 父	3 母	4 兄	5 弟	6 姉
7 妹	8 子	9 祖父	10 祖母	11 その他親族	
12 その他()					
13 同居している人はいない					

問4 現在、あなたを含めて何人で同居しているかをお答えください(○は1つだけ)

1 1人	2 2人	3 3人	4 4人
5 5人	6 6人	7 7人	8 8人以上

問5 同居者全員の中で、主たる生計維持者はどなたですか？（○は1つだけ）

※生計維持者が複数人いる場合は、一番収入の高い人をご回答ください。

※同世帯か、別世帯かは問いません。

※仕送りで生計を立てている方は、その仕送り主をお答えください。

- | | | | | | | | | | |
|---|-------|---|---------------------|---|---|---|---|---|---|
| 1 | あなた自身 | 2 | あなたの配偶者 | 3 | 父 | 4 | 母 | 5 | 子 |
| 6 | 兄弟姉妹 | 7 | その他（貸付等の支援制度の活用を含む） | | | | | | |
| 8 | わからない | | | | | | | | |

問6 あなたの現在の就学・就労状況をお答えください。（○は1つだけ）

- | | |
|---|--|
| 1 | 勤めている（正社員） |
| 2 | 勤めている（契約社員・派遣社員・アルバイト・パートタイム） |
| 3 | 勤めている（自営業・フリーランス） |
| 4 | 企業等に在籍しているが、病気や育児休業等のため休職中 |
| 5 | 学生（予備校生含む） |
| 6 | 無職（現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない） ⇒問7へ |

（問6で6を選択した方のみご回答ください。）

問7 これまでにアルバイトやパートを含む就労をしたことがありますか。（○は1つだけ）

- | | |
|---|----|
| 1 | ある |
| 2 | ない |

問8 あなたを含む同居者の中で、次の①～③の全ての状況に該当する方がいるか
お答えください。（○は1つだけ）

- | | |
|---|--|
| ① | 自宅から外出をほとんどしない、または近所のコンビニやスーパー等の販売店、通院・趣味の用事の時のみ外出をする |
| ② | 家族以外の人と直接の会話をしない、または家族以外の人との交流を避けている（①のコンビニやスーパー等の店員、医師・看護師等の医療機関受診時の会話等を除く） |
| ③ | ①から②の状態が6か月以上続いている |

- | | | |
|---|---------|--------|
| 1 | 該当者はいない | ⇒問55へ |
| 2 | 該当者がいる | ⇒問9以降へ |

(問8で2を選択した方のみ問9から問12までご回答ください。)

問9 問8に該当する方の年齢を選択してください。(○は1つだけ)

(複数人該当する場合は、その状態が一番長い方についてお答えください)

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1 15歳未満 | 2 15歳～19歳 | 3 20歳～24歳 | 4 25歳～29歳 |
| 5 30歳～34歳 | 6 35歳～39歳 | 7 40歳～44歳 | 8 45歳～49歳 |
| 9 50歳～54歳 | 10 55歳～59歳 | 11 60歳～64歳 | 12 65歳～69歳 |
| 13 70歳～74歳 | 14 75歳以上 | | |

問10 問8に該当する方の性別をお答えください。(○は1つだけ)

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

問11 問8の状態の期間はどのくらいですか？(○は1つだけ)

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 1 6か月～1年未満 | 2 1年～2年未満 | 3 2年～3年未満 |
| 4 3年～5年未満 | 5 5年～7年未満 | 6 7年～10年未満 |
| 7 10年～15年未満 | 8 15年～20年未満 | 9 20年～25年未満 |
| 10 25年～30年未満 | 11 30年以上 | |

問12 問8の状態になってから医療機関を受診しましたか？(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 受診した | ⇒問13と問14へ |
| 2 受診していない | ⇒問16へ |

(問12で1を選択した方のみ、問13から問14までご回答ください。)

問13 どのような理由で受診しましたか？(○はいくつでも)

- | |
|------------------------|
| 1 風邪や新型コロナウイルス感染症等の内科系 |
| 2 脱臼や骨折等の整形外科系 |
| 3 白内障や緑内障等の眼科系 |
| 4 内臓関係の手術等の外科系 |
| 5 うつ病や認知症等の精神心療内科系 |
| 6 頭部外傷や脳卒中等の脳神経外科系 |
| 7 その他 () |

問14 現在も通院していますか？(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|-------|
| 1 通院している | ⇒問16へ |
| 2 通院していない | ⇒問15へ |

(問 14 で 2 を選択した方のみご回答ください。)

問 15 通院していない理由はなんですか？ (○はいくつでも)

- 1 完治と診断されたため
- 2 完治と診断されていないが、通院をやめてしまった
- 3 通院するのが面倒になってしまった
- 4 通院の交通費や通院費等の金銭的な負担が重いため
- 5 通院しても状態が良くならなかったため
- 6 なんとなく
- 7 その他 ()

問 16 問 8 の状態の人は、どなたですか？ (○は 1 つだけ)

- 1 回答者本人 →問 17 以降へ
- 2 同居人 →問 38 へ

(問 16 で 1 を選択した方のみ問 17 から問 37 までご回答ください。)

問 17 問 8 の状態になったのは何歳の頃ですか。

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1 15 歳未満 | 2 15 歳～19 歳 | 3 20 歳～24 歳 | 4 25 歳～29 歳 |
| 5 30 歳～34 歳 | 6 35 歳～39 歳 | 7 40 歳～44 歳 | 8 45 歳～49 歳 |
| 9 50 歳～54 歳 | 10 55 歳～59 歳 | 11 60 歳～64 歳 | 12 65 歳～69 歳 |
| 13 70 歳～74 歳 | 14 75 歳以上 | | |

問 18 問 8 の状態になったきっかけは何ですか？（○はいくつでも）

- 1 学生時代のいじめや学校になじめなかった
- 2 小学校時代、または中学校時代の不登校
- 3 高校時代の不登校
- 4 大学・短大・専門学校時代の不登校
- 5 受験に失敗したこと（中学・高校・大学の各受験）
- 6 就職活動で就職できず失敗したこと（希望する職種に就職できなかったも含む）
- 7 就労先（アルバイトやパートタイム含む）で自分が必要とされていると感じなかったこと
- 8 学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと
- 9 病気（病名： ）
- 10 妊娠したこと
- 11 退職したこと
- 12 育児に専念することになったこと
- 13 介護・看護を担うことになったこと
- 14 新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと
- 15 その他（ ）
- 16 なんとなく
- 17 わからない・思い出せない
- 18 回答したくない・思い出したくない

問 19 問 8 の状態を誰かに話や相談をしましたか？（○は 1 つだけ）

- 1 話や相談をした →問 20 へ
- 2 話や相談をしていない →問 23 へ

（問 19 で 1 を選択した方のみ問 20 から問 22 までご回答ください。）

問 20 話や相談をしたきっかけは何ですか？（○はいくつでも）

- 1 今の状態を変えたいと思ったため
- 2 家族や友人等から提案や案内を受けたため
- 3 同じ境遇にある人が、就学や就労した事例を目にしたため
- 4 信頼度が高く、話や相談ができる人ができたため
- 5 なんとなく
- 6 その他（ ）

問 21 どこ（または誰）に話や相談をしましたか？（○はいくつでも）

- 1 家族、親族
- 2 友人・知人（対面で会ったことがある）
- 3 インターネット上の友人（対面で会ったことはない）
- 4 区役所（福祉事務所、みなと保健所）
- 5 職業安定所（ハローワーク）
- 6 港区生活・就労支援センター（麻布地区総合支所2階）
- 7 港区社会福祉協議会
- 8 当事者の会・家族会
- 9 NPO や民間企業等の相談窓口や支援機関（相談窓口や支援機関の職員を含む）
- 10 インターネットの掲示板やツイッター等の SNS への投稿
- 11 就労先
- 12 スクールカウンセラー
- 13 医療機関
- 14 その他の人、施設、機関（施設・機関名： _____）

問 22 話や相談をした結果、どのような心境変化がありましたか？（○はいくつでも）

- 1 今の状態を変えたい気持ちが強くなった
- 2 あまり変化はなかった
- 3 全く変化はなかった
- 4 今の状態を変えたい気持ちが弱くなった
- 5 他の人や相談窓口等にも相談したいと思った
- 6 気持ちが楽になった
- 7 不安が増した
- 8 これ以上相談したくなくなった
- 9 相談しても無駄だと感じた
- 10 その他（ _____）

⇒回答後は、問 24 へお進みください。

（問 19 で 2 を選択した方のみ問 23 をご回答ください。）

問 23 相談をしていない（またはしなかった）理由はなんですか？（○はいくつでも）

- 1 今の状態から変わりたくないと思ったため
- 2 相談をする勇気がでなかったため
- 3 相談できる相手がいなかったため
- 4 相談相手や相談先がわからなかったため
- 5 相談する必要性を感じられなかったため
- 6 今の自分を変えられないと思うため
- 7 人や社会から自分は必要とされていないと感じるため
- 8 その他（ _____）

問 24 現在の状態について、話や相談をしたいと思いませんか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---|--------------|---------------|
| 1 | とても相談したい | ⇒問 25 と問 26 へ |
| 2 | ある程度相談したい | ⇒問 25 と問 26 へ |
| 3 | あまり相談したくない | ⇒問 27 へ |
| 4 | 全く相談しようと思わない | ⇒問 27 へ |

(問 24 で 1 または 2 を選択した方のみご回答ください。)

問 25 相談相手や相談機関への要望内容を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 無料で相談できる |
| 2 | 親身に聴いてくれる |
| 3 | 早朝や夜間でも相談できる |
| 4 | 土日祝日でも相談できる |
| 5 | 医学的な助言をくれる |
| 6 | 心理学の専門家がいる |
| 7 | 精神科医がいる |
| 8 | 似たような状況であった人が相談者である |
| 9 | 自分の名前を知られずに相談できる |
| 10 | 同じ悩みを持つ人と出会える |
| 11 | 公的機関である |
| 12 | NPO 等の民間団体である |
| 13 | 自宅に相談相手(精神科医や心理学等の専門家等)が来てくれる |
| 14 | 自宅から近い |
| 15 | その他() |
| 16 | あてはまるものはない |

(問 24 で 1 または 2 を選択した方のみご回答ください。)

問 26 相談相手や相談機関への希望する相談方法を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---|--|
| 1 | 直接対面しての相談 |
| 2 | 電話での相談 |
| 3 | メールでの相談 |
| 4 | チャットまたはメッセージ(LINE 等のアプリによるものを含む)での相談 |
| 5 | Microsoft Teams や Zoom 等のオンラインツールを利用した相談 |
| 6 | その他() |
| 7 | あてはまるものはない |

問 27 あなたの現在の外出頻度はどのくらいですか？（○は1つだけ）

- 1 通学や仕事で週5日以上外出する
- 2 通学や仕事で週3～4日外出する
- 3 遊びや趣味で週3日以上外出する
- 4 人付き合いのため、時々外出する
- 5 通院のため、時々外出する
- 6 普段は自宅にいるが、自分の趣味に関する用事の時に週1回程度外出する
- 7 普段は自宅にいるが、近所のコンビニやスーパー等には出かける
- 8 同居人以外の方が自宅に居ても居なくても自室からは出るが、自宅からは出ない
- 9 同居人以外の方が自宅にいない時は自室から出るが、自宅からは出ない
- 10 自室からほとんど出ない

（問6で「6 無職（現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない）」を選択した方のみご回答ください。1～5を選択した方は問32へお進みください。）

問 28 就学または就労を現在希望していますか？（○は1つだけ）

- 1 強く希望している ⇒問 29 へ
- 2 希望しているが、就学または就労できる自信がなく悩んでいる ⇒問 29 へ
- 3 自宅での学習または就労であれば希望する ⇒問 29 へ
- 4 希望はしていないが、機会があればしてみたい ⇒問 30 と問 31 へ
- 5 全く希望していない ⇒問 30 と問 31 へ

（問28で1～3のいずれかを選択した方のみご回答ください。）

問 29 就学または就労を目指すために、どこに相談をしたいですか？（○はいくつでも）

- 1 区役所（福祉事務所、みなと保健所）
- 2 職業安定所（ハローワーク）
- 3 港区生活・就労支援センター（麻布地区総合支所2階）
- 4 港区社会福祉協議会
- 5 当事者の会・家族会
- 6 NPO や民間企業等の相談窓口や支援機関（相談窓口や支援機関の職員を含む）
- 7 就労先
- 8 医療機関
- 9 高齢者相談センター（地域包括支援センター）
- 10 東京都若者総合相談センター
- 11 東京都ひきこもりサポートネット
- 12 東京都発達障害者支援センター
- 13 その他の人、施設、機関（施設・機関名：)

⇒回答後は、問32へお進みください。

(問 28 で4または5を選択した方のみご回答ください。)

問 30 就学または就労したくない理由は何ですか？(○はいくつでも)

- 1 他人と関わるのが苦手なため
- 2 過去に人間関係で不快な思いをしたため
- 3 父母等からの期待に応えられる自信がないため
- 4 受験や就職に失敗し、同じ経験をしたくないため
- 5 就学または就労しても続けられないと思うため
- 6 就学または就労をする必要性を感じられないため
- 7 就学または就労しても、何もできないと思うため
- 8 希望している就学先や就労先・職種に就けないと思うため
- 9 就学または就労をしたくても、試験や面接で落ちて就学・就労ができないため
- 10 なんとなく、特に理由はない
- 11 その他 ()

(問 28 で4または5を選択した方のみご回答ください。)

問 31 あなたは、問 30 で選択したことを普段から感じますか？(○は1つだけ)

(複数選択している場合は、就学または就労したくない一番の理由を基にお答えください。)

- 1 常に感じている
- 2 時々感じている
- 3 あまり感じない
- 4 全く感じない
- 5 就学または就労の言葉を見たり聞いたりすると感じる
- 6 その他 ()

問 32 あなたは次のことについて不安を感じる時がありますか？(○はいくつでも)

- 1 今どうすればよいかわからず、焦っている不安
- 2 このままの状態が良いのかという不安
- 3 生活費等の金銭が底を尽くかもしれない不安
- 4 知り合いに会うことを考えると不安
- 5 集団の中に溶け込めるかどうか不安
- 6 人といると、馬鹿にされたり軽く扱われたりしないか不安
- 7 周りの人に自分が変な人やおかしな人と思われているのではないかという不安
- 8 今の状態を変える時に、家族や友人等から変な目で見られるかもしれないという不安
- 9 人との付き合いがうまくいかないのではないかという不安
- 10 対面で直接人と会う恐怖心を取り除くことができないのではないかという不安
- 11 不安を感じたことはない
- 12 その他 ()

問 33 あなたが自宅でよくしていることをご回答ください。(〇はいくつでも)

- 1 テレビを見る
- 2 パソコンを使う
- 3 携帯電話・スマートフォンを使う
- 4 電話をする
- 5 ゲームをする
- 6 勉強をする
- 7 本を読む(雑誌や漫画を含む)
- 8 新聞を読む
- 9 家事をする
- 10 育児をする
- 11 介護・看護をする
- 12 ラジオを聴く
- 13 音楽を聴く
- 14 家の中でできる運動をする
- 15 特に何もしていない
- 16 その他()

問 34 あなたが普段利用している通信手段の中で、利用しているものを教えてください。
(〇はいくつでも)

- 1 携帯電話での通話(LINE等のアプリによる通話を含む)
- 2 携帯電話でのメール
- 3 パソコンでのメール
- 4 チャットまたはメッセージ(LINE等のアプリによるものを含む)
- 5 ウェブサイト上の電子掲示板等の閲覧・書き込み
- 6 ソーシャル・ネットワーキング・サービス(Facebook、インスタグラム等)の閲覧・書き込み
- 7 ツイッター
- 8 オンラインゲームのボイスチャット
- 9 その他()

問 35 あなたの交流状況について教えてください。(〇はいくつでも)

- 1 近隣住民と挨拶を交わす
- 2 趣味や遊びのために人と会うことはある
- 3 家族以外の人と会うことはないが、インターネットや SNS 等を通じて人と交流している
- 4 民間を含む相談窓口・支援機関との交流がある
(働いている職員や、相談窓口や支援機関を通じて知り合った人を含む)
- 5 家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない
- 6 家族ともほとんど会話がな
- 7 通院で医師等と会話を
- 8 交流状況がわからない
- 9 その他 ()

問 36 社会交流活動で、あなたが参加したいと感じる交流活動を教えてください。
(〇はいくつでも)

- 1 自分と似たような状態の人が集って話す交流会
- 2 体を動かすイベント (例: ラジオ体操等)
- 3 自分と似たような人だけが行きたい時に入れる施設への外出
- 4 複数人や知らない人との交流はしたくないが、自分の話を聴いてくれる場所等への外出
- 5 オンラインや仮想空間 (メタバース) を活用した交流活動
- 6 就学や就労に向けた事前学習プログラム
- 7 体への負担にならないボランティア活動
- 8 自分の趣味に関するイベント
- 9 自分の特技を発揮したり披露したりできる場所
- 10 その他 ()

問 37 次の中であなたが興味のある資格を教えてください。(○はいくつでも)

- 1 パソコン関係 (プログラミングや MOS(※)等)
- 2 法律・法務関係 (行政書士、司法書士、弁理士等)
- 3 外国語関係 (英検、TOEIC、中国語検定、ハングル能力検定等)
- 4 金融関係 (ファイナンシャルプランナー、証券アナリスト等)
- 5 会計・経営・労務関係 (日商簿記検定、公認会計士、社会保険労務士等)
- 6 調理・衛生・飲食関係 (調理師・栄養士、食生活アドバイザー等)
- 7 土木・電気関係 (建築施工管理技士・電気工事士等)
- 8 倉庫関係 (フォークリフト運転技能者、ロジスティクスオペレーション等)
- 9 物流・運輸関係 (大型自動車免許、危険物取扱者、通関士等)
- 10 医療関係 (医療事務、看護師、歯科衛生士等)
- 11 介護・福祉関係 (介護福祉士、臨床心理士、保育士等)
- 12 資格の取得に興味はない
- 13 その他 ()

※ MOS: Microsoft Office Specialist の略。ワードやエクセル等、マイクロソフト社が提供するオフィス製品の利用スキルを客観的に証明する資格のこと。

⇒回答後は、問 55 へお進みください。

(問 16 で 2 を選択した方のみ問 38 から問 54 までご回答ください。)

問 38 問 8 の状態にある同居人とあなたの関係性は、次のうちどれですか？

- 1 配偶者 2 父 3 母 4 兄 5 弟 6 姉
- 7 妹 8 子 9 祖父 10 祖母 11 その他親族
- 12 その他 ()

問 39 問 8 の状態にある同居人の現在の就学・就労状況を教えてください。(○は 1 つだけ)

- 1 勤めている (正社員)
- 2 勤めている (契約社員・派遣社員・アルバイト・パートタイム)
- 3 勤めている (自営業・フリーランス)
- 4 企業等に在籍しているが、病気や育児休業等のため休職中
- 5 学生 (予備校生含む)
- 6 無職 (現在学校や企業に在籍せず、アルバイトを含む就労もしていない)

問 40 問 8 の状態にある同居人が、問 8 の状態になったのは何歳の頃ですか (○は 1 つだけ)。

- 1 15 歳未満 2 15 歳～19 歳 3 20 歳～24 歳 4 25 歳～29 歳
- 5 30 歳～34 歳 6 35 歳～39 歳 7 40 歳～44 歳 8 45 歳～49 歳
- 9 50 歳～54 歳 10 55 歳～59 歳 11 60 歳～64 歳 12 65 歳～69 歳
- 13 70 歳～74 歳 14 75 歳以上

問 41 問 8 の状態にある同居人が、問 8 の状態になったと思われるきっかけは何ですか？
(○はいくつでも)

- 1 学生時代のいじめや学校になじめなかった
- 2 小学校時代、または中学校時代の不登校
- 3 高校時代の不登校
- 4 大学・短大・専門学校時代の不登校
- 5 受験に失敗したこと(中学・高校・大学の各受験)
- 6 就職活動で就職できず失敗したこと(希望する職種に就職できなかったも含む)
- 7 就労先(アルバイトやパートタイム含む)で自分が必要とされていると感じなかったこと
- 8 学校や職場の人間関係がうまくいかなかったこと
- 9 病気(病名:)
- 10 妊娠したこと
- 11 退職したこと
- 12 育児に専念することになったこと
- 13 介護・看護を担うことになったこと
- 14 新型コロナウイルスの蔓延で、外出しなくなったこと
- 15 その他()
- 16 わからない

問 42 問 8 の状態にある同居人について、誰かに話や相談をしましたか？(○は 1 つだけ)

- 1 話や相談をした ⇒問 43 へ
- 2 話や相談をしていない ⇒問 46 へ

(問 42 で 1 を選択した方のみ問 43 から問 45 までご回答ください。)

問 43 話や相談をしたきっかけは何ですか？(○はいくつでも)

- 1 同居人の今の状態を変えたいと思ったため
- 2 家族や友人等から提案や案内を受けたため
- 3 同居人と同じ境遇にある人が、同居人の状態を変えた事例を目にしたため
- 4 同居人の今後の将来に不安を感じたため
- 5 なんとなく
- 6 その他()

問 44 どこ（または誰）に話や相談をしましたか？（〇はいくつでも）

- 1 家族、親族
- 2 友人・知人
- 3 区役所（福祉事務所、みなと保健所）
- 4 職業安定所（ハローワーク）
- 5 港区生活・就労支援センター（麻布地区総合支所2階）
- 6 港区社会福祉協議会
- 7 当事者の会・家族会
- 8 NPO や民間企業等の相談窓口や支援機関（相談窓口や支援機関の職員を含む）
- 9 インターネットの掲示板やツイッター等の SNS への投稿
- 10 就労先
- 11 スクールカウンセラー
- 12 医療機関
- 13 その他の人、施設、機関（施設・機関名： _____）

問 45 話や相談をした結果、どのような心境変化がありましたか？（〇はいくつでも）

- 1 同居人の状態を変えたい気持ちが強くなった
- 2 あまり変化はなかった
- 3 全く変化はなかった
- 4 同居人の状態を変えたい気持ちが弱くなった
- 5 他の人や相談窓口等にも相談したいと思った
- 6 気持ちが楽になった
- 7 不安が増した
- 8 これ以上相談したくなくなった
- 9 相談しても無駄だと感じた
- 10 その他（ _____ ）

⇒回答後は、問 47 へお進みください。

（問 42 で 2 を選択した方のみ問 46 をご回答ください。）

問 46 相談をしていない（またはしなかった）理由はなんですか？（〇はいくつでも）

- 1 今の状況を変えたくないと思ったため
- 2 相談をする勇気がでなかったため
- 3 相談できる相手がいなかったため
- 4 相談相手や相談先がわからなかったため
- 5 相談する必要性を感じられなかったため
- 6 相談して助言をもらっても、同居人が変わらないと思ったため
- 7 その他（ _____ ）

問 47 問 8 の状態にある同居人の外出頻度はどのくらいですか？（○は 1 つだけ）

- 1 通学や仕事で週 5 日以上外出する
- 2 通学や仕事で週 3～4 日外出する
- 3 遊びや趣味で週 3 日以上外出する
- 4 人付き合いのため、時々外出する
- 5 通院のため、時々外出する
- 6 普段は自宅にいるが、自分の趣味に関する用事の時に週 1 回程度外出する
- 7 普段は自宅にいるが、近所のコンビニやスーパー等には出かける
- 8 同居人以外の方が自宅に居ても居なくても自室からは出るが、自宅からは出ない
- 9 同居人以外の方が自宅にいない時は自室から出るが、自宅からは出ない
- 10 自室からほとんど出ない

問 48 問 8 の状態にある同居人に対する、今後の不安はありますか？（○はいくつでも）

- 1 同居人がこのままの状態が良いのかという不安
- 2 同居人の生活費等の金銭が底を尽くかもしれない不安
- 3 同居人の状態を周辺住民や知人に知られないかという不安
- 4 同居人の状態を変えるための支援を自宅で受ける際、同居人に気づかれたりしないかという不安
- 5 同居人の状態を変えるための支援を、同居人が受け入れないかもしれない不安
- 6 同居人が社会的にも家族の中でも孤立してしまうかもしれない不安
- 7 不安を感じたことはない
- 8 その他（ ）

問 49 問 8 の状態にある同居人が、自宅でよくしていることを教えてください。

(○はいくつでも)

- | | |
|----|-----------------|
| 1 | テレビを見る |
| 2 | パソコンを使う |
| 3 | 携帯電話・スマートフォンを使う |
| 4 | 電話をする |
| 5 | ゲームをする |
| 6 | 勉強をする |
| 7 | 本を読む(雑誌や漫画を含む) |
| 8 | 新聞を読む |
| 9 | 家事をする |
| 10 | 育児をする |
| 11 | 介護・看護をする |
| 12 | ラジオを聴く |
| 13 | 音楽を聴く |
| 14 | 家の中でできる運動をする |
| 15 | 特に何もしていない |
| 16 | その他() |

問 50 問 8 の状態にある同居人の交流状況について教えてください。(○は1つだけ)

- | | |
|---|--|
| 1 | 近隣住民と挨拶を交わす |
| 2 | 趣味や遊びのために人と会うことはある |
| 3 | 家族以外の人と会うことはないが、インターネットや SNS 等を通じて人と交流している |
| 4 | 民間を含む相談窓口・支援機関との交流がある
(働いている職員や、相談窓口や支援機関を通じて知り合った人を含む) |
| 5 | 家族と会話はするが、家族以外の人と交流がない |
| 6 | 家族ともほとんど会話がな |
| 7 | 通院で医師等と会話を |
| 8 | 交流状況がわからな |
| 9 | その他() |

問 51 問 8 の状態にある同居人の状態を変えたいと思いますか？(○は1つだけ)

- | | | |
|---|----------|---------|
| 1 | 変えたいと思う | ⇒問 52 へ |
| 2 | 変えたいと思わな | ⇒問 54 へ |

(問 51 で 1 を選択した方のみ問 52 から問 53 までご回答ください。)

問 52 問 8 の状態にある同居人を変えるにあたり、相談相手や相談機関への要望内容を教えてください。(〇はいくつでも)

- 1 無料で相談できる
- 2 親身に聴いてくれる
- 3 早朝や夜間でも相談できる
- 4 土日祝日でも相談できる
- 5 医学的な助言をくれる
- 6 心理学の専門家がいる
- 7 精神科医がいる
- 8 似たような状況であった人が相談者である
- 9 自分の名前を知られずに相談できる
- 10 同じ悩みを持つ人と出会う
- 11 公的機関である
- 12 NPO 等の民間団体である
- 13 自宅に相談相手(精神科医や心理学等の専門家等)が来てくれる
- 14 自宅から近い
- 15 その他()
- 16 あてはまるものはない

問 53 問 8 の状態にある同居人を変えるにあたり、相談相手や相談機関へ希望する相談方法を教えてください。(〇はいくつでも)

- 1 直接対面しての相談
- 2 電話での相談
- 3 メールでの相談
- 4 チャットまたはメッセージ(LINE 等のアプリによるものを含む)での相談
- 5 Microsoft Teams や Zoom 等のオンラインツールを利用した相談
- 6 その他()
- 7 あてはまるものはない

(問 51 で 2 を選択した方のみ問 54 をご回答ください。)

問 54 変えたいと思わない理由をご回答ください。(〇はいくつでも)

- 1 変える必要性を感じないため
- 2 同居人が変わらないと思うため
- 3 同居人が人との交流や社会復帰を拒んでいるため
- 4 変えようとした際の、同居人からの反発が恐いため
- 5 その他()

(これより先の質問には全ての方がご回答ください。)

問 55 区では、社会参加に関する支援のあり方などを検討しています。こうした支援のあり方についてのご意見や、現在、実際にお困りのことなどがあれば、自由にお書きください。(自由記述)

問 56 今後、区などからの個別支援を希望する方は、住所・氏名・生年月日・連絡先を記入してください(区等から個別に連絡をすることがあります)

氏 名： _____

住 所： _____

生年月日： _____

連 絡 先： _____

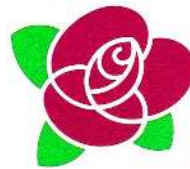
ありがとうございました。調査はこれで終わりです。



区の木 ハナミズキ



区の花 アジサイ



区の花 バラ



港区のマークは、昭和24年7月30日に制定しました。
旧芝・麻布・赤坂の3区を一丸とし、その象徴として港区の頭文字である
「み」を力強く、図案化したものです。

刊行物発行番号 2023168-3761

社会参加に関する調査 調査報告書

令和6年（2024年）3月発行

編集・発行 港区保健福祉支援部生活福祉調整課
東京都港区芝公園1-5-25
電話03-3578-2111（代表）